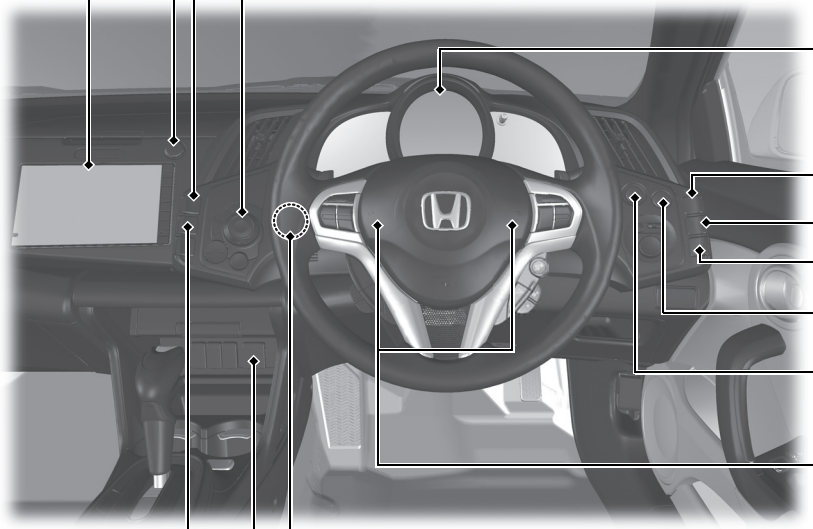
HONDA

CR-Z

オーナーズマニュアル

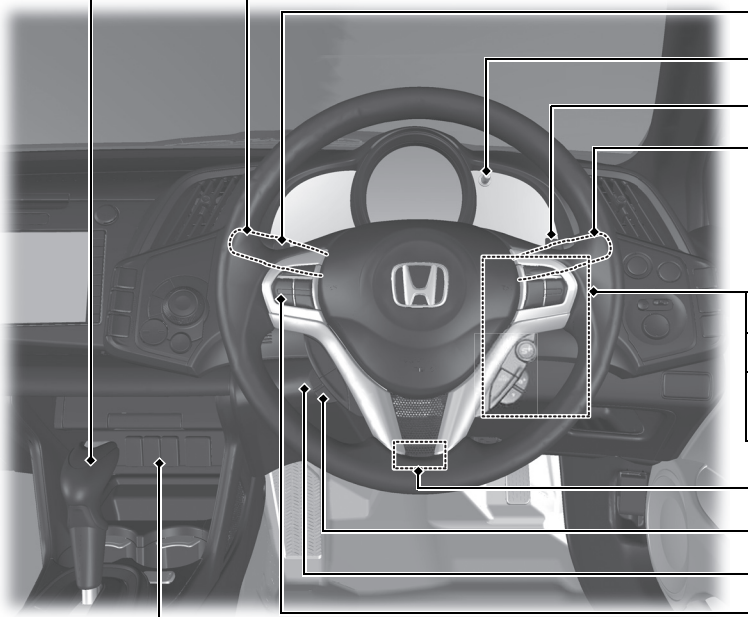
クイックガイド
安全なドライブ
計器の見かた
各部の操作
オーディオ
運転
メンテナンス
万一の場合には
資料
索引

ビジュアル目次



Honda インターナビシステム※
非常点滅表示灯(ハザードスイッチ)
デフロスタースイッチ P. 137
オートエアコン P. 136
メーター P. 76
警告灯 P. 56
表示灯 P. 63
SPORT モードスイッチ P. 166
NORMAL モードスイッチ P. 166
ECON モードスイッチ P. 166
VSA OFF スイッチ P. 173
フォグライトスイッチ P. 114
ホーンスイッチ(周辺)
ENGINE START/STOP スイッチ P. 110
アクセサリーソケット P. 133
リヤデフロスタースイッチ P. 118 / ヒーテッドドアミラースイッチ P. 118

※：別冊のメーカーオプションの「Honda インターナビシステム」を参照してください。

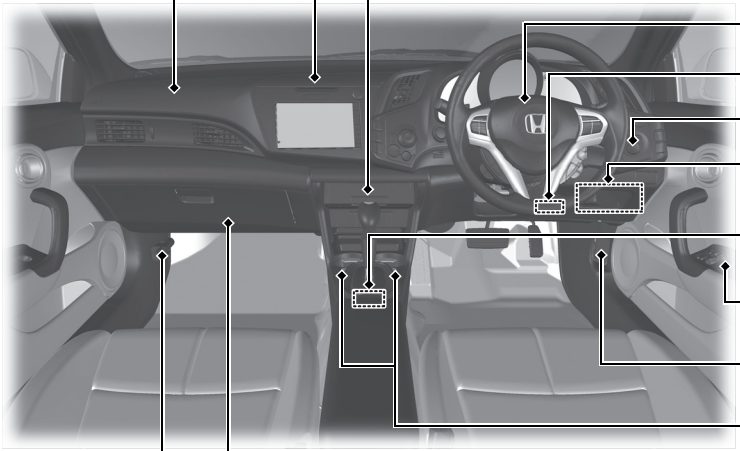


- セレクトレバー*/ チェンジレバー* P. 151, 158
- ワイパー/ ウォッシャースイッチ P. 115
- シフトスイッチ(シフトダウン)* P. 154
- イルミネーションコントロールノブ P. 117
- シフトスイッチ(シフトアップ)* P. 154
- ライト / 方向指示器(ウィンカー)スイッチ P. 113
- クルーズコントロールスイッチ P. 169
- S+(プラススポーツ)ボタン P. 167
- インフォメーション(i)スイッチ(▲ / ▼) P. 78
- SEL/RESET スイッチ P. 78
- ハンドル位置調節レバー P. 118
- 取り消しスイッチ*※
- 発話スイッチ*※
- オーディオリモートコントロールスイッチ*※
- HDMI ジャック*※
- USB ジャック*※

※：別冊のメーカーオプションの「Honda インターナビシステム」を参照してください。

この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

ビジュアル目次



SRS エアバッグシステム（助手席用） P. 33

センターアッパーボックス

センターロアボックス

SRS エアバッグシステム（運転席用） P. 33

ETC 車載器*※

ドアミラー調節スイッチ P. 119

室内ヒューズボックス P. 255

パーキングブレーキスイッチ P. 174

パワーウィンドースイッチ P. 108

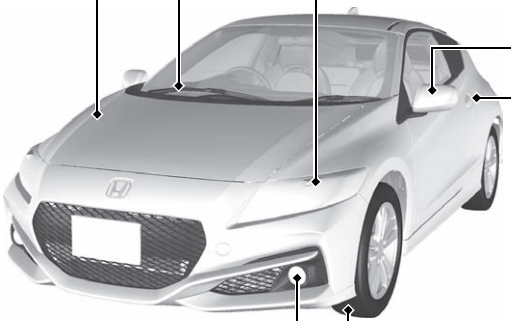
ボンネット解除ノブ P. 199

シートヒータースイッチ* P. 134

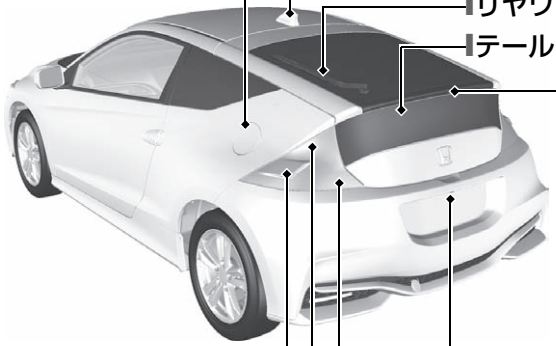
グローブボックス P. 127

発炎筒 P. 228

※：別冊「ETC 車載器」を参照してください。



エンジンルーム内のメンテナンス P. 198
ワイパー P. 115,208
ヘッドライト P. 113,201
ドアミラー P. 119
ドアの施錠 / 解錠 P. 95
タイヤ P. 211,229
フォグライト P. 114,202

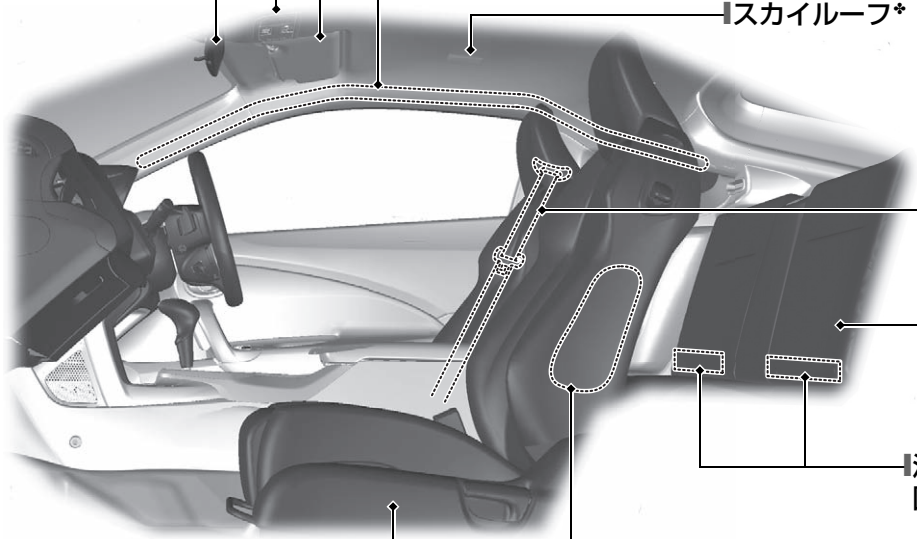


給油のしかた P. 191
アンテナ
リヤワイパー P. 116,210
テールゲートの開閉 P. 105
ハイマウントストップランプ P. 206
リヤカメラシステム*※
後退灯 P. 204
制動灯 / 尾灯 P. 204
ウィンカー P. 201,204

※：別冊のメーカーオプションの「Honda インターナビシステム」を参照してください。

この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

ビジュアル目次



ルームミラー P. 119
室内灯 P. 125
マップランプ P. 126
サンバイザー
バニティミラー
サイドカーテンエアバッグシステム* P. 38
スカイルーフ*
シートベルト P. 28
リヤシート P. 123
汎用型 ISOFIX チャイルドシート固定装置 P. 50
サイドエアバッグシステム* P. 36
フロントシート P. 120

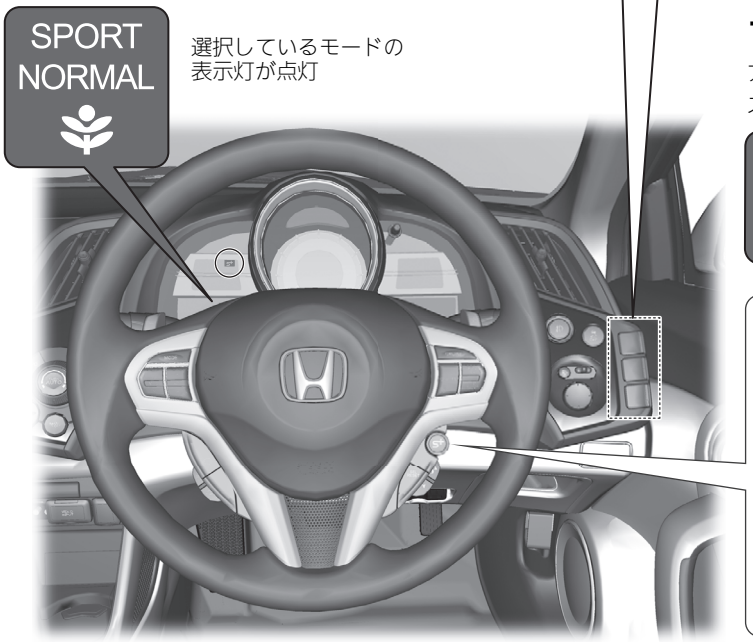
3モードドライブシステム

3モードスイッチを押すことで、SPORT モード・NORMAL モード・ECON モードの 3 つの異なる特性を備えた走行モードを選べるシステムです。
通常走行するときは NORMAL モードを推奨します。

SPORT モード
高い応答性能により、力強く伸びのある走行を可能にし、操舵力を高めに設定しているモードです。山間部などの坂道やカーブ、または郊外での走行に適しています。

NORMAL モード
走行性と省燃費性のバランスを高次元で実現するモードです。街中を含め、あらゆる場面での走行に適しています。

ECON モード
他のモードを使用しているときよりも、省燃費運転がしやすくなるモードです。
運転状況に応じて省燃費制御に切り換えをしたり、エアコン使用時のアイドリングストップを長くする制御をします。



選択しているモードの表示灯が点灯

プラススポーツシステム

アクセルペダルを踏み込んだ時に、エンジン出力とモーターアシスト量を高め、加速性能を高めるシステムです。



プラススポーツシステムが待機状態のとき、または作動しているとき、表示灯が点滅します。

プラススポーツボタン

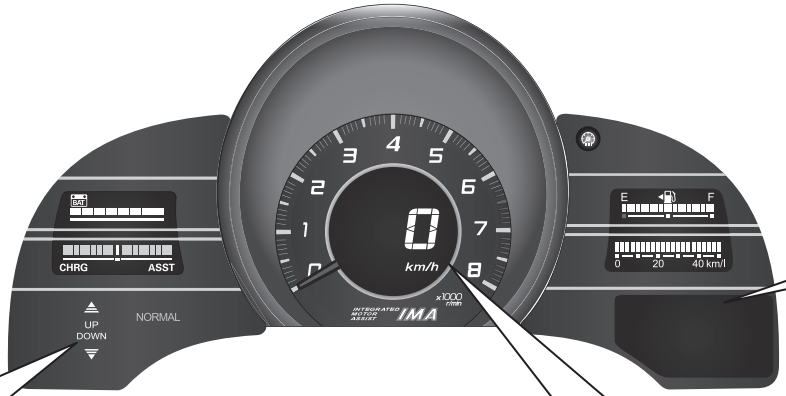


すべての走行モードで、 ボタンを押した後、アクセルペダルを踏み込むことにより、プラススポーツシステムが作動します。
アクセルペダルを踏み込んでいる間、加速性能が向上します。

➔ **プラススポーツシステム** P.167

この「✤」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

エコアシストシステム



シフトアップ / ダウン表示灯* P. 159

●省燃費走行のため、チェンジレバーのシフトチェンジに適したタイミングを点灯によりお知らせします。

シフトアップ推奨時点灯

UP
DOWN

シフトダウン推奨時点灯

※ SPORT モードの時は表示しません。

アンビエントメーター

●運転の状態を表示します。運転操作の状態に応じて、メーターの色が変化します。

●メーターの色
緑色：省燃費状態
青緑色：ゆるやかな加減速状態
青色：急加減速状態

●SPORT モード時は、常に赤色になります。

無段変速オートマチック車

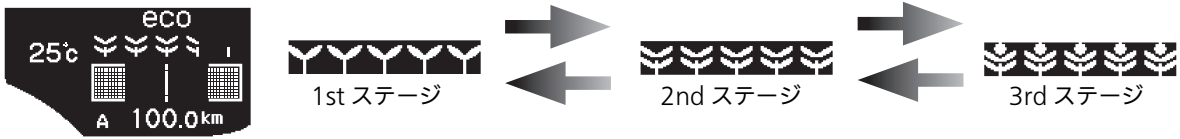
ブレーキペダル、アクセルペダルの操作方法により、メーターの色が変化します。

マニュアル車

ブレーキペダル、アクセルペダル、シフトアップ / ダウン表示灯の点灯に合わせた操作方法により、メーターの色が変化します。

ECO ドライブディスプレイ P. 80

●運転操作の状態に応じて、リーフの表示が変化します。



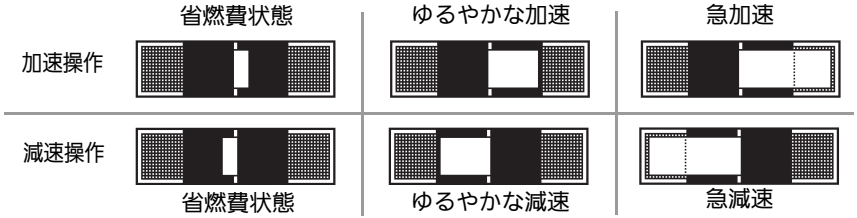
ECO スコア

●パワーモードを OFF モードにしたときに表示します。



ECO ドライブバー P. 80

●運転操作の状態に応じて、表示が変化します。バーが左右に伸びないように運転すると、スムーズな省燃費運転となります。



この「✤」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

Honda IMA システム

Honda IMA システムは、ガソリンエンジンを主動力とし、モーターが走行状況に応じて走行をアシストします。IMA=Integrated Motor Assist

省燃費運転の方法

燃費をよくするため、次の点に気をつけて走行してください。

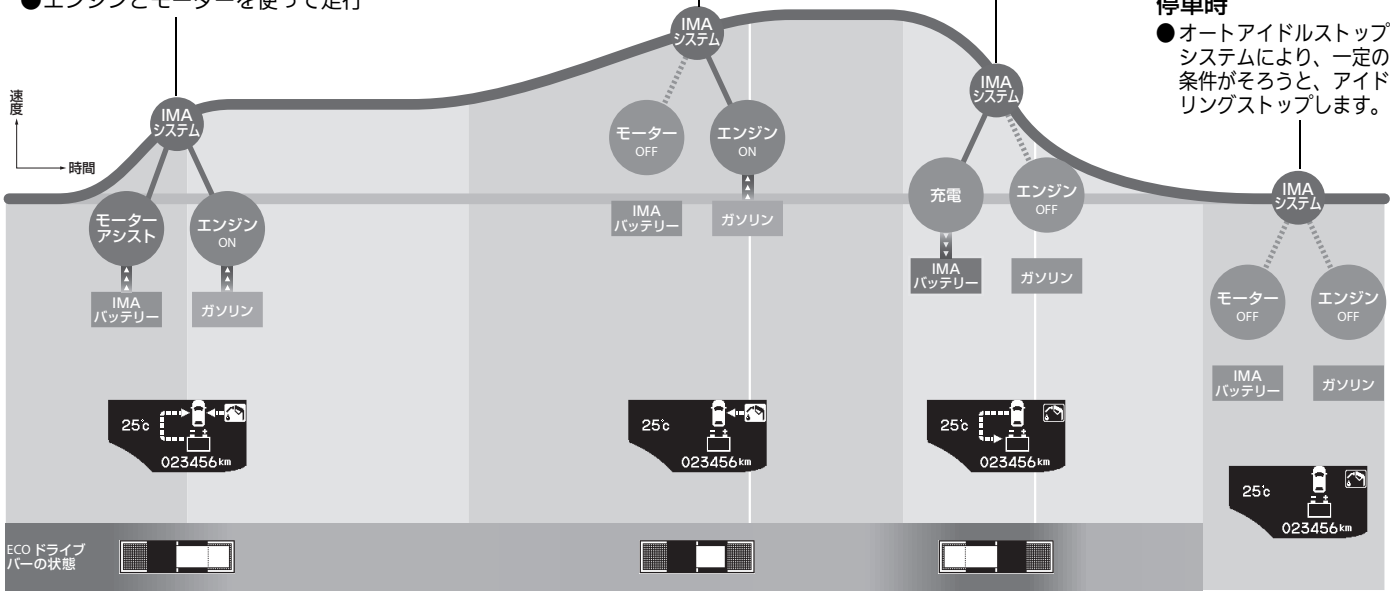
- ●不必要な急加速、急減速を避ける
- ●メーターに表示される燃費表示を参考に走行する P. 78

発進加速・急加速・低速クルーズ時
●エンジンとモーターを使って走行

ゆるやかな加速・高速クルーズ時
●エンジンだけで走行

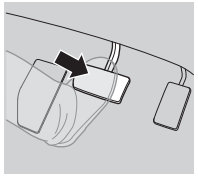
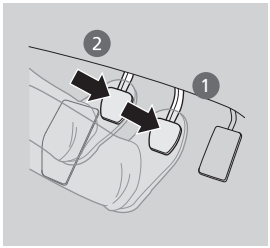
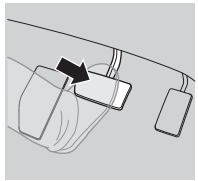
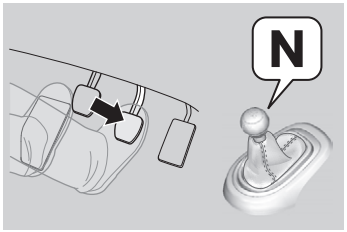
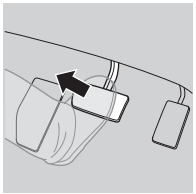
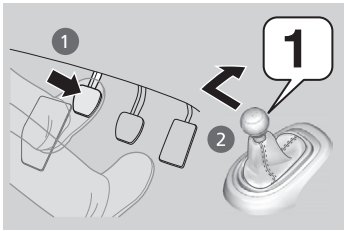
減速時
●IMA バッテリーに充電
Honda IMA システムのモーターは、タイヤの回転により発電することができます。

停車時
●オートアイドルストップシステムにより、一定の条件がそろうと、アイドリングストップします。



オートアイドルストップシステム

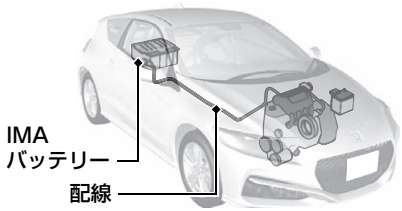
燃費向上のために、下記の手順によりアイドリングストップしたり、エンジンが自動的に再始動するシステムです。
アイドリングストップしているときは、メーター内の「AUTO STOP」が点滅します。P. 160, 163

走行状態	無段変速オートマチック車の操作	マニュアル車の操作	操作後のエンジンの状態
減速	ブレーキペダルを踏んだまま、約 10km/h 以下になったとき 	1. ブレーキペダルを踏んだまま、約30km/h以下になったとき 2. クラッチペダルをいっぱいに踏み込む。 	
停車	ブレーキペダルを踏み続ける。 	• ブレーキペダルを踏み続ける。 • チェンジレバーを[N](ニュートラル)にする。 • クラッチペダルを離す。 	
発進	ブレーキペダルを離す。 	1. クラッチペダルをいっぱいに踏み込む。 2.チェンジレバーを[1]にする。 3. 通常の発進時の操作をする。 	

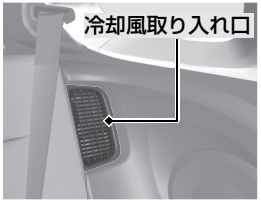
IMA バッテリーのコンディションを良好に保つために

月に一度、30 分以上走行をして充電してください。
長時間走行しないと、IMA バッテリーがあがったり、寿命が縮む原因となります。

ご使用にあたっての注意



冷却風取り入れ口をふさがない



冷却風取り入れ口がふさがれると IMA バッテリーの温度が上昇し、IMA バッテリーの出力低下を招くおそれがあります。また、水や異物を入れないでください。IMA バッテリーが故障するおそれがあります。
IMA システム警告灯や充電警告灯が点灯することがあります。

IMA システム警告灯 P. 62
充電警告灯 P. 59

Honda IMA システムには触れない

Honda IMA システムは、144V の高電圧を使用しており、分解などを行うと感電するおそれがあります。点検・修理は、必ず Honda 販売店にご相談ください。

カーゴルームには大量の水などがかからないようにする

カーゴルーム下にある IMA バッテリーが故障するおそれがあります。
IMA システム警告灯が点灯することがあります。
IMA システム警告灯 P. 62

事故が起きたとき

●感電に注意する
▶車体が大きく破損・変形するような事故が起きたときは、感電するおそれがあります。高電圧部位やそれらを接続する配線(オレンジ色)には、絶対に触れないでください。

●IMA バッテリー液に触れない
▶IMA バッテリー液がもれているときは、バッテリー液が目や皮膚に付くとその部分が侵されますので、十分に注意してください。万一付着したときは、すぐに清浄な水で数分間洗浄した後、ただちに医師の診察を受けてください。

●火災が発生したら電気火災用消火器を使用する
▶少量の水での消火は、かえって危険な場合がありますので、水はかけないでください。
万一、消火の際に水を使う場合は、消火栓などから大量の水をかけてください。

廃車するとき

IMA バッテリーは、リチウムイオンバッテリーを使用しています。廃棄処分については、特別な取り扱いが必要です。廃車するときは、必ず下記にご相談ください。
(株)ホンダトレーディング 0120-910574(フリーダイヤル)

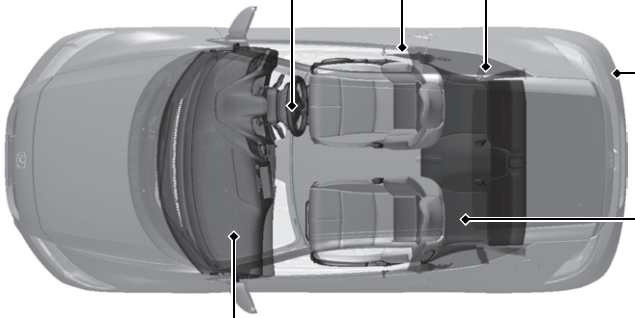
安全なドライブ P. 26



●正しい姿勢でシートベルトを着用してください。
●同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
●妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

運転を始める前の確認 P. 27

●運転前にフロントシートの位置、ハンドルの位置、ミラー類の角度を調節します。



シートベルト P. 28

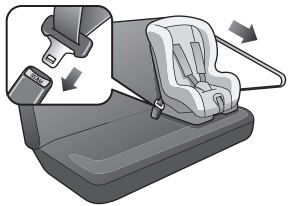
●リヤシートの乗車スペースは余裕がないため、正しくシートベルトを着用できない場合は、リヤシートには乗車しないでください。

排気ガスについて P. 54

●車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンを始動しないでください。

お子さまの安全 P. 42

●シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。



エアバッグ P. 33

●万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。

計器の見かた P. 55

警告灯 P. 56 / 表示灯 P. 63 / メーター P. 76



警告灯 / 表示灯

- VSA 警告灯
- VSA OFF 警告灯
- イモビライザーシステム表示灯
- IMA システム警告灯
- クルーズメイン表示灯
- クルーズコントロール表示灯
- ブレーキ警告灯(レッド)
- ブレーキシステム警告灯(オレンジ)
- 油圧警告灯
- 高水温警告灯(レッド)
- 低水温表示灯(ブルー)
- 12V バッテリー充電警告灯
- PGM-FI 警告灯

警告灯 / 表示灯

- シフトアップ / ダウン表示灯*
- シートベルト非着用警告灯
- エアバッグシステム警告灯
- セキュリティアラームシステム作動表示灯
- 方向指示器 / 非常点滅表示灯

警告灯 / 表示灯

- SPORT モード表示灯
- NORMAL モード表示灯
- ECON モード表示灯
- EPS システム警告灯
- ABS 警告灯
- オートアイドルストップ表示灯

警告灯 / 表示灯

- セレクトポジション表示灯(トランスミッション警告灯)*
- ハイビーム表示灯
- 燃料残量警告灯
- フォグライト点灯表示灯
- ライト点灯表示灯
- シフトインジケーター/ M (7 速マニュアルシフトモード)表示灯*
- ドア / テールゲート開閉警告灯
- インフォメーション表示灯
- プラススポーツシステム表示灯
- プラススポーツ READY 表示灯
- プラススポーツ表示灯
- シティブレーキアクティブシステム表示灯*

各部の操作 P. 93

時刻を合わせる P. 94

メーカーオプションの Honda インターナビシステム非装備車

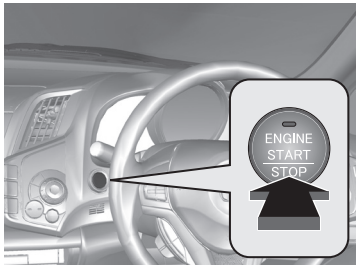


メーカーオプションの Honda インターナビシステム装備車

Honda インターナビシステム装備車の時計は、人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

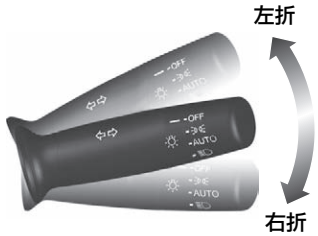
ENGINE START/STOP スイッチ P. 110

スイッチを押すと、パワーモードが切り換わります。



ウィンカー P. 113

方向指示器(ウィンカー)スイッチ



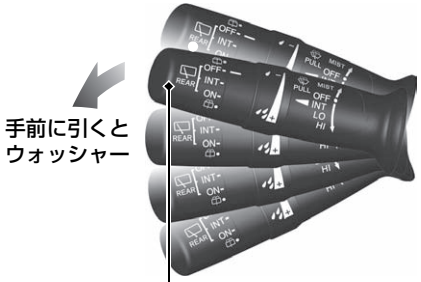
ライト P. 113

ライトスイッチ



この「✤」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

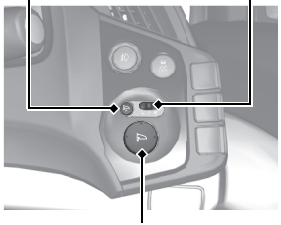
ワイパー P.115



- OFF　停止
- INT　間欠(雨量が少ないとき)
- LO　低速(普通の雨量のとき)
- HI　高速(雨量の多いとき)

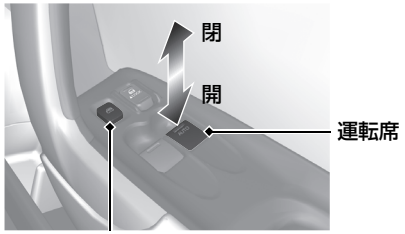
ドアミラー P.119

●パワーモードが ON モードのとき、ドアミラーの格納または角度の調節ができます。



パワーウィンドー P.108

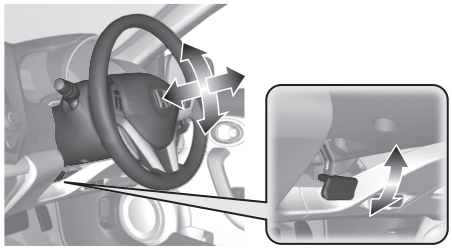
●パワーモードが ON モードのとき、ウィンドーの開閉ができます。



- ON　運転席以外のウィンドーが非作動
- OFF　全てのウィンドーが作動

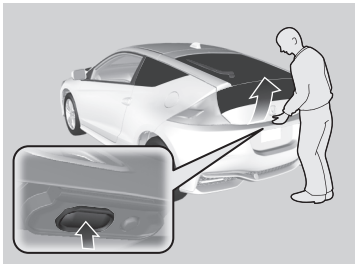
ハンドル位置の調節 P.118

●ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルの位置を調節します。



テールゲート P.105

●テールゲートは、テールゲートオープンスイッチを押して引き上げます。



エアコン P. 135

●AUTO を押すと、オートエアコンが作動します。

● ON/OFF を押すと、止まります。

●前面ガラスの曇りを取るには、FRONT を押します。



運転 P.141

マニュアル車 P.158

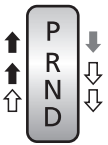
無段変速オートマチック車

P.151

●セレクトレバーを P に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。

セレクトレバー

セレクトレバーの操作



ブレーキペダルを右足で踏み、ボタンを押して操作

ボタンを押して操作

ボタンを押さずそのまま操作



P パーキング
駐車またはエンジンの始動

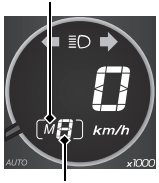
R リバース
車を後退

N ニュートラル
アイドリング状態

D ドライブ
・通常走行
・7速マニュアルシフトモード
・Lモード

7速マニュアルシフトモード

●ハンドルから手を放さずシフトスイッチを引いて、自在にシフト操作ができます。



M 表示灯

シフトインジケーター

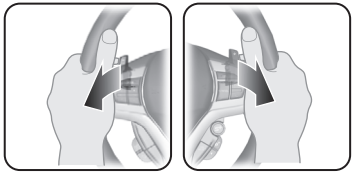
SPORT モード

●ハンドルにあるシフトスイッチを引くと、7速マニュアルシフトモードになります。M（7速マニュアルシフトモード）表示灯が点灯し、シフトインジケーターにギヤ位置が表示されます。

NORMAL モード、ECON モード

●ハンドルにあるシフトスイッチを引くと、一時的に7速マニュアルシフトモードになります。シフトインジケーターにギヤ位置が表示されます。

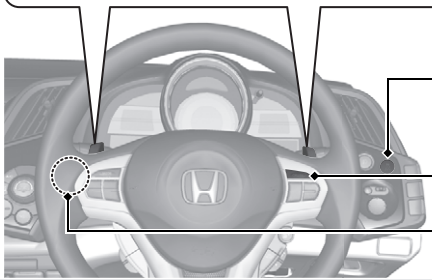
−シフトスイッチ（シフトダウン）　+シフトスイッチ（シフトアップ）



Lモード

●急な上り坂を上るときなどは、通常走行に比べて、力強い走行が可能なLモードにすると便利です。

●+とーのシフトスイッチを同時に引き続けると、Lモードになります。このとき、シフトインジケーターにLが表示されます。 P.155



VSA OFF スイッチ

CRUISE スイッチ

ENIGINE START/STOP スイッチ

VSA OFF スイッチ
P. 173

- VSA とは、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。
- エンジンを始動すると自動的に VSA は ON になります。
- VSA を停止(OFF)状態にするには、VSA OFF を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用(ON)するには VSA OFF を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

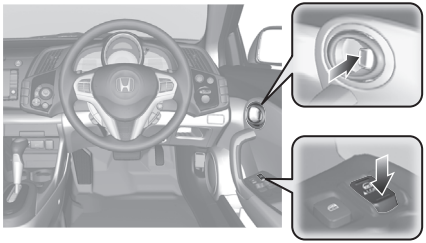
CRUISE スイッチ
P. 169

- クルーズコントロールは、高速道路などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。
- クルーズコントロールを使用しないときは、安全のために CRUISE を押して OFF にしてください。

ガソリンを入れる
P. 191

指定燃料：	無鉛レギュラーガソリン レギュラーバイオ混合ガソリン(E10/ETBE22)
タンク容量：	40 リットル

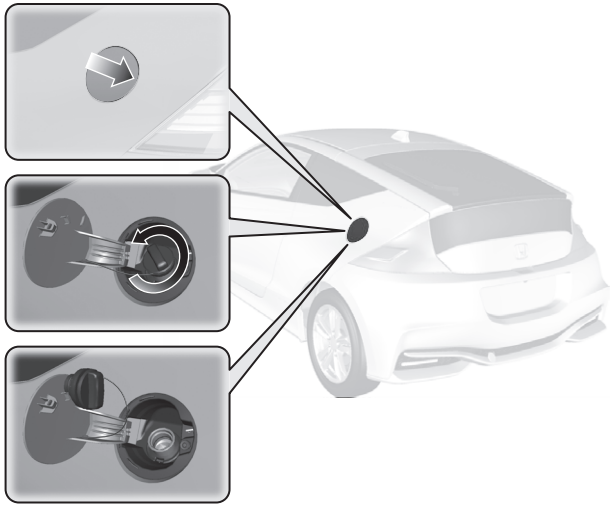
❶ 運転席のノブまたはマスタードアロックスイッチで解錠する。



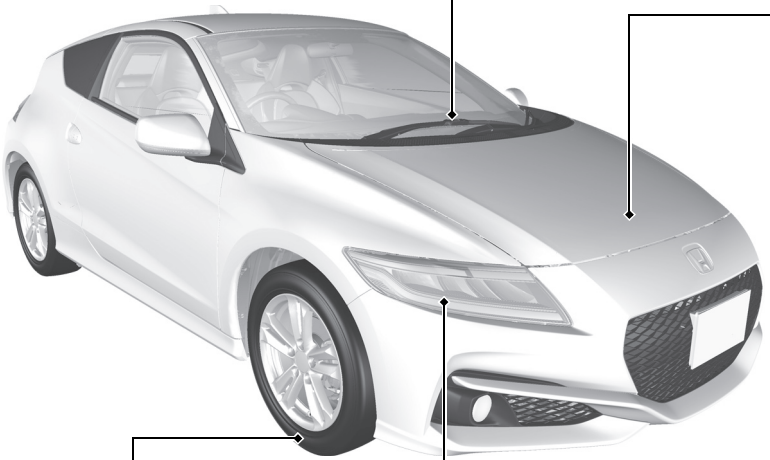
❷ フューエルリッドの右端を「カチッ」と音がするまで押して、リッドを浮かせる。

❸ ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。

❹ キャップをホルダーにかける。



メンテナンス P. 195



ワイパーブレード P. 208

●拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。

エンジンルーム P. 198

●冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
●12V バッテリーを点検します。

❶ 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。

解除ノブ



❷ レバーを左に押し、ボンネットを開ける。



タイヤ P. 211

●タイヤ、ホイールを点検します。
●降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

ライト P. 201

●フォグライト電球、前面方向指示器電球などの点検または交換を行います。
●電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。
●ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

万一の場合には P. 227

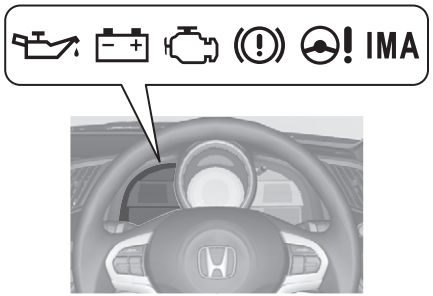
パンクした P. 229

●安全な場所に停車し、パンク修理キットで応急修理します。



警告灯が点灯した P. 248

●詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



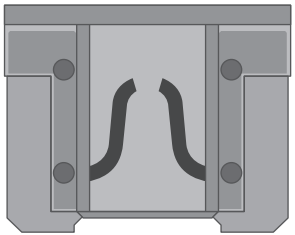
エンジンが始動しない P. 240

●12V バッテリーあがりが考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。



ヒューズが切れた P. 253

●運転席の足元とエンジンルーム内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



オーバーヒートした P. 246

●安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。



けん引してもらいたい P. 261

●必ず専門業者に依頼してください。やむをえず 4 輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。



こんなときは

Q **ENGINE START/STOP のパワーモードが OFF モードからアクセサリーモードにならない**

A
- ハンドルがロックされていませんか？
- ハンドルを左右に回しながら、ENGINE START/STOP を押してください。



Q **ENGINE START/STOP のパワーモードが OFF モードにならない**

A
- セレクトレバーが P 以外の位置になっていませんか？

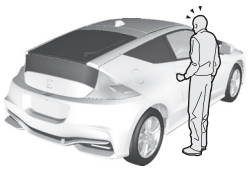


Q **ブレーキペダルを踏んだらガタガタと振動した**

A
- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。
  これは ABS が作動しているときの現象で異常ではありません。
  そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

Q **キーレスエントリーシステムおよび Honda スマートキーシステムでドアを解錠したはずなのに施錠されている**

A
- キーレスエントリーシステムおよび Honda スマートキーシステム で解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。



Q 運転席ドアを開けるとブザーが鳴る

A
- 「ポーン」と鳴るときはパワーモードをOFF モード以外にしていませんか？
- 「ポーン」と鳴るときはライトを消し忘れていませんか？
- アイドリングストップ中に運転席ドアを開けると、「ピーッピーッピーッ…」と鳴ります。



Q 走行するとブザーが鳴る

A
- 運転席シートベルトを着用していますか？

Q パーキングブレーキスイッチを押してもパーキングブレーキが解除できない

A
- ブレーキペダルを踏んでスイッチを操作していますか？

Q アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが自動で解除できない

A
- 運転席シートベルトを着用していますか？

無段変速オートマチック車
- セレクトレバーがP、N以外になっていますか？

マニュアル車
- チェンジレバーがN以外になっていますか？
- クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、クラッチペダルを操作しながらアクセルペダルをゆっくりと踏みこんでいますか？

Q 走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする

A
- ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。

Q **レギュラーガソリン仕様車にプレミアム(ハイオク)ガソリンを使用しても大丈夫ですか？**

A

- プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

HondaおよびHondaが委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断や Honda の車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。
なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

Honda および Honda が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

目次

安全なドライブ P.26

安全なドライブのために 27　シートベルト 28　エアバッグ 33　お子さまの安全 42
排気ガスの危険性 54

計器の見かた P.55

警告灯と表示灯 56　メーターとマルチインフォメーションディスプレイ 76

各部の操作 P.93

時刻の設定 94　ドアの施錠と解錠 95　テールゲートの開閉 105　セキュリティシステム 106
ウィンドーの開閉 108　ハンドルまわりのスイッチ操作 110　ミラー類の調節 119
シートの調節 119　室内灯 / 室内装備品 125　エアコン 135

オーディオ P.139

オーディオ装置* 140

運転 P.141

運転の前に 142　運転操作 144　ブレーキ操作 174　駐停車操作 188
リヤワイドカメラシステム* 190　給油 191　アクセサリーと改造 194

メンテナンス P.195

メンテナンスの前に 196　エンジンルーム内のメンテナンス 198　電球の交換 201
ワイパーブレードラバーの点検と整備 208　タイヤの点検と整備 211　Honda スマートキー 216
エアコンのお手入れ 218　清掃 220

万一の場合には P.227

工具、発炎筒 228　パンクしたとき 229　ジャッキの取り扱い 238　エンジンが始動しない 240
ジャンプスタート 243　セレクトレバーが動かない 245　オーバーヒート 246　警告灯の点灯 / 点滅 248
ヒューズ 253　けん引 261　フューエルリッドが解錠できないとき 264
テールゲートが開かないとき 265

資料 P.266

仕様 267

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。



安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前によくお読みいただき、運転者と同乗者の安全を
確保してください。

安全なドライブのために 27
シートベルト
シートベルトについて 28
シートベルトの着用 30
シートベルトの点検 32
エアバッグ
エアバッグの種類 33
SRS エアバッグ 33
サイドエアバッグ✤ 36
サイドカーテンエアバッグ✤ 38
エアバッグシステム警告灯 40
エアバッグのお手入れ 41
お子さまの安全 42
乳幼児の安全 43
大きなお子さまの安全 52
排気ガスの危険性
一酸化炭素について 54

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか？
  ▶すべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
  ➔ **車内での施錠 / 解錠** P.103
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
  ▶正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置の調節をしてください。
  ➔ **フロントシート** P.120
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
  ▶ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
  ➔ **フロントシート** P.120
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
  ▶運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
  ➔ **シートベルトの着用** P.30
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
  ▶エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
  ➔ **エアバッグ** P.33
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
  ▶お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
  ➔ **お子さまの安全** P.42
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを P または チェンジレバーを上り坂の場合 1、下り坂と平地の場合 R にしているか？
  ▶さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。
  ➔ **シフト操作** P.151, 158

安全のための確認事項

ドア / テールゲート開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドア、テールゲートがあります。

ドア、テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。「ドア / テールゲート開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

➔ **ドア / テールゲート 開閉警告灯** P.62
➔ **マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ** P.70

シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。
すべての席に三点式シートベルトが装備されています。

■シートベルトの着用

シートベルトの着用にあたっては、以下の点に注意してください。

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

≫シートベルトについて

⚠警告

シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。
シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

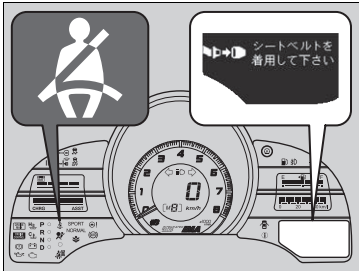
乗車中は正しい姿勢を保つ。
正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

シートベルトを着用した状態で事故にあったときは、Honda 販売店で点検を受け、ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

シートベルトがロックした場合、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ベルトをゆっくり引き出してください。

ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。

■シートベルトリマインダー



パワーモードをONモードにしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

■シートベルトプリテンショナー

フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。
シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束します。



シートベルトリマインダー

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。
  また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。

オートマチック車

- セレクトレバーを R に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

シートベルトプリテンショナー

⚠注意

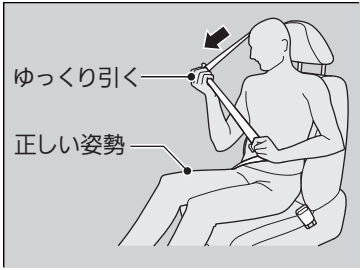
シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。
誤作動や故障の原因となります。

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。
衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動すると、エアバッグシステム警告灯が点灯します。
衝突したときは、Honda 販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

SRS エアバッグとシートベルトプリテンショナーはかならずしも同時に作動しません。

シートベルトの着用

■三点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. シートベルトをゆっくり引き出す。



3. タングプレートをバックルに差し込む。
▶ このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。



4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように合わせる。
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

シートベルトの着用

⚠注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。
シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

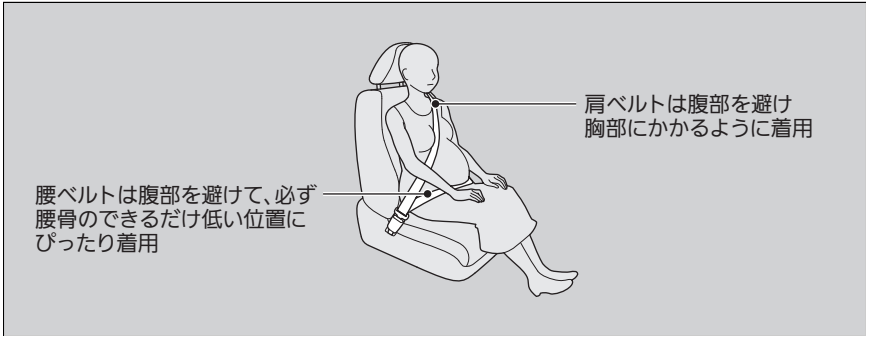
シートベルトを外すには、バックルの赤色の PRESS を押してください。
そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

シートベルトの分解、改造はしないでください。正常に作動しないおそれがあります。

■妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。



妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

⚠注意

妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。
万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点を注意してください。万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

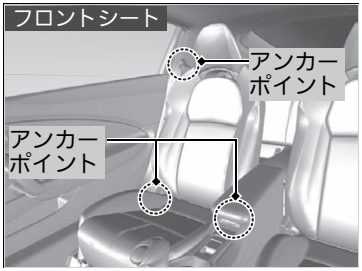
- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

シートベルトの点検

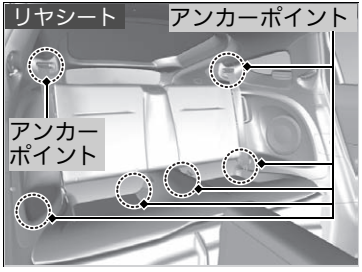
シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。
点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

シートベルトのアンカーポイント



シートベルトを交換する場合、図の中で示されるアンカーポイントを使用してください。
フロントシートには三点式シートベルトが使われています。



リヤシートには三点式シートベルトが使われています。

シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。
ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

エアバッグの種類

エアバッグは、パワーモードがON モードのときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。
エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ**：フロントシートの前方向エアバッグ
- **サイドエアバッグ***：フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ***：窓側の天井部両側についたエアバッグ

SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

SRS：サプリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

■格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードにSRSエアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

■作動のしくみ

SRSエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

次ページに続く

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

≫エアバッグの種類

⚠警告

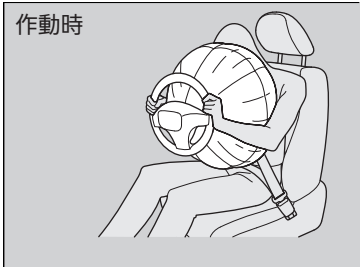
エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。
エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

⚠注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。
エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

■ SRS エアバッグの作動



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRSエアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、SRS エアバッグが作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

SRS エアバッグの作動

⚠警告

インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない
SRSエアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認後、ただちに車外に出てください。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。
- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小と SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

SRS エアバッグの作動

⚠注意

SRSエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

サイドエアバッグ*

フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

■格納場所



運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。
どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

■作動のしくみ



サイドエアバッグは、約30km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに運転席または助手席のサイドエアバッグが膨らみます。
車両側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの車速は高くなります。

▶サイドエアバッグ*

⚠注意

ドアやその周辺にアクセサリーなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。
正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。

サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。
フロントシートへのシートカバー装着にあたってはHonda販売店にご相談ください。

*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

■作動条件

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、サイドエアバッグが作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

▧サイドエアバッグ*

⚠注意

ドアに寄りかからない。
サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要以上に近づけない。
リヤシート同乗者は、フロントシートの背もたれを抱えない。
サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

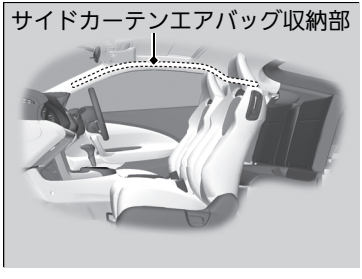
エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認したら、ただちに車外に出てください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

サイドカーテンエアバッグ*

窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

■格納場所



運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。
どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

▶サイドカーテンエアバッグ*

⚠注意

サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。

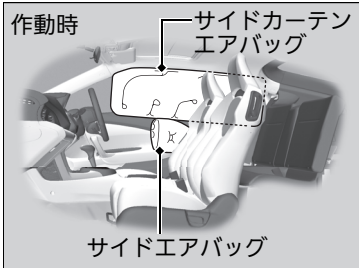
- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない

サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。
サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

■作動のしくみ



サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときです。運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

■作動条件

サイドカーテンエアバッグの作動条件は、サイドエアバッグと同じ条件です。

➡ **作動条件** P.37

■前方向から衝突したときの作動

前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRSエアバッグが膨らんだあと必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

▨サイドカーテンエアバッグ*

⚠注意

サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。

収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda販売店で交換してください。

サイドカーテンエアバッグの分解、取り外しはしない。

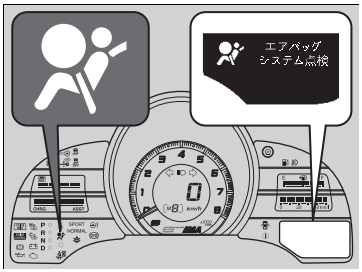
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

エアバッグシステム警告灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯やマルチインフォメーションディスプレイで知らせます。

■エアバッグシステム警告灯



■パワーモードを ON モードにしたとき

パワーモードを ON モードにすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■異常が発生したとき

エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるときに点灯します。

エアバッグシステム警告灯

⚠警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。
エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちにHonda 販売店で点検を受けてください。

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda 販売店で点検を受けてください。
パワーモードを ON モードにしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。
ただし、以下の場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

■エアバッグが作動し、膨らんだとき

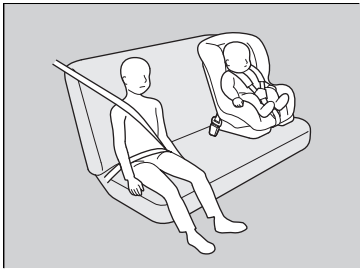
一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。
また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

エアバッグのお手入れ

エアバッグ関連部品の再利用はしないでください。

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはリヤシートに乗せる
  ▶ お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
  また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があります。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
  ▶ お子さまを抱えたり、ひざの上に乗せないでください。衝突したときに支えることができません。正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
  ▶ 乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 車外に手や顔、ものを出さない
  ▶ 走行中や一時停止時などに、お子さまが車外に手や顔、ものなどを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあります。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
  ▶ 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
  ▶ お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になります。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全を守るために

⚠警告

チャイルドシートは後席に設置する。
助手席に設置するとSRSエアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

⚠警告

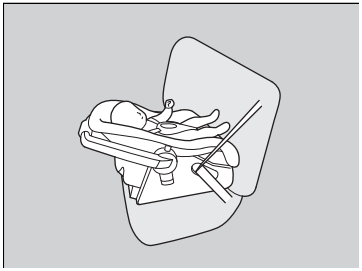


シート前方の作動可能なエアバッグで保護されたシートには、後ろ向きチャイルドシートを絶対に取り付けないでください。
お子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。

乳幼児の安全

■乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートに設置することができます。
推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

≫お子さまの安全を守るために

お子さまを助手席に乗せることをおすすめしない理由は下記の通りです。

- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- サイドエアバッグシステム装備車は、お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

≫乳児のチャイルドシート

⚠警告

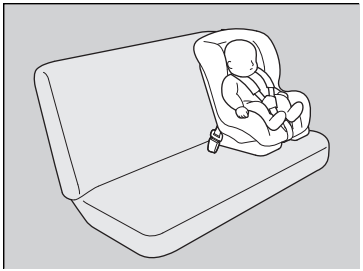
後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。
前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。
助手席のSRSエアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

次ページに続く

■幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■前向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートへの設置を推奨します。

≫幼児のチャイルドシート

⚠警告

助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎていたり、衝突したときに乳幼児の頭が前に投げ出されるとSRSエアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

■チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは汎用型 ISOFIX チャイルドシートをお選びください。
シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。
汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシートに付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の3つの条件を満たしている必要があります。

- チャイルドシートが一覧表に案内されているお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること
  選択の目安 P.46, 47
- チャイルドシートが安全基準に適合したものであること
  UN-ECE R44 に適合したチャイルドシートをお勧めします。

チャイルドシートの選びかた

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは取り付けが簡単です。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

次ページに続く

■シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ベルト固定タイプ チャイルドシート 重量区分	座席位置 前席 助手席	後席
グループ 0 ～ 10kg	X	U※2、※3
グループ 0 ＋ ～ 13kg	X	U※2、※3
グループ I 9kg ～ 18kg	UF※1	U※2、※3
グループ II 15kg ～ 25kg	UF※1	U※2、※3
グループ III 22kg ～ 36kg	UF※1	U※2、※3

記号の説明

UF　：汎用型チャイルドシートが前向きに取り付け可能です。
U　：汎用型チャイルドシートが取り付け可能です。
X　：チャイルドシートを取り付けできません。
※1　：背もたれを最も前に起こした位置から 5 段階倒した位置まで取り付け可能です。
※2　：フロントシートの前後位置が最も前のときのみ取り付け可能です。
※3　：フロントシートの背もたれを最も前に起こした位置のときのみ取り付け可能です。

▶シートベルトで固定するチャイルドシートについて

チャイルドシートに関する国連の安全基準である UN-ECE R44 に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。

チャイルドシートをご購入する際は、重量グループに一致したものをお選びください。

チャイルドシートには、UN-ECE R44 認可表示と取扱説明書に UNIVERSAL(汎用)と案内されているものもあります。

EC認可表示（例）



汎用型 ISOFIX チャイルドシート以外のチャイルドシートを使用するときは、シートの種類や取り付けの向きにより固定金具(ロッキングクリップ)が必要になる場合があります。

Honda 純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。

■汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

この車のリヤシートには、汎用型 ISOFIX チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

汎用型 ISOFIX チャイルドシート 重量区分	サイズ等級	固定具	座席位置	
			前席 助手席	後席
キャリコット	F G	ISO/L1 ISO/L2	ー	X
グループ 0 ～ 10kg	E	ISO/R1	ー	IL※1、※2
グループ 0 ＋ ～ 13kg	E D C	ISO/R1 ISO/R2 ISO/R3	ー ー ー	IL※1、※2 X X
グループ I 9kg ～ 18kg	D C B B1 A	ISO/R2 ISO/R3 ISO/F2 ISO/F2X ISO/F3	ー ー ー ー ー	X X X IUF※1 X
グループ II 15kg ～ 25kg	ー	ー	ー	X
グループ III 22kg ～ 36kg	ー	ー	ー	X

次ページに続く

記号の説明

IUF ：国連の安全基準 ECE R44 に適合している汎用型 ISOFIX チャイルドシートのみが前向きに取り付け可能です。

IL ：国連の安全基準ECE R44に適合している準汎用型ISOFIXチャイルドシートシートのみが取り付け可能です。

X ：ISOFIX チャイルドシートを取り付けできません。

※1 ：フロントシートの前後位置が最も前のときのみ取り付け可能です。

※2 ：フロントシートの背もたれを最も前に起こした位置のときのみ取り付け可能です。

▶汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

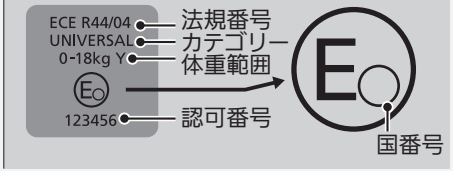
チャイルドシートをご購入する際は、ISOFIXサイズ等級に一致したものをお選びください。

固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状、大きさ
ISO/L1	乳児	左	寝台式
ISO/L2	乳児	右	寝台式
ISO/R1	乳児	後ろ	―
ISO/R2	幼児	後ろ	小型
ISO/R3	幼児	後ろ	大型
ISO/F2	幼児	前	低型
ISO/F2X	幼児	前	低型
ISO/F3	幼児	前	全高

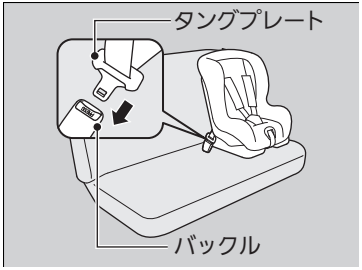
Honda 純正 Honda Baby ISOFIX のご購入は Honda 販売店にご相談ください。

IUFのチャイルドシートには、UN-ECE R44認可表示と取扱説明書に UNIVERSAL ISOFIX (汎用)と案内があります。

EC認可表示（例）



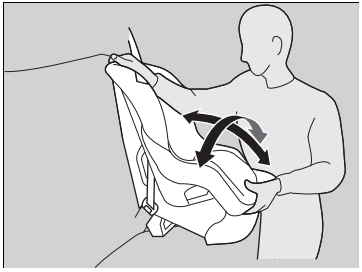
■シートベルトでの取り付け



1. チャイルドシートを座席に置く。

2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレートをバックルに差し込む。

▶ このとき、バックルが「カチリ」という音がするまできちんと差し込んでください。



3. チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。

4. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

5. フロントシートを適切な位置に調節する。

▶ フロントシートとチャイルドシートの間に十分なスペースを確保してください。

➡ **シートベルトで固定するチャイルドシートについて** P.46

■チャイルドシートの取り外し

バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

次ページに続く

シートベルトでの取り付け

⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

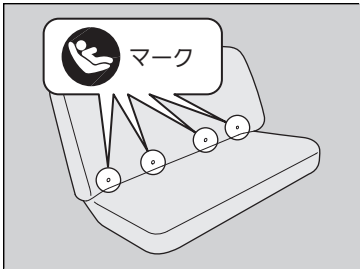
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

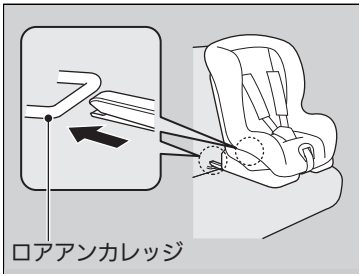
チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具(ロッキングクリップ)が必要になります。

■汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシートに設置できます。チャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。



1. マークの下にあるシートの切れ目からロアアンカレッジを確認する。



2. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがってロアアンカレッジに取り付ける。

▶取り付けの際に、異物やシートベルトなどがロアアンカレッジにかみ込まないようにしてください。

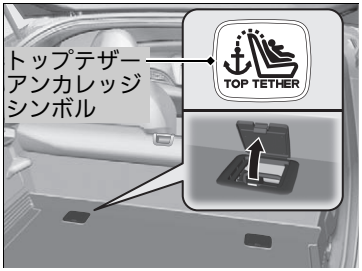
≫汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

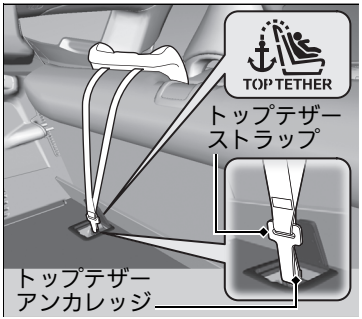
⚠注意

ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。
異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

汎用型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。





3. フロアにあるカバーを開ける。

4. トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っかけ、ストラップを締める。

▶ このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。

5. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

6. フロントシートを適切な位置に調節する。

▶ フロントシートとチャイルドシートの間に十分なスペースを確保してください。

汎用型ISOFIXチャイルドシートについて
P.47

汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

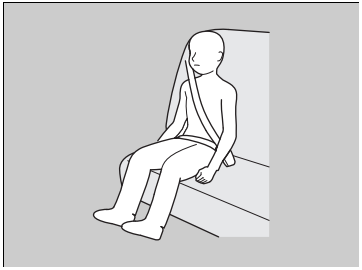
⚠注意

トップテザーアンカレッジシンボルが無いフックに、トップテザーストラップを使用しないでください。

大きなお子さまの安全

■シートの使用について

幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、リヤシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



■確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

■ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをリヤシートに設置して使用してください。
安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

大きなお子さまの安全

⚠警告

お子さまは助手席に乗せない。
お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。
やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

ジュニアシートについて

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

■やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- 取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する

一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。
以下の場合は、排気ガスのもれがないかHonda販売店で点検を受けてください。

■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

»一酸化炭素について

⚠警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。
エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。
ガレージのドアを閉めたままエンジンを始動しないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンを始動してください。



計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、
メーター類に関する情報を記載しています。

警告灯と表示灯

警告灯 56
表示灯 63
マルチインフォメーションディスプレイの
メッセージ.....70

メーターとマルチインフォメーションディスプレイ

メーター..... 76
マルチインフォメーションディスプレイ 78

警告灯

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ブレーキ警告灯（レッド）	• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯（パーキングブレーキをかけているときは点灯） • パーキングブレーキをかけると点灯し、解除すると消灯 • ブレーキフルード量が低下したときに点灯 • ブレーキシステムが異常のときに点灯 • 電子制御パーキングブレーキが異常のときに点滅	• パワーモードが OFF モードのときにパーキングブレーキをかけると約15秒間点灯後、消灯 • パーキングブレーキをかけているときにパワーモードを ON モードから OFF モードにすると約 15 秒間点灯後、消灯 • 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキフルードを点検し、下限より減っている場合はただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ➔ **ブレーキ警告灯（レッド）が点灯 / 点滅した** P.250 • パーキングブレーキが故障して作動しません。 ➔ **ブレーキ警告灯（レッド）が点灯 / 点滅した** P.250 • ブレーキシステム警告灯（オレンジ）の点灯と同時に点滅した場合は、パーキングブレーキが作動しないことがあります。パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ➔ **ブレーキシステム警告灯（オレンジ）の点灯と同時にブレーキ警告灯（レッド）が点灯または点滅した** P.251	    

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ブレーキ警告灯（レッド）	• 走行中、パーキングブレーキスイッチを引き続けたとき	• パーキングブレーキを解除してください。 ➔ **電子制御パーキングブレーキ** P.174	
		• ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチを押したとき	• ブレーキペダルを踏んでパーキングブレーキスイッチを押してください。 ➔ **電子制御パーキングブレーキ** P.174	

次ページに続く

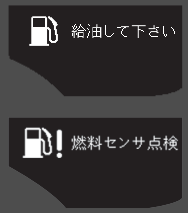
警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ブレーキシステム警告灯（オレンジ）	• パワーモードをONモードにすると数秒点灯したあと、消灯	• 運転中に点灯したときは、ただちにHonda 販売店で点検を受けてください。	
		• シティブレーキアクティブシステム✤が異常のときに点灯	• シティブレーキアクティブシステム表示灯と同時に点灯したときは、シティブレーキアクティブシステムが故障して作動しません。 Honda 販売店で点検を受けてください。 ➔ **シティブレーキアクティブシステム✤** P.181	
		• 電子制御パーキングブレーキが異常のときに点灯	• 点灯したときは、パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ➔ **ブレーキ警告灯（レッド）が点灯 / 点滅した** P.250	

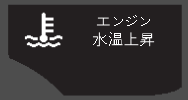
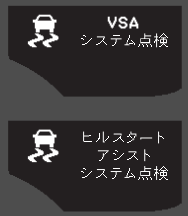
✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	油圧警告灯	• パワーモードをONモードにすると点灯し、エンジン始動で消灯 • エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯	• **走行中に点灯**＝ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。 ➡ **油圧警告灯が点灯した** P.248	
	PGM-FI 警告灯	• パワーモードをONモードにすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジンを始動していないときは数十秒後消灯 • エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯 • エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅	• **走行中に点灯**＝高速走行を避けてただちにHonda販売店で点検を受けてください。 • **走行中に点滅**＝枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを停止して冷えるのをお待ちください。 ➡ **PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した** P.249	
	12V バッテリー充電警告灯	• パワーモードをONモードにすると点灯し、エンジン始動で消灯 • 12Vバッテリーが充電されていないと点灯	• **走行中に点灯**＝電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどを OFF にし、対処してください。 ➡ **充電警告灯が点灯した** P.248	
	トランスミッション警告灯*	• パワーモードをONモードにすると数秒点灯したあと、消灯 • トランスミッションが異常のときに点滅	• 運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。	

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	シートベルト非着用警告灯	• 運転者がシートベルトをしないと点灯 • パワーモードをONモードにしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅	• シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 • シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 ➔ **シートベルトリマインダー** P.29	
	燃料残量警告灯	• 燃料の残量が少なくなると点灯 点灯するのは、タンクに残っている残量がおよそ 7 リットルになったときです。 • 燃料計に異常があるときは点滅	• 点灯したら早めに給油してください。 • 点滅したときは、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。	
	ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯	• パワーモードをONモードにすると数秒点灯したあと、消灯 • ABS が異常のときに点灯	• 点灯したときは、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。 ➔ **ABS(アンチロックブレーキシステム)** P.178	
	エアバッグシステム警告灯	• パワーモードをONモードにすると数秒点灯したあと、消灯 • 下記のとき点灯 • エアバッグシステムの異常 • プリテンショナーシステムの異常	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。	

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	高水温警告灯（レッド）	• パワーモードをONモードにすると数秒点灯したあと、消灯 • エンジンの冷却水の温度が上がると点滅し、さらに上がると点灯	• エンジン冷却水の温度が低いときは、消灯後ブルーで点灯します。 • **走行中に点滅**＝ゆっくり走行してください。 • **走行中に点灯**＝ただちに安全な場所に車を停車し、エンジンを冷やしてください。 ➡ **オーバーヒート** P.246	
	VSA（ビークルスタビリティアシスト）警告灯	• パワーモードをONモードにすると数秒点灯したあと、消灯 • VSA が作動しているときは点滅 • ヒルスタートアシスト、発進補助ブレーキ機能✤、ブレーキアシストシステム、VSA システムのいずれかが異常のときに点灯	• 運転中に点灯したときは、ただちにHonda 販売店で点検を受けてください。なお、点灯の場合でも通常のブレーキ機能としての性能は確保されています。 ➡ **VSA（ビークルスタビリティアシスト）** P.172	
	VSA OFF 警告灯	• パワーモードをONモードにすると数秒点灯したあと、消灯 • VSA を OFF にすると点灯	➡ **VSA（ビークルスタビリティアシスト）** P.172	—

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ドア / テールゲート 開閉警告灯	• ドア、テールゲートが閉まっているときは、パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯 • ドア、テールゲートが完全に閉まっていないとき点灯	• ドア、テールゲートを完全に閉めると、警告灯が消灯します。	
	EPS（電動パワーステアリング） システム警告灯	• パワーモードを ON モードにすると点灯し、エンジン始動で消灯 • EPS システムの機能に異常があると点灯	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。 ➡ **EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯が点灯した** P.252	
	IMA システム 警告灯	• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯 • IMA制御システムが異常のときに点灯	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、高速走行を避けてただちにHonda販売店で点検を受けてください。 ➡ **IMA システム警告灯が点灯した** P.252	

表示灯

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ハイビーム 表示灯	• ヘッドライトを上向きにしたときに点灯	—	—
	ライト点灯 表示灯	• ライトスイッチがOFF以外のときに点灯(AUTO のときは車幅灯点灯時に点灯)	• ライトを点灯したままパワーモードをOFF モードにしているとき、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。	—
	フォグライト点灯 表示灯	• フォグライトを点灯させると点灯	—	—
	方向指示器 / 非常点滅表示灯	• 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅 • 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅	• 点滅しない/点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。 ➔ **電球の交換** P.201, 204	—
	低水温表示灯 (ブルー)	• エンジン冷却水の温度が低いときに点灯	• 暖機を十分にした状態で、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーなどの異常が考えられます。Honda販売店で点検を受けてください。	—

次ページに続く

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	イモビライザーシステム表示灯	• パワーモードをONモードにすると一瞬点灯し、すぐに消灯 • イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅	• 一瞬の点灯は異常ではありません。 • 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。パワーモードをいったんOFFモードにしてから、もう一度 ON モードにしてください。 • 頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますのでHonda 販売店で点検を受けてください。 • ENGINE START/STOP スイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。	—

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	インフォメーション表示灯	• 異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、同時に警告音も鳴り、点灯	• メッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行って下さい。 • メッセージは、警告が解除されるか、インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押すまで通常表示に戻りません。 • 点灯しているときにインフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押すと、メッセージを再表示させる事ができます。	—
	セキュリティアラームシステム作動表示灯	• セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅	➔ **セキュリティアラームシステム** P.106	—
	オートアイドルストップ表示灯	• オートアイドルストップシステムが作動し、アイドリングストップしたときに点滅	➔ **オートアイドルストップシステム** P.160, 163	—

次ページに続く

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
CRUISE MAIN	クルーズメイン表示灯	• クルーズスイッチを押して、クルーズコントロールを ON にすると点灯	➔ クルーズコントロール P.169	—
CRUISE CONTROL	クルーズコントロール表示灯	• クルーズコントロールで自動定速走行しているときに点灯	➔ クルーズコントロール P.169	—
UP	シフトアップ / ダウン表示灯✤	• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯 • シフトアップ推奨時に点灯	➔ シフトアップ / ダウン表示灯 P.159	—
DOWN		• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯 • シフトダウン推奨時に点灯		
SPORT	SPORT モード表示灯	• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯 • SPORT モードスイッチを押して、SPORT モードにすると点灯	➔ ３モードドライブシステム P.166	SPORT
NORMAL	NORMAL モード表示灯	• パワーモードを ON モードにすると点灯 • NORMAL モードスイッチを押して、NORMAL モードにすると点灯	➔ ３モードドライブシステム P.166	NORMAL
	ECON モード表示灯	• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯 • ECON モードスイッチを押して、ECON モードにすると点灯	➔ ３モードドライブシステム P.166	ECON

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	プラススポーツシステム表示灯	• プラススポーツシステムが使用可能状態になると点灯	➔ **プラススポーツシステム** P.167	—
	プラススポーツ READY 表示灯	• プラススポーツシステムが使用可能または待機状態のときに点灯し、システムが作動すると消灯	➔ **プラススポーツシステム** P.167	—
	プラススポーツ表示灯	• プラススポーツシステムが使用可能状態になると点灯 • システムが待機状態または作動中の時に点滅	➔ **プラススポーツシステム** P.167	—
	セレクトポジション表示灯✤	• 現在のセレクトレバーのポジションが点灯	➔ **シフト操作** P.151	—
	シフトインジケーター/ M (7 速マニュアルシフトモード)表示灯✤	• SPORT モードで 7 速マニュアルシフトモードのときに点灯 • 7 速マニュアルシフトモードのとき、ギヤ位置を表示	➔ **7 速マニュアルシフトモードの操作** P.154	—

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
CTBA	シティブレーキアクティブシステム表示灯✤	• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯した後、消灯	—	—
		• カスタマイズでシステムを停止すると点灯 • カスタマイズでシステムを作動状態にすると消灯	➔ **シティブレーキアクティブシステム✤** P.181 ➔ **カスタマイズのしかた** P.86	—
		• フロントガラス上部にあるレーザーセンサー付近に汚れ、氷、霜などの遮蔽物があるとき点灯 • 雨、霧、雪など悪天候のときも点灯することがあります	• 走行中はウォッシャーとワイパーで汚れなどの遮蔽物を取り除いてください。 • 安全な場所に停車して、レーザーセンサー付近のフロントガラスの汚れなどの遮蔽物をふき取ってください。 ➔ **シティブレーキアクティブシステム✤** P.181 • 遮蔽物が落ちるとシステムは復帰します。	
		• ボンネットに雪などが積もっているときに点灯することがあります	• 安全な場所に停車してボンネット上の雪などを取り除いてください。	

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
CTBA	シティブレーキアクティブシステム表示灯✤	• フロントガラス上部にあるレーザーセンサー付近の温度が高くなると点灯することがあります	• エアコンで室内温度を下げるなどして、フロントガラス上部にあるレーザーセンサー付近の温度を下げてください。 • 温度が下るとシステムは復帰します。	
		• システムに異常があるとブレーキシステム警告灯(オレンジ)と共に点灯	• システムは作動しません。 Honda 販売店で点検を受けてください。	

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ

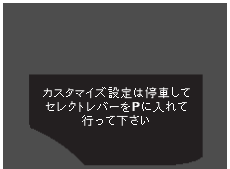
下記のメッセージはマルチインフォメーションディスプレイにのみ表示されます。
再表示させるときはインフォメーション(i)スイッチ(▲/▼)を押してください。

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• パワーモードがONモードのときに、外気温が3℃以下になると1回のみ表示	—
	• ライトを点灯したままパワーモードを OFF モードにして、運転席のドアを開けると表示	• ライトスイッチを OFF にしてください。 ➡ **ライトスイッチ** P.113
	• IMA バッテリー残量が著しく少ないときに表示	• そのまま走行を続けるか、安全な場所に停車し、メッセージが消えるまでエンジンをかけたままにしてください。
	• パワーモードを ON モードにすると数秒点灯したあと、消灯 • Honda スマートキーシステムが異常のときに点灯	• 下記のような場合、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • 運転中に点灯した • エンジン始動後も消灯しない • パワーモードが OFF モードのときに数秒間点灯した

メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• パワーモードがアクセサリーモードのときに運転席のドアを開けると表示	• ブレーキペダルを踏まずに ENGINE START/STOP を2回押して、パワーモードを OFF モードにしてください。 ➡ **ENGINE START/STOP スイッチ** P.110
	• Honda スマートキーの電池残量が少なくなったときや Honda スマートキーが車内にないときに、警告音と同時に表示	➡ **Honda スマートキーの電池が切れたとき** P.241
	• パワーモードがアクセサリーモードのときに表示	—
	• シートベルトを着用しないで、パワーモードを ON モードにすると表示	• 運転するときは、シートベルトを正しく着用してください。

次ページに続く

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• スターターシステムが異常のときに表示	• ブレーキを踏んだまま、 ENGINE START/STOP をエンジンが始動するまでおよそ 15 秒間押し続けてください。消灯しないときや再び点灯した場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	• ロービームヘッドライトの機能に異常があると表示	• 運転中に表示された場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	• パワーモードが ON モードで、Honda スマートキーを車外に持ち出し、ドアを閉めたときに、警告音と同時に表示	➡ **Honda スマートキー持ち去り警告** P.112
	• Honda スマートキーの電池残量が少なくなったときに、警告音と同時に表示	➡ **電池交換のしかた** P.217
	• オートライトコントロールシステムに異常があると表示	• 運転中に表示された場合は、ライトの点灯、消灯は手動で行い、Honda 販売店で点検を受けてください。 ➡ **ライトスイッチ** P.113

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• 以下のとき、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ設定をすると表示 • セレクトレバーが P 以外のとき(無段変速オートマチック車) • パーキングブレーキを解除しているとき(マニュアル車) (マニュアル車は「カスタマイズ設定は停車してパーキングブレーキをかけて行って下さい」と表示されます)	➡ **カスタマイズのしかた** P.86

無段変速オートマチック車

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• HMMF(Hondaマルチマチックフルード)の交換時期が近いときに表示 • 時期によって「メンテナンスして下さい」「メンテナンス時期を過ぎています」も表示されます。	➡ **HMMF メンテナンス表示** P.156
	• パワーモードがアクセサリーモードまたはONモードのときに表示	➡ **エンジンの始動** P.144
	• パワーモードが ON モードでセレクトレバーが P 以外のとき、 ENGINE START/STOP を押すと表示	• パワーモードをOFFモードにしたいときは、セレクトレバーを P にして、ブレーキペダルを踏まずに ENGINE START/STOP を 2 回押してください。

次ページに続く

マニュアル車

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• パワーモードがアクセサリーモードまたはONモードのときに表示	➔ **エンジンの始動** P.144
	• アイドリングストップからエンジンを自動的に再始動させるときに、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでいないときに表示	• クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでください。 ➔ **アイドリングストップシステム(マニュアル車)** P.165
	• エンジンを始動するときに、クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないまま、パワーモードをONモードにしたときに表示	• クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、パワーモードを ON モードにしてください。 ➔ **エンジンの始動** P.144
	• 前進のシフトポジションの位置で、アイドリングストップが一定時間続いたときに表示	• チェンジレバーを N (ニュートラル) にしてください。 ➔ **アイドリングストップシステム(マニュアル車)** P.164
	• アイドリングストップ中に、以下の状態のためエンジンが自動的に再始動しないときに表示 • IMA バッテリー残量が低下 • アイドリングストップを続けることができないシステムの異常	• エンジンを再始動してください。 ➔ **エンジンの始動** P.144

シティブレーキアクティブシステム装備車

メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• 衝突の可能性があるときブザーが断続的に鳴り警告が点滅	• 減速などして十分な車間距離を確保してください。車間距離が確保されると警報は消えます。 • 衝突のおそれがあると、自動でブレーキがかかります。 **➡ シティブレーキアクティブシステム*** P.181
	• システムにより車両が停止したときは、ブザーが鳴り止みメッセージが変わります	

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計などの種類があります。
パワーモードが ON モードのとき表示されます。

■スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

■燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。

■タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

≫燃料計

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

アドバイス

燃料計が E に近づいたら、早めに給油してください。
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

≫タコメーター

エンジンの限界回転数は 6,800rpm です。

アドバイス

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないよう運転してください。
特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

セレクトレバーが R のときや、空ぶかしをしたときは、エンジンの限界回転数より低い回転数でも、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。

■瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。

■ IMA バッテリー残量表示

IMA バッテリーの残量をバーグラフで表示します。

■モーターアシスト表示(ASST)

モーターアシストの状態をバーグラフで表示します。

■チャージメーター表示(CHRG)

IMA バッテリーへの充電の状態をバーグラフで表示します。

IMA バッテリー残量表示

次のような場合は、IMA バッテリー残量表示が下がることがあります。

- 12V バッテリーを交換したとき
- 12V バッテリーの端子を外したとき
- IMA バッテリー制御システムが残量の誤差を補正したとき

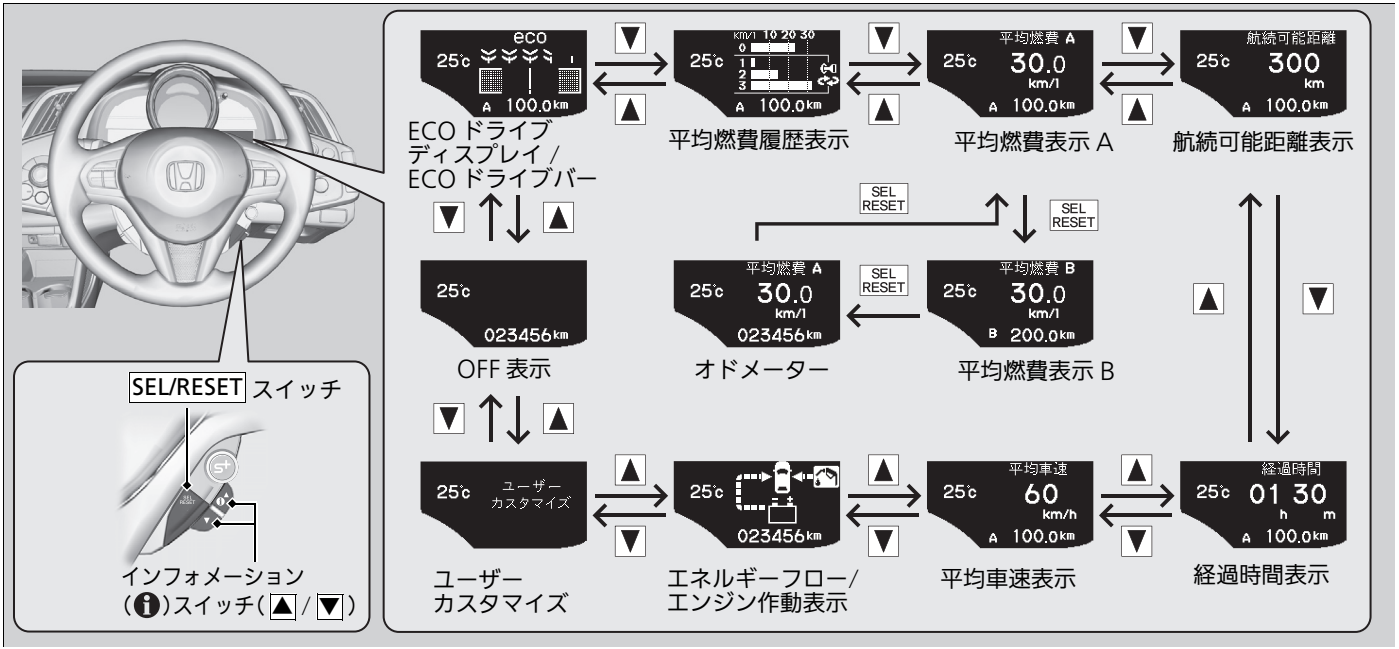
走行すると自動的に充電されます。

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示、燃費情報などが表示されます。
また、異常を検知すると警告メッセージが表示されます。

■表示の切り換えかた

インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲ / ▼)または SEL/RESET を押すごとに、表示が下記のように切り換わります。



■オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

■トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。
トリップメーターA と、トリップメーターB があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

■トリップメーターをリセットするには

リセットしたいトリップメーターが表示されている状態で、 SEL/RESET を押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

■外気温表示

外気温を測定し表示します。

■外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、±3 ℃の範囲で補正することができます。
補正するには、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ機能を使用します。

カスタマイズ機能 P.84

トリップメーター

トリップ A とトリップ B は、 SEL/RESET を押して切り換えます。

トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります。

外気温表示

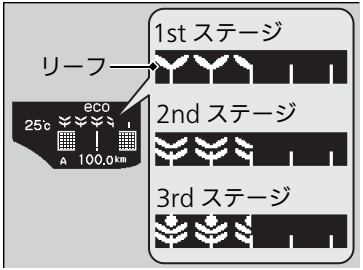
温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。
速度がおよそ30km/h以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。
また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

パワーモードをONモードにしたとき、外気温が3℃以下の場合は、外気温表示が数秒点滅します。

次ページに続く

■ ECO ドライブディスプレイ /ECO ドライブバー



■ECO ドライブディスプレイ

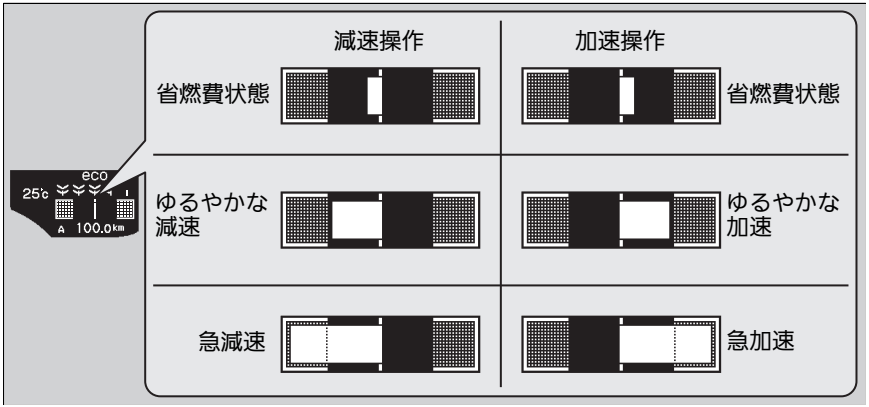
1st ステージから 3rd ステージまで 3 つのランクがあり、運転操作の状態に応じてリーフが増減し、ランクアップ(ダウン)します。

■ECO ドライブディスプレイのリセット

1. 無段変速オートマチック車はセレクトレバーが P に入っていること、マニュアル車はパーキングブレーキがかかっていることを確認し、パワーモードを ON モードにする。
2. ECON モードにしているときは、 NORMAL を押す。
3. パワーモードを OFF モードにする。
4. 再度パワーモードを ON モードにする。
▶ 手順 4 ～ 6 は、30 秒以内に行ってください。
5. ブレーキペダルを 2 回踏み込む。
▶ アンビエントメーターがブルーからグリーンに変わります。
▶ カスタマイズ設定で「メーター背景色変化」を OFF に設定しているときは、ブルーのまま変化しません。
6. ECON を押す。
7. NORMAL を押す。
▶ アンビエントメーターがグリーンから消灯に変わります。
8. パワーモードを OFF モードにする。

■ECO ドライブバー

運転操作の状態に応じてバー表示が増減します。
急な加速を行うほどバーが右側に伸び、急な減速を行うほどバーが左側に伸びます。
バーが左右に伸びないように運転することで、スムーズな省燃費運転となります。



»ECO ドライブディスプレイ /ECO ドライブバー

無段変速オートマチック車

ECOドライブバーの表示は、アンビエントメーターの色と連動しています。

次ページに続く

■平均燃費履歴表示

走行時の平均燃費履歴を過去 3 回分表示します。
パワーモードを ON モードにすると更新され、最も古い履歴が消去されます。

■平均燃費表示

トリップメーターA、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。
トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

■航続可能距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離を km で表示します。

■経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。

平均燃費表示

表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。

トリップメーターA と平均燃費 A を給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。

➔ **カスタマイズ機能** P.84

航続可能距離表示

表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

経過時間表示

経過時間表示は99時間59分まで表示できます。

経過時間のリセット条件を変更することができます。

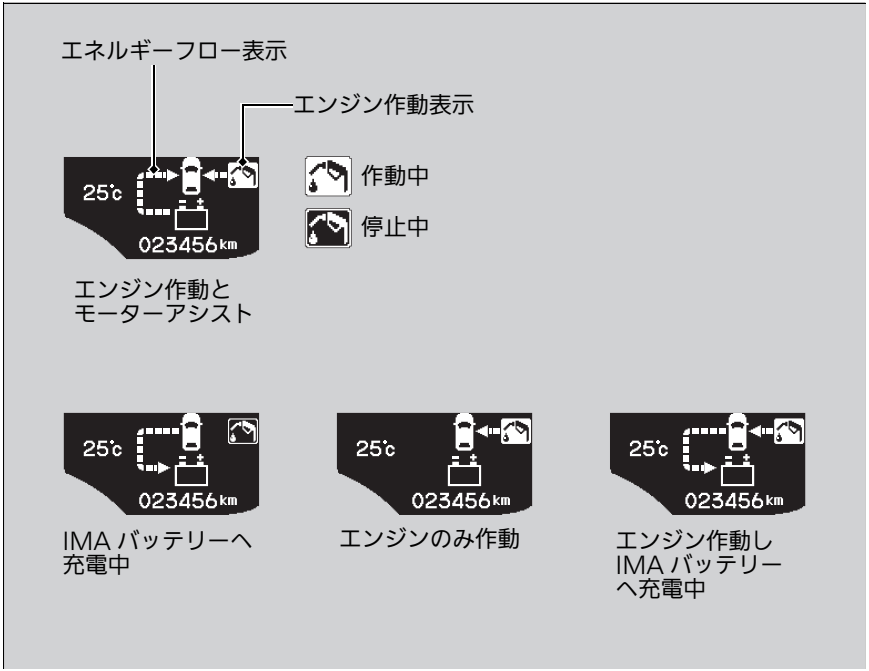
➔ **カスタマイズ機能** P.84

■平均車速表示

トリップメーターA をリセットしてからの平均車速を km/h で表示します。

■エネルギーフロー/ エンジン作動表示

IMA バッテリーへの充電やアシスト状態を表示します。



エネルギーフロー/ エンジン作動表示

モーターアシスト表示(ASST)とチャージメーター表示(CHRG)の動きとエネルギーフロー/ エンジン作動表示の動きは、状況により一致しない場合があります。

➔ **モーターアシスト表示(ASST)** P.77
➔ **チャージメーター表示(CHRG)** P.77

次ページに続く

■カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイを使って、下表の機能をお好みに合わせてカスタマイズ(設定変更)することができます。

カスタマイズ機能		選択できる設定内容
時計設定✤	時刻調整	0：00～23：59
	時計表示	12 h※、24 h、非表示
運転支援システム設定✤	シティブレーキアクティブシステム	作動※、非作動
メーター設定	外気温表示補正	−3 ℃～ ±0 ℃※～ +3 ℃
	トリップ A の給油連動リセット	ON、OFF※
	経過時間のリセット条件切り換え	IGN OFF※、トリップ A、トリップ B
	ECON モード保持	ON、OFF※
	メーター背景色変化	ON※、OFF
Honda スマートキーシステム設定	アンサーバックブザー音量	大※、小
	ドアハンドル操作アンサーバックブザー	作動※、非作動
ライティング設定	インテリアライト点灯時間	60 秒、30 秒※、15 秒
	オートライト感度	MAX、HIGH、MID※、LOW、MIN

※：工場出荷時の設定

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

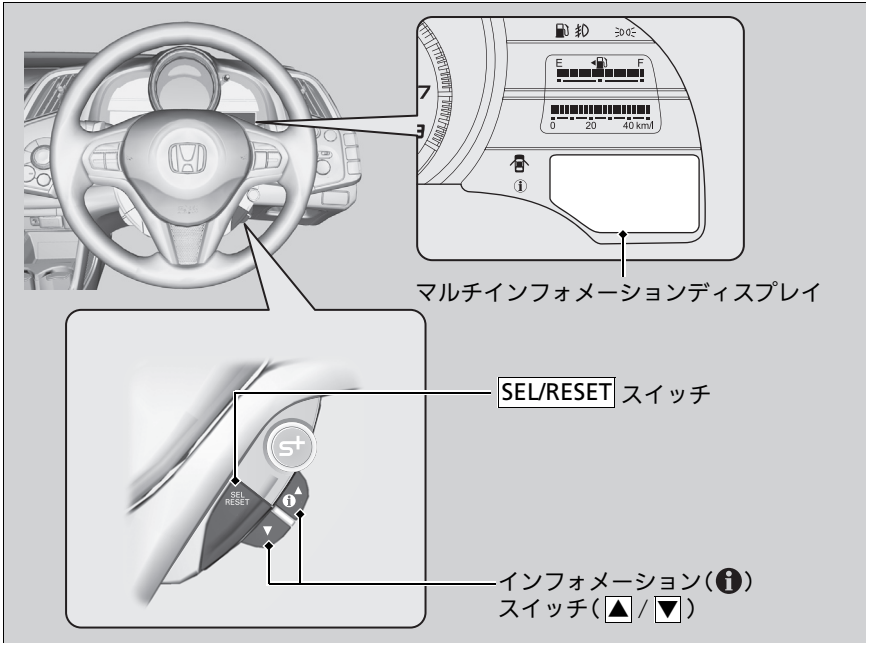
カスタマイズ機能		選択できる設定内容
ドア設定	自動ドアロック連動機能	無段変速オートマチック車 非連動、車速連動※、シフト連動 マニュアル車 非連動、車速連動※
	自動ドアアンロック連動機能	無段変速オートマチック車 非連動、シフト連動※、IGN OFF 連動 マニュアル車 非連動、IGN OFF 連動※
	キーレスアンサーバック	作動※、非作動
	キーレスリロック時間	90 秒、60 秒、30 秒※
	セキュリティー機能	作動※、非作動

※：工場出荷時の設定

次ページに続く

■カスタマイズのしかた

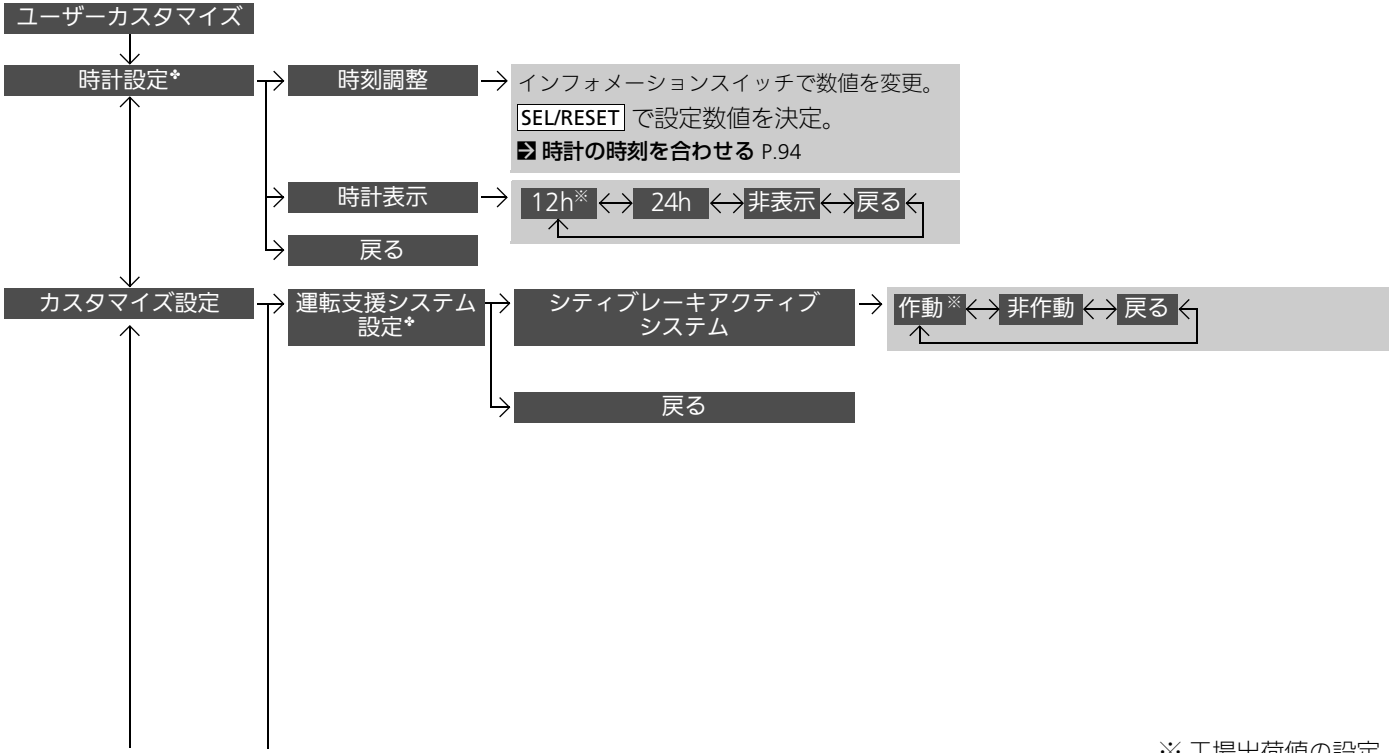
パワーモードが ON モードで、無段変速オートマチック車はセレクトレバーが P のとき、マニュアル車はパーキングブレーキがかかっているときに、インフォメーション(i)スイッチ(▲/▼)を押して「ユーザーカスタマイズ」を選択します。そして SEL/RESET を操作すると、カスタマイズを行なうことのできる「エントリー」画面に切り換わります。



▶▶カスタマイズのしかた
▶▶ カスタマイズ操作一覧 P.87
▶▶ カスタマイズ設定の例 P.91

■カスタマイズ操作一覧

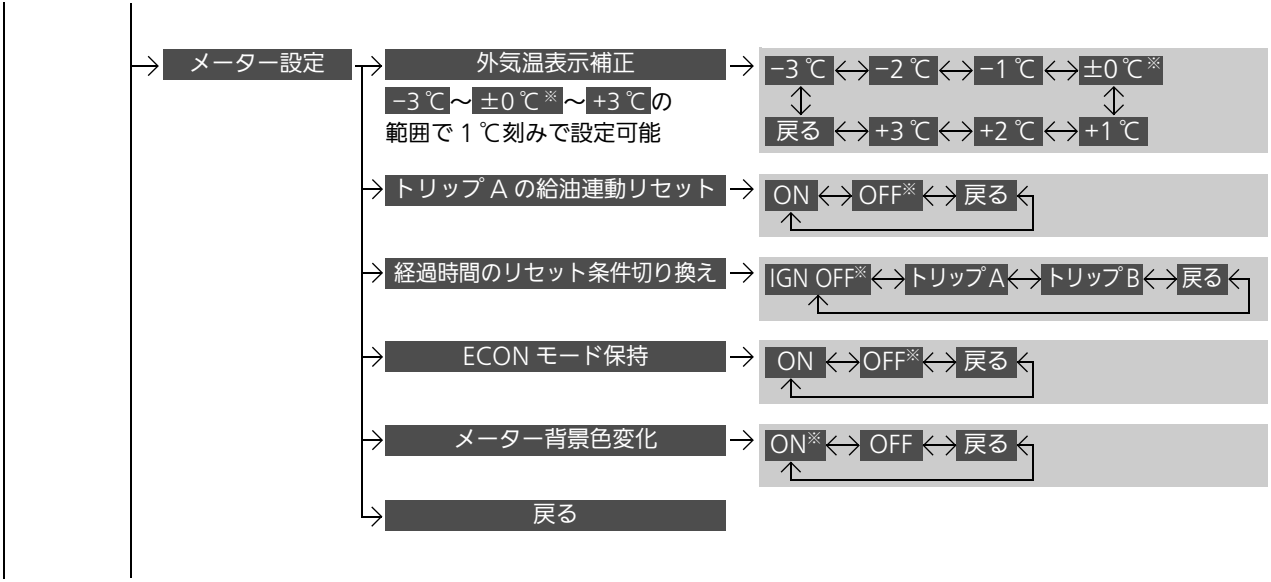
インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)でメニューまたは設定値を切り換え、SEL/RESETで決定します。



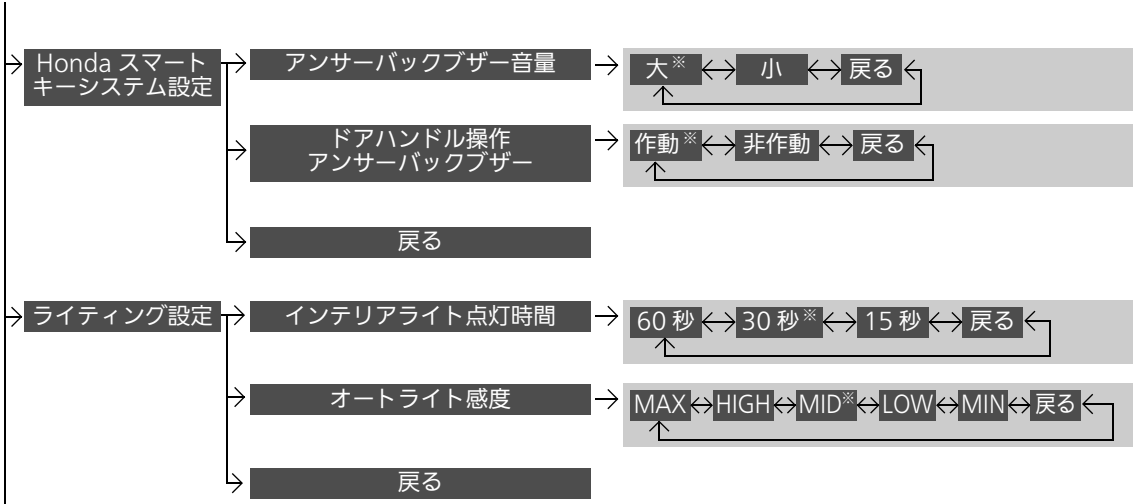
※ 工場出荷値の設定

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く


メーター設定
外気温表示補正
−3 ℃～±0 ℃※～+3 ℃の
範囲で 1 ℃刻みで設定可能
−3 ℃ ↔ −2 ℃ ↔ −1 ℃ ↔ ±0 ℃※
戻る ↔ +3 ℃ ↔ +2 ℃ ↔ +1 ℃
トリップ A の給油連動リセット
ON ↔ OFF※ ↔ 戻る
経過時間のリセット条件切り換え
IGN OFF※ ↔ トリップ A ↔ トリップ B ↔ 戻る
ECON モード保持
ON ↔ OFF※ ↔ 戻る
メーター背景色変化
ON※ ↔ OFF ↔ 戻る
戻る

※ 工場出荷値の設定



※ 工場出荷値の設定

次ページに続く


ドア設定
自動ドアロック連動機能
無段変速オートマチック車
非連動 ↔ 車速連動※ ↔ シフト連動 ↔ 戻る
マニュアル車
非連動 ↔ 車速連動※ ↔ 戻る
自動ドアアンロック連動機能
無段変速オートマチック車
非連動 ↔ シフト連動※ ↔ IGN OFF 連動 ↔ 戻る
マニュアル車
IGN OFF 連動※ ↔ 非連動 ↔ 戻る
キーレスアンサーバック
作動※ ↔ 非作動 ↔ 戻る
キーレスリロック時間
90 秒 ↔ 60 秒 ↔ 30 秒※ ↔ 戻る
セキュリティー機能
作動※ ↔ 非作動 ↔ 戻る
戻る
戻る
工場出荷設定
中止 ↔ 実行
戻る

※ 工場出荷値の設定

■カスタマイズ設定の例

例えば「トリップ A の給油連動リセット」を「ON」にする場合、下記の手順で設定します。

「トリップ A の給油連動リセット」は工場出荷時の設定では「OFF」になっています。



1. インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押し、「ユーザーカスタマイズ」が表示されたら、 SEL/RESET を操作する。

▶「エントリー」画面に切り換わり、「カスタマイズ設定」が表示されます。



2. SEL/RESET を操作する。

▶「グループ」画面に切り換わり、最初に「メーター設定」が表示されます。

3. SEL/RESET を操作する。

▶「メニュー」画面に切り換わり、最初に「外気温表示補正」が表示されます。

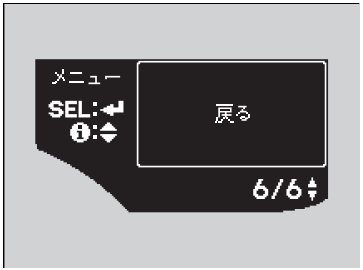
次ページに続く



4. インフォメーション(🛈)スイッチ(▲/▼)を押し、「トリップ A の給油連動リセット」が表示されたら、SEL/RESET を操作する。
▶「セットアップ」画面に切り換わり、「ON」、「OFF」、「戻る」が選択できます。



5. 「ON」が選択されていることを確認し、SEL/RESET を操作する。
▶「"ON" に設定しました」という画面が表示された後、「メニュー」画面に戻ります。



6. インフォメーション(🛈)スイッチ(▲/▼)を押し、「戻る」が表示されたら、SEL/RESET を操作する。
7. **手順 6** の操作を通常画面に戻るまで繰り返す。

»カスタマイズのしかた

「ON」、「OFF」、「戻る」の切り換えにはインフォメーション(🛈)スイッチ(▲/▼)を使用します。

カスタマイズ操作の途中で以下の操作を行うと、設定は変更されず元の設定のままとなります。

共通操作
- パワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにする

無段変速オートマチック車
- セレクトレバーを P 以外にする

マニュアル車
- パーキングブレーキを解除する

各部の操作

この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。



時刻の設定 94
ドアの施錠と解錠
キーの種類と機能 95
車外でのドアの施錠 / 解錠 99
車内での施錠 / 解錠 103
オートドアロック / オートドアアンロック 104
テールゲートの開閉 105
セキュリティシステム
イモビライザーシステム 106
セキュリティアラームシステム 106
ウィンドーの開閉 108
ハンドルまわりのスイッチ操作
ENGINE START/STOP スイッチ 110
方向指示器(ウィンカースイッチ) 113
ライトスイッチ 113
フォグライトスイッチ 114
ワイパー/ ウォッシャー 115
イルミネーションコントロール 117
リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラースイッチ 118
ハンドルの調節 118
ミラー類の調節 119
シートの調節 120
ヘッドレスト 123
室内灯 / 室内装備品 125
エアコン
エアコンの吹き出し口 135
オートエアコンの使いかた 136

時計の時刻を合わせる

メーカーオプションの Honda インターナビシステム非装備車

時計はマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。カスタマイズ機能を使って時刻の設定ができます。

1. インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲ / ▼)を押し、「ユーザーカスタマイズ」が表示されたら、 SEL/RESET を操作する。
▶「時計設定」が表示されます。

2. SEL/RESET を操作する。
▶「時刻調整」が表示されます。

3. SEL/RESET を操作する。
▶「セットアップ」画面に切り換わり「時」の調整ができます。



4. インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲ / ▼)を押し、希望の数値が表示されたら、 SEL/RESET を操作する。
▶「時」が設定され、「分」の調整ができます。

5. インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲ / ▼)を押し、希望の数値が表示されたら、 SEL/RESET を操作する。
▶「分」が設定され、通常画面に戻ります。

⩺時計の時刻を合わせる

メーカーオプションの Honda インターナビシステム非装備車

時計の時間表示を 24 時間または 12 時間に切り換えることができます。

➲ **カスタマイズ機能** P.84

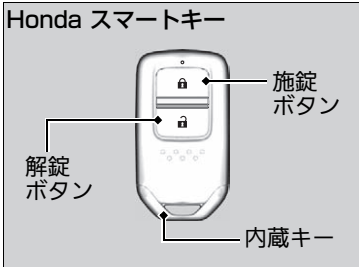
メーカーオプションの Honda インターナビシステム装備車

時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。

Honda スマートキー



エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠に使用できます。
また、キーについているボタンで、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠の操作ができます。

キーの種類と機能

すべてのキーには、イモビライザーシステムがついています。イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。

➡ **イモビライザーシステム** P.106

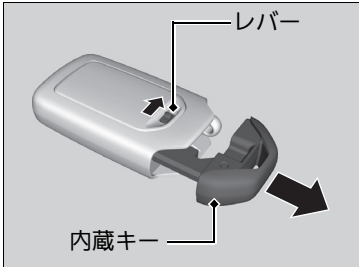
キーには、精密な電子部品が組み込まれています。
故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

キーの電子部品が故障すると、エンジンの始動やリモート発信が作動しなくなることがあります。
キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

次ページに続く

■ Honda スマートキー



Honda スマートキーの電池が切れたときや車の 12V バッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。
内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

Hondaスマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーはHondaスマートキーに収納しておいてください。

キーの種類と機能

Hondaスマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

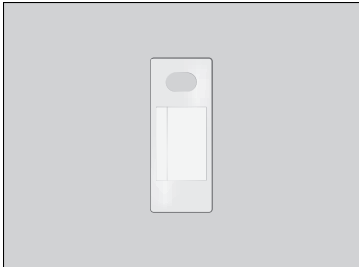
- 日本国内でのみ使用する
- 電池交換時以外は分解しない
- 改造しない
- キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

Honda スマートキー

Honda スマートキーの電池が切れたとき
P.241

■キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

キーナンバータグ

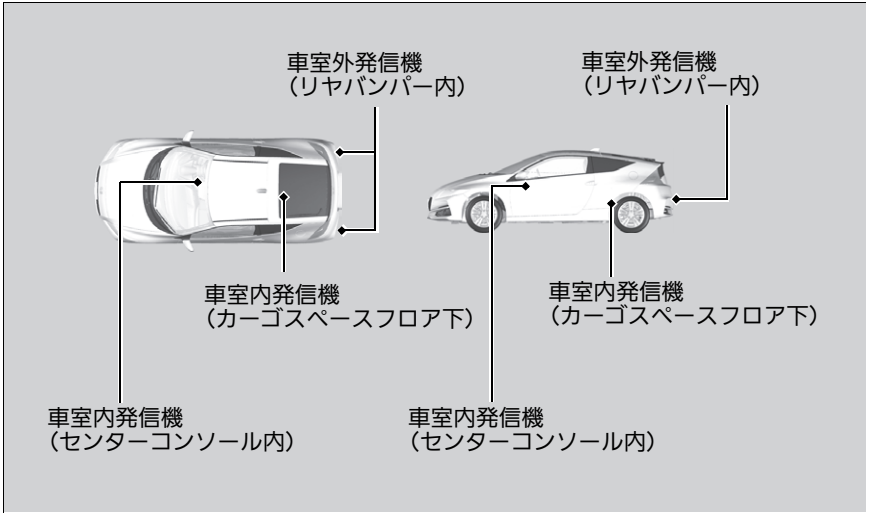
キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。

キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda 販売店に依頼してください。

Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンを始動するとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。
そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



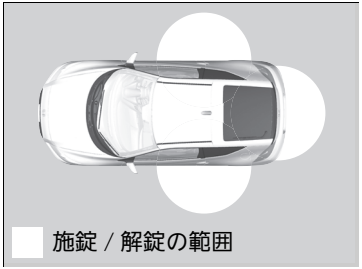
⚠注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。
Hondaスマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約２年間です。
また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

車外でのドアの施錠 / 解錠

■ Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠

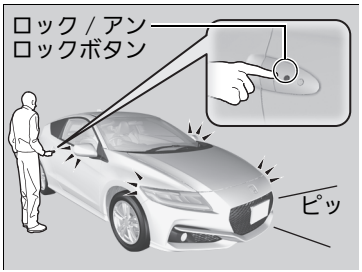


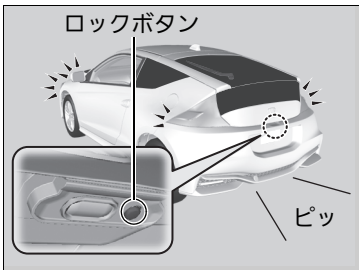
Hondaスマートキーを携帯し、ドアハンドルのロック / アンロックボタン、テールゲートのロックボタン、テールゲートオープンスイッチを操作することでドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠や解錠を操作します。
ドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠が作動するのは、ドアハンドル、テールゲートオープンスイッチから周囲約80cm 以内です。

■施錠するには

ドアハンドルのロック / アンロックボタン、テールゲートのロックボタンを押します。

▶「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。





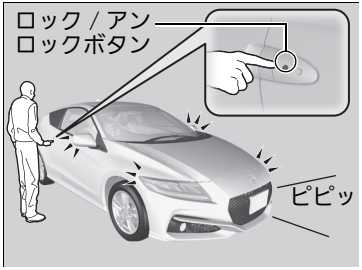
次ページに続く

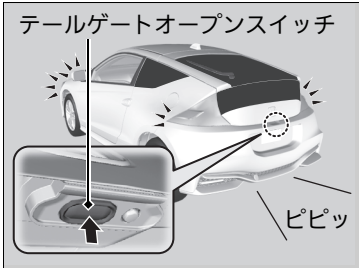
車外でのドアの施錠 / 解錠

パワーモードが OFF モード以外のときはキーレスエントリーシステムおよび Honda スマートキーシステムによる施錠 / 解錠はできません。

Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠

- Hondaスマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもドアハンドルのロック / アンロックボタン、テールゲートのロックボタン、テールゲートオープンスイッチで施錠 / 解錠操作ができます。
- ロック / アンロックボタンを押した直後にドアハンドルを引くと、ドアが開かないことがあります。ボタンをもう一度押し直して、解錠されていることを確認してからドアハンドルを引いてください。
- ドアハンドル、テールゲートオープンスイッチより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎていると作動しないことがあります。





■解錠するには

ドアハンドルのロック / アンロックボタン、テールゲートオープンスイッチを押します。

▶「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠

30 秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

Honda スマートキーで解錠操作をした場合、30 秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

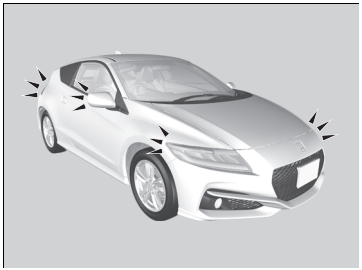
カスタマイズ機能について

施錠 / 解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、マルチインフォメーションディスプレイを使って音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。

カスタマイズのしかた P.86

■キーレスエントリーシステムでの施錠 / 解錠





■施錠

施錠ボタンを押します。

▶ 非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

■解錠

解錠ボタンを押します。

▶ 非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

キーレスエントリーシステムでの施錠 / 解錠

30 秒以内にドア、テールゲートを開けてください。
キーレスエントリーシステムで解錠操作をした場合、30 秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

解錠ボタンを押すと、室内灯が点灯します。
室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠ボタンを押すと室内灯が点灯します。約30秒点灯し、徐々に暗くなります。30秒以内にキーレスエントリーシステムで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。
➔ **室内灯** P.125

キーレスエントリーシステムは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

ドア、テールゲートが開いているときは、キーレスエントリーシステムで施錠できません。

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。
ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。
➔ **電池交換のしかた** P.217

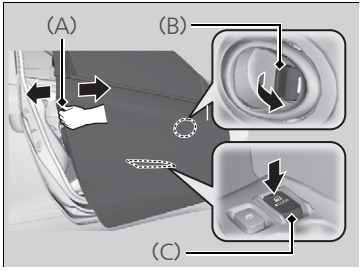
次ページに続く

■キーを差し込んでの施錠 / 解錠



内蔵キーを確実に差し込んで回します。

■キーを使わないでの施錠



■運転席のドアの施錠

外側のドアハンドル(A)を引いたまま、ノブ(B)を引き出すかマスタードアロックスイッチ(C)を施錠のほうに押し、ドアハンドルを離してドアを閉めます。

■助手席のドアの施錠

ノブを引き出し、ドアを閉めます。

■キー閉じ込み防止装置

Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

» キーを差し込んでの施錠 / 解錠

運転席ドアでのキー操作

運転席ドアにキーを差し込んで施錠 / 解錠すると、助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

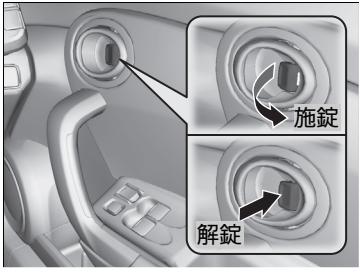
» キーを使わないでの施錠

運転席ドアで施錠すると、助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠されます。

キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

車内での施錠 / 解錠

■ノブでの施錠 / 解錠



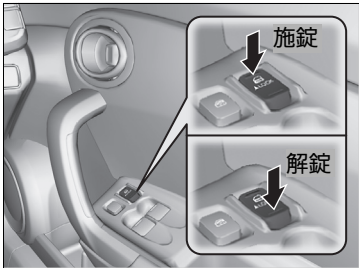
■施錠するには
ノブを引きます。

■解錠するには
ノブを押し込みます。

ノブでの施錠 / 解錠

運転席ドアのノブで施錠 / 解錠すると、助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

■マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠



マスタードアロックスイッチを施錠 / 解錠のほうに押します。

マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠

運転席ドアのマスタードアロックスイッチで施錠 / 解錠すると、助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドを解錠するシステムです。
作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃 : SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃 : サイドエアバッグ / サイドカーテンエアバッグ装備車の場合で、サイドエアバッグ / サイドカーテンエアバッグが作動したとき
- 後面からの衝撃 : 衝撃が大きいとき

いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。

» 衝撃感知ドアロック解除システム

衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

オートドアロック / オートドアアンロック

■オートドアロック

車速連動

車速が約 15km/h 以上になると、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが自動的に施錠される機能です。

» オートドアロック / オートドアアンロック

マルチインフォメーションディスプレイを使ってオートドアロック / オートドアアンロックの条件をカスタマイズすることができます。

➔ **カスタマイズ機能** P.84

無段変速オートマチック車

■オートドアアンロック

セレクトレバー連動

ブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを P に入れると、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが自動的に解錠される機能です。

マニュアル車

■オートドアアンロック

パワーモード / エンジンスイッチ連動

パワーモードを ON からアクセサリーまたは OFF モードにすると、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが自動的に解錠される機能です。

テールゲート開閉時の注意

テールゲート開閉をするときは、下記の点に注意してください。

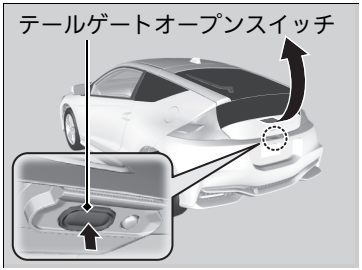
■テールゲートを開けているとき

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
  ▶途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- テールゲートを開けたまま走行しない。
  ▶車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

■テールゲートを閉めるとき

- Honda スマートキーを、カーゴスペース内に置き忘れないように注意する。

テールゲートを開ける



解錠されているときに、テールゲートオープンスイッチを押して引き上げます。

テールゲート開閉時の注意

⚠注意

テールゲートを閉めるときは、頭をぶつけたり手をはさまないよう注意する。

エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

テールゲートを開ける

施錠されているときに Honda スマートキーを携帯してテールゲートオープンスイッチを押すと、解錠されますのでそのまま引き上げることができます。

➡ **Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠** P.99

運転席ドアを施錠したあとに、テールゲートを閉めると施錠されます。

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれてあり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。 ENGINE START/STOP を押すときは、下記の点に注意してください。

- ENGINE START/STOP の近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けたり、テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

イモビライザーシステム

システムの改造や追加をしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

セキュリティアラームシステム

セキュリティアラームシステムは、Honda スマートキーまたは内蔵キーを使わずにドア、テールゲート、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。

■作動すると
ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

■停止させるには
Honda スマートキーまたは内蔵キーで解錠するか、パワーモードを ON モードにしてください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

セキュリティアラームシステム

システムの改造や追加をしないでください。
システムが故障するおそれがあります。

警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大５分間作動します。
ホーンおよび非常点滅表示灯は、1回の作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。

■セットするには
セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。
- パワーモードが OFF モードになっている
- ボンネットが閉まっている
- Honda スマートキーまたは内蔵キーで、すべてのドアとテールゲートが施錠されている

■セットされると
メーター内にある作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が長くなります。

■セットを解除するには
Honda スマートキーで解錠するか、パワーモードを ON モードにすると解除されます。同時に作動表示灯が消灯します。

セキュリティアラームシステム

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。
警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

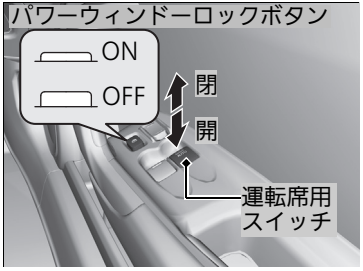
セキュリティアラームシステムをセットした後に 12V バッテリーがあがり、12V バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。
そのときは、Hondaスマートキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

パワーウィンドーの開閉

パワーモードがONモードのときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。
開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、助手席ウィンドーの開閉操作を行うことができます。

助手席ウィンドーの開閉は、運転席のパワーウィンドーロックボタンを OFF にしてから行います。
パワーウィンドーロックボタンをONにしておくと、助手席ウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、パワーウィンドーロックボタンをONにしておいてください。

■自動開閉機能付きのウィンドーの開閉



■手動開閉
開けるとき：スイッチを軽く押す
閉めるとき：スイッチを軽く引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■自動開閉
開けるとき：スイッチを強く押す
閉めるとき：スイッチを強く引き上げる
自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを反対側に軽く上げ / 下げします。

≫パワーウィンドーの開閉

⚠警告

パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

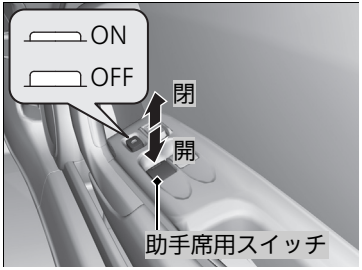
⚠注意

指などをはさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

お子さまだけを車内に残さない。必ず Honda スマートキーを携帯しドアをロックしてお子さまと一緒に車外に出てください。

パワーモードを OFF にしても、約 10 分間はキーオフオペレーションにより自動開閉機能付きのパワーウィンドーを開閉できます。
この場合、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。

■自動開閉機能なしのウィンドーの開閉



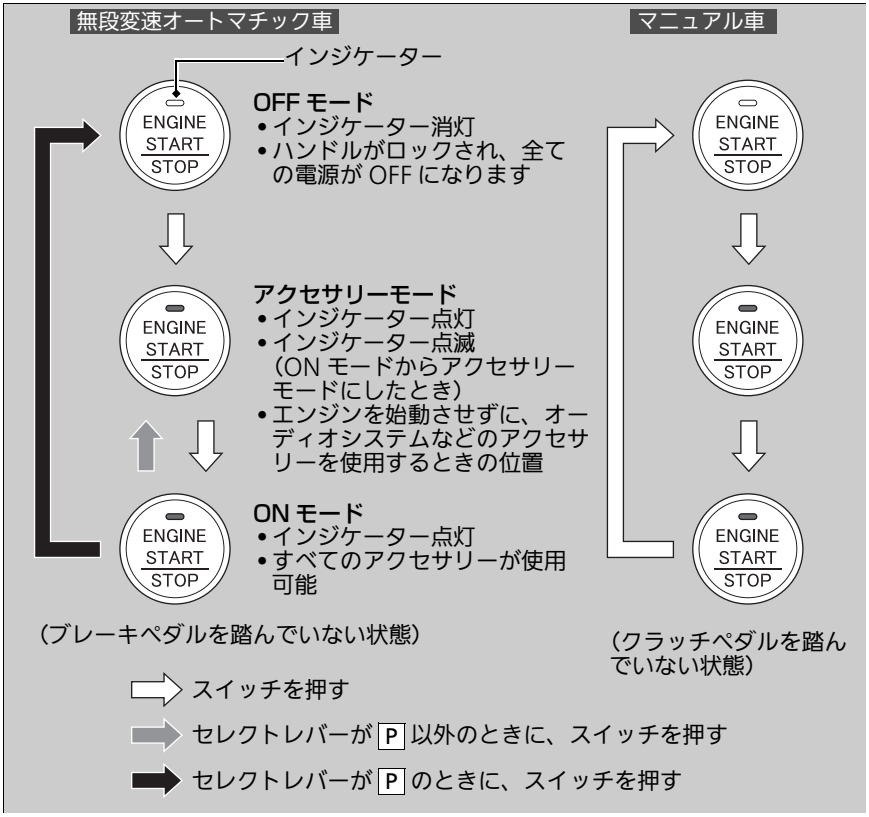
開けるとき：スイッチを押す
閉めるとき：スイッチを引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

パワーウィンドーの開閉

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

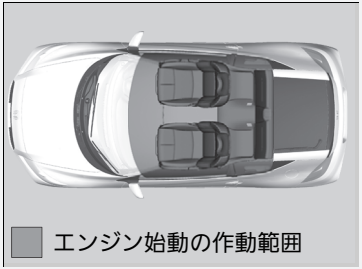
ENGINE START/STOP スイッチ

■パワーモードの切り換えかた



ENGINE START/STOP スイッチ

Honda スマートキーが車内にある場合エンジンを始動できます。エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。



Honda スマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。

ON モード：
エンジンが始動しているときは、インジケーターが消灯します。

パワーモードが OFF モードからアクセサリーモードに切り換わらないときは、ハンドルロックを解除します。
ハンドルを左右に回しながら、
ENGINE START/STOP を押してください。ハンドルロックが解除されます。

■パワーモードオートオフ機能

セレクトレバーが P (無段変速オートマチック車)でパワーモードがアクセサリーモードのときに 30 分～ 60 分経過すると、12V バッテリー保護のため自動的にパワーモードが OFF モードと同様になります。
このときはハンドルはロックされません。また Honda スマートキーによる施錠 / 解錠ができなくなります。
ENGINE START/STOP を押してパワーモードを再度 OFF モードに切り換えてください。

■パワーモード警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- パワーモードがアクセサリーモードのとき

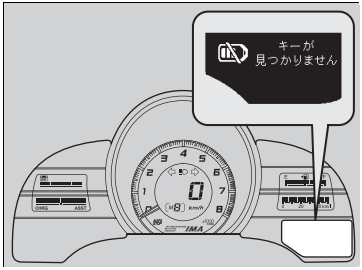
ENGINE START/STOP スイッチ

Honda スマートキーの電池が消耗したときは、ブザーとともにインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。

➡ Honda スマートキーの電池が切れたとき
P.241

次ページに続く

■ Honda スマートキー持ち去り警告



警告ブザーには、車内警告ブザー(ピーッピーッピーッピーッピーッピーッ)と車外警告ブザー(ピピピピピピ)の 2 種類があります。
警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

■パワーモードが ON モードのとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、マルチインフォメーションディスプレイに警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

■パワーモードがアクセサリーモードのとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

»Honda スマートキー持ち去り警告

エンジン始動の作動範囲内に Honda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

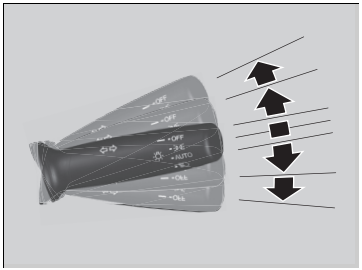
Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

Honda スマートキーを持ち出した状態で、パワーモードを OFF モードにすると、パワーモードの操作ができなくなります。
パワーモードを操作するとは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

Honda スマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態により Honda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。
故障ではありませんので、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

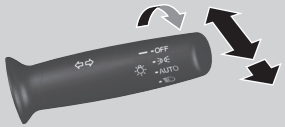
方向指示器(ウィンカースイッチ)



パワーモードが ON モードのときに使用できます。

■ワンタッチターンシグナル
レバーを軽く押し下げ / 押し上げて離すと、方向指示器と方向指示器表示灯が 3 回点滅します。

ライトスイッチ



車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

AUTO　パワーモードが ON モードのとき車外の明るさに応じて車幅灯、尾灯、番号灯、ヘッドライトが自動で点灯 / 消灯

スイッチを回すとパワーモードの位置に関係なく、点灯 / 消灯します。

■ハイビーム
「カチッ」と音がするまでレバーを前方に押します。

■ロービーム
ハイビームのときは、レバーを手前に引きます。

■追越合図(パッシング)
レバーを手前に引き、離します。

ライトスイッチ

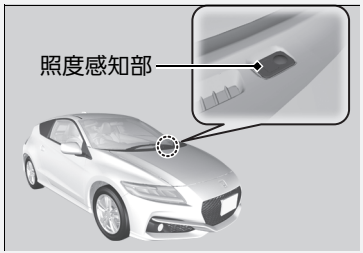
ライトを点灯したままパワーモードを OFF モードにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。
➡ **表示灯** P.63

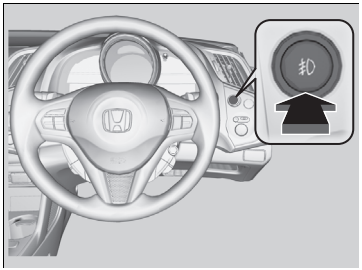
重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調整するオートレベリング機能が付いています。ヘッドライト光軸の異常を感じたときは Honda 販売店で点検を受けてください。

エンジンが停止しているときにライト類を点灯したままにしていると、12V バッテリーあがりの原因となります。

照度感知部は、図の位置にあります。感知部の上にものを置かないでください。



フォグライトスイッチ



ライトスイッチがOFF以外のとき(AUTOのときは、車幅灯が点灯しているとき)に、フォグライトスイッチを押して点灯することができます。

フォグライトスイッチ

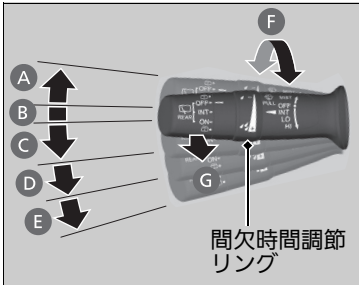
フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

➔ **表示灯** P.63

ワイパー/ ウォッシャー

パワーモードが ON モードのときに使用できます。

■フロントワイパー/ ウォッシャー



Ⓐ MIST: (レバーを操作している間作動)
Ⓑ OFF: 停止
Ⓒ INT: 間欠(雨量が少ないとき)
Ⓓ LO: 低速(普通の雨量のとき)
Ⓔ HI: 高速(雨量が多いとき)
Ⓕ 間欠時間の調節
Ⓖ ウォッシャー

■MIST

レバーを押し上げている間、作動します。
霧や小雨のときに使用します。

■ワイパースイッチ(OFF、INT、LO、HI)

雨量により適切な位置を選択して使用します。

■間欠時間の調節

リングを回して、ワイパーの間欠時間を調節します。



間欠間隔が長い

間欠間隔が短い

■ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを 1 秒以上引くとワイパーが作動します。レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

次ページに続く

ワイパー/ ウォッシャー

⚠注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。
ポンプ故障の原因となります。

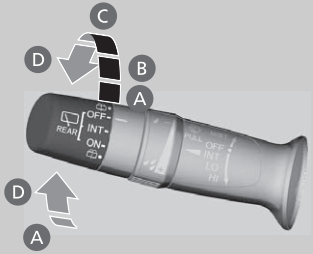
寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。
ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターでフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より数秒短くなります。また、発進時にワイパーが 1 回作動します。
間欠時間を短いほうにいっぱいに回している状態で車速が速くなると、ワイパーが間欠から低速作動に切り換わります。

アドバイス

ワイパーを乾拭きさせないでください。
ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

■リヤワイパー/ ウォッシャー



Ⓐ OFF：停止
Ⓑ INT：間欠動作
Ⓒ ON：数回作動後、低速作動
Ⓓ ：ウォッシャー

■リヤワイパースイッチ(OFF、INT、ON)

ワイパーは数回作動後、間欠あるいは低速作動します。

■ウォッシャースイッチ

スイッチを まで回すと、ウォッシャー液が噴射します。
スイッチを回している間はワイパーが作動し、スイッチを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

■リバース連動モード

フロントワイパー作動中にセレクトレバーまたはチェンジレバーを R に入れるとリヤワイパーが作動します。

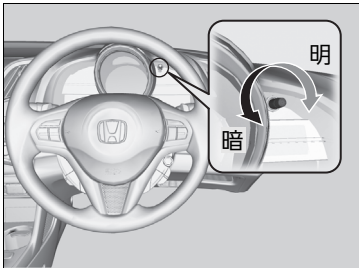
フロントワイパーのレバー位置と作動モード	リヤワイパーの作動モード
INT(間欠)	間欠作動
LO(低速) HI(高速)	連続作動

▶ワイパー/ ウォッシャー

ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。
ワイパースイッチを OFF、パワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。
数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

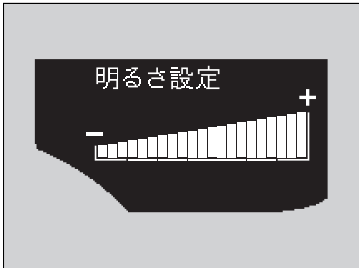
イルミネーションコントロール



パワーモードがONモードのとき、イルミネーションコントロールノブでインストルメントパネルの明るさを調節することができます。

明るくする：ノブを右に回す
暗くする：　ノブを左に回す

明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。
また、明るさの調節後、数秒経過するとマルチインフォメーションディスプレイが元の表示に戻ります。



■明るさ調節表示

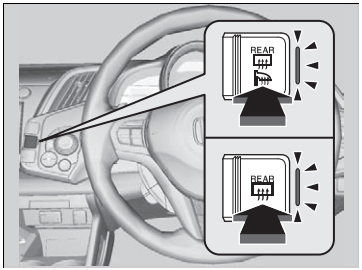
イルミネーションコントロールノブを回すとマルチインフォメーションディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。
目盛が右に増えていくほど、メーター照明が明るくなります。

イルミネーションコントロール

ライトスイッチが OFF 以外で周囲が暗いとき、まぶしさを軽減するため、インストルメントパネル照明が減光します。
インストルメントパネル照明が減光しているときとしていないときで、それぞれ明るさが調節できます。

- 減光時に目盛がすべて表示されるまでノブを右に回すと、「ピッ」という音がして減光が解除されます。
- 車幅灯が消灯しているときに目盛が全て表示されなくなるまでノブを左に回すと、明るさ表示が最小になります。このとき、走行したり、車幅灯を点灯させると明るさ最小の状態が解除され、元の明るさに戻ります。

リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラースイッチ

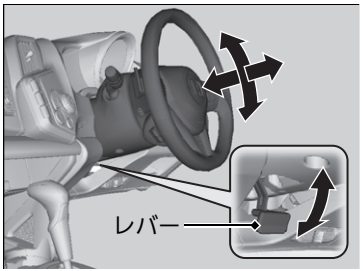


パワーモードがON モードのときにスイッチを押すと、リヤガラスとドアミラーを暖めて、曇りをとることができます。

外気温に応じて約 10 ～ 30 分経過すると、システムは自動的に停止します。ただし、外気温が 0℃以下のときは自動的に停止しません。

ハンドルの調節

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



1. ハンドル位置調節レバーを引き上げる。
▶ ハンドル位置調節レバーは、コラムカバーの下にあります。
2. ハンドルの位置を調節する。
▶ 調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
3. ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルを固定する。位置調節後、ハンドルに上下前後方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラースイッチ

リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けないよう注意してください。
必ず、デフロスターの電熱線とアンテナ線に沿って左右方向に拭いてください。

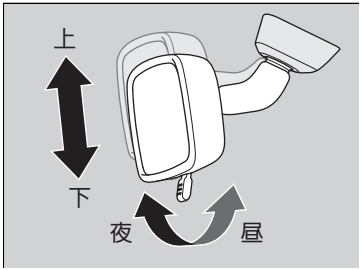
この装置は消費電力が大きいので、曇りが取れたら OFF にしてください。
また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。12Vバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

ハンドルの調節

⚠注意

走行中にハンドル位置を調節しない。
走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあり、衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

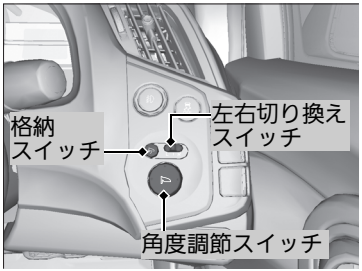
ルームミラー



ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

■手動式防眩ミラー
夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を弱くするための切り換えができます。

ドアミラー



	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		

エパワーモードがONモードのときに、ドアミラーの操作を行うことができます。

■角度調節
左右切り換えスイッチ：右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。
角度調節スイッチ：上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

■格納
格納スイッチを押すごとにONとOFFが切り換わります。

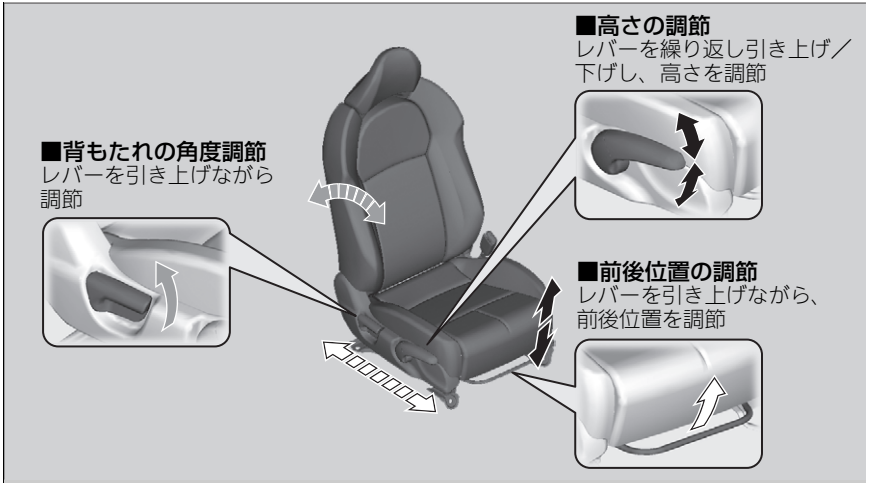
ミラー類の調節

ミラー類の調節は走行前に行ってください。

フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくブレーキペダル(マニュアル車はクラッチペダル)を十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

■フロントシートの動かしかた



▶フロントシートの動かしかた

⚠注意

走行中にシートの調節はしない。
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

フロントシートの下に物を置かない。
物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

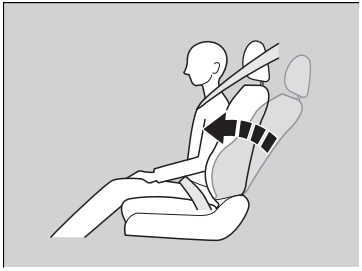
同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

■フロントシートの調節



■シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。
助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードのSRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。
シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。



■背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。
助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

フロントシートの調節

⚠警告

SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。
ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

背もたれを必要以上に倒さない。
背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

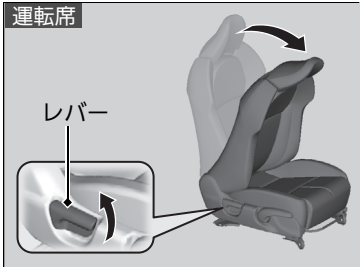
⚠注意

背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

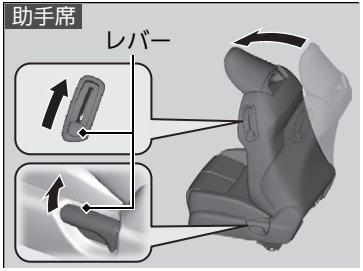
次ページに続く

■リヤシートへの乗り降り

運転席



助手席



レバーを引き上げると、背もたれが前へ倒れます。

»リヤシートへの乗り降り

乗り降りの際は、シートベルトに足を引っかけないようにしてください。

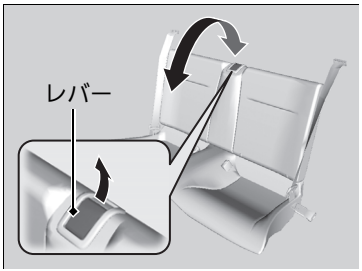
必要に応じてシートを前にスライドしてください。
➔ フロントシートの動かしかた P.120

シートを操作したら、シートを前後にゆすり、確実に固定されていることを確認してください。

リヤシート

リヤシートの乗車スペースには余裕がないため、正しくシートベルトを着用できない場合は、リヤシートには乗車しないでください。

■背もたれの倒しかた



レバーを引いて、背もたれを倒します。

シートを元に戻したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。

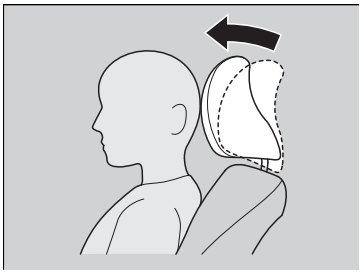
リヤシート

⚠注意

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

ヘッドレスト

■アクティブヘッドレスト



追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動し、頭部の過度な後方への傾きを防ぐことにより首への負担を軽減します。

ヘッドレスト

⚠注意

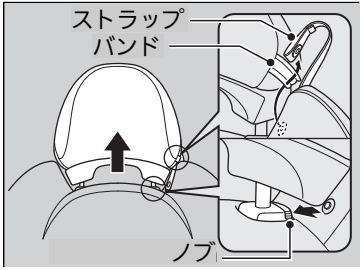
ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けない。
万一追突されたときにアクティブヘッドレストの機能が損なわれるおそれがあります。

アクティブヘッドレストは、追突されたときのみ作動します。
作動後は元の位置に戻ります。

次ページに続く

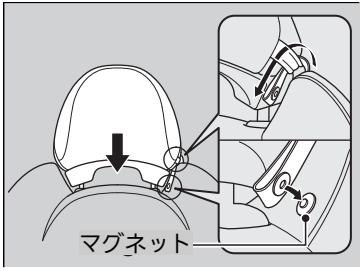
■ヘッドレストの取り外し

ヘッドレストを清掃するときに取り外すことができます。



■取り外しかた

1. ストラップを外す。
2. ヘッドレストのバンドからストラップを引き抜く。
3. ノブを押したままヘッドレストを外す。



■元に戻すとき

1. ヘッドレストを途中まで下げる。
   ▶ ヘッドレストが固定されない位置で止めてください。
2. ストラップをヘッドレストのバンドに通し、マグネット部分を重ね合わせる。
3. ヘッドレストを最後まで下げる。
   ▶ ヘッドレストが確実に固定されていることを確認してください。

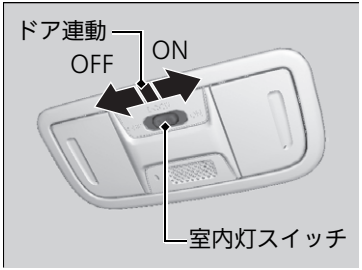
▶ヘッドレストの取り外し

⚠警告

ヘッドレストを外した状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

室内灯

■室内灯スイッチ



■ON
ドアの開閉に関係なく室内灯が点灯。

■ドア連動
以下のときに室内灯が点灯。
- いずれかのドアを開けたとき
- 運転席ドアを解錠したとき
- パワーモードを OFF モードにしたとき

■OFF
ドアの開閉に関係なく室内灯が消灯。

≫室内灯

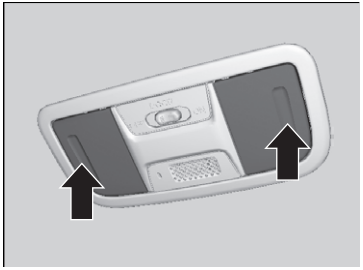
ドア連動で室内灯が点灯している場合は、ドアを閉めると約 30 秒後に消灯します。

また、以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。
- 運転席ドアを施錠したとき
- パワーモードがOFFモード以外の状態でドアを閉めたとき
- パワーモードを ON モードにしたとき

パワーモードが OFF モードのときにいずれかのドアを開けたままにすると、約 15 分後に消灯します。

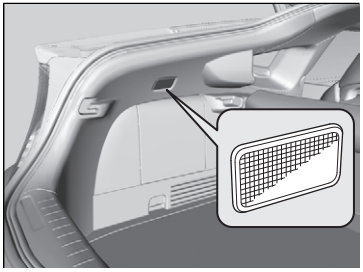
次ページに続く

■マップランプ



夜間、車を停めて地図を見るときなどに使用するライトです。
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

■カーゴスペース照明灯



テールゲートを開けると点灯します。

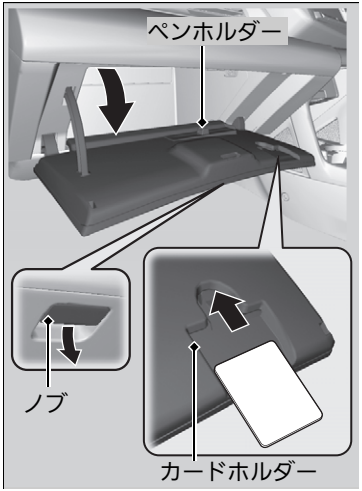
マップランプ

以下のときマップランプのレンズを押しても消灯できません。

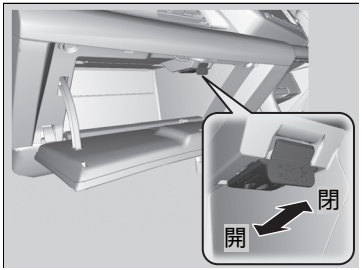
- 室内灯スイッチがドア連動のときで、ドアが開いているとき

室内装備品

■グローブボックス



ノブを引くと開きます。
内側にカードホルダーとペンホルダーが付いています。



エアコン連動温調機能：グローブボックス内にエアコンの風を導入し、缶などの飲み物を入れて保冷や保温ができます。

1. グローブボックス内の吹き出し口を押す。
2. エアコンを作動させ、モード切り換えスイッチで または を選ぶ。
▶ 吹き出し口から風が出てきます。
3. 温度を調節する。

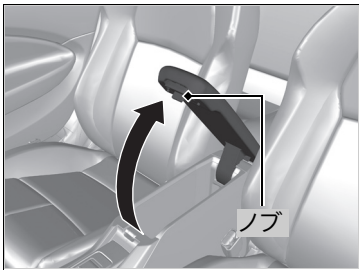
グローブボックス

⚠警告

走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

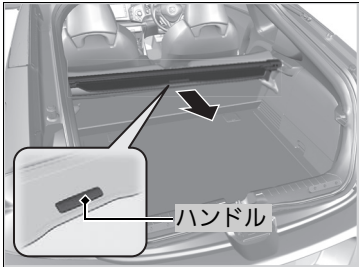
次ページに続く

■センターコンソールボックス



ノブを引くと開きます。

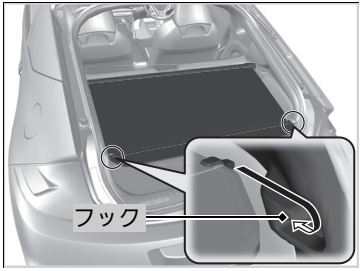
■トノカバー



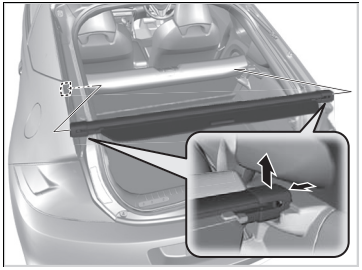
トノカバーを引き出すと、カーゴスペースを覆うことができます。

■トノカバーを引き出す

カバーのハンドルを持ち、両端をフックにかけます。



収納するときはフックから外し、静かに元に戻します。



■取り外す

トノカバーケースの両端を内側に押し、持ち上げて取り外します。

次ページに続く

トノカバー

⚠注意

走行中は荷物の出し入れをしない。
急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

カーゴスペースに荷物を置くときは、リヤシートの背もたれの高さを越えないようにしてください。
後方視界を妨げるばかりでなく、急停止のときなどに飛び出すおそれがあります。

トノカバーの損傷を防ぐため、以下のことをお守りください。
- トノカバーの上にものを置かない
- トノカバー本体に強い力をかけない



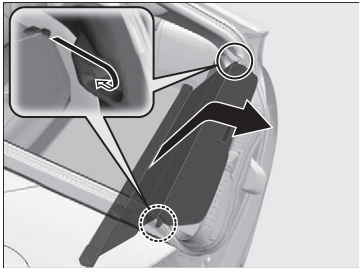
■トノカバーケースを収納する

より広いスペースを利用するため、ケースユニットをカーゴスペースのフロア上に収納することができます。

ユニットの両端を片方ずつサイドパネルの穴に挿入します。

ユニットの収納後は上下にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

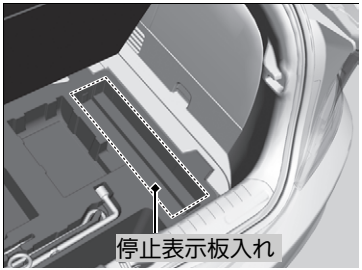
ケースユニットを再び所定の位置に取り付ける場合は、これと逆の手順で行ってください。



■カーゴスペースを 2 つに仕切る

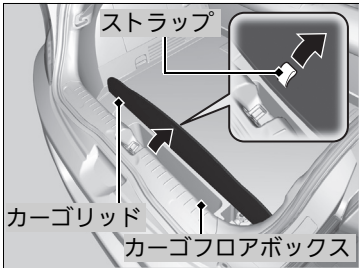
1. カーゴスペースのフロア上にケースを収納した状態で、トノカバーをケースから引き出します。
2. 取り付け用バーをテールゲート開口部の両側のフックにかけます。

■停止表示板入れ



カーゴリッドの下に停止表示板入れがあります。

■カーゴフロアボックス



ストラップを引きながらカーゴリッドを開けます。

カーゴリッドの下にボックスがあります。

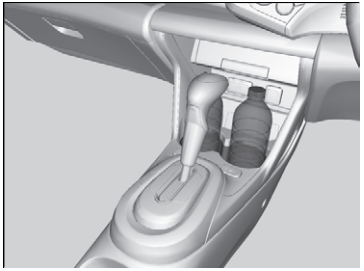
»停止表示板入れ

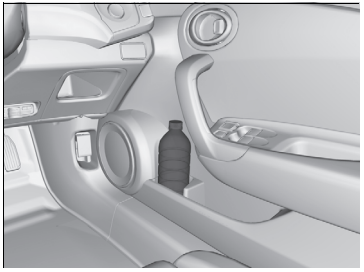
収納可能な停止表示板のサイズは以下の通りです。

- 長さ …418mm 以下
- 高さ …48mm 以下
- 幅 ……108mm 以下

次ページに続く

■ドリンクホルダー





■フロントシート用ドリンクホルダー

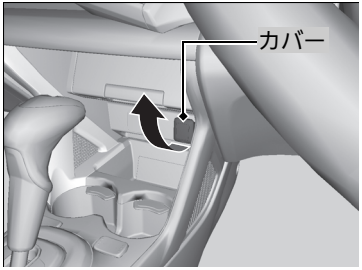
ドリンクホルダー

⚠注意

飲み物などを電装品にこぼさないように注意する。

スイッチなどの電装品に飲み物がかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

■アクセサリーソケット



パワーモードがアクセサリーモードまたはON モードのときに使用できます。

カバーを開けて使います。

アクセサリーソケット

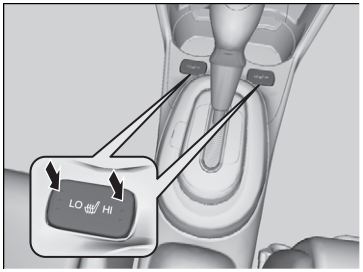
消費電力 180W(15A)以下のアクセサリーに、直流 12V の電源を供給します。

シガレットライターは差し込まないでください。
発熱するおそれがあります。

12Vバッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。

次ページに続く

■シートヒーター✤



パワーモードがONモードのとき使用できます。運転席、助手席のシートを暖めることができます。

スイッチを HI 側か LO 側に押します。

シートを早く暖めたいときは HI 側を押します。暖まったら LO 側にしてください。

作動中、押している側の表示灯が点灯します。スイッチを切るときは、反対側を軽く押し、表示灯を消します。

≫シートヒーター✤

⚠注意

低温やけどに注意する。

次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。

- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 疲労の激しいかた

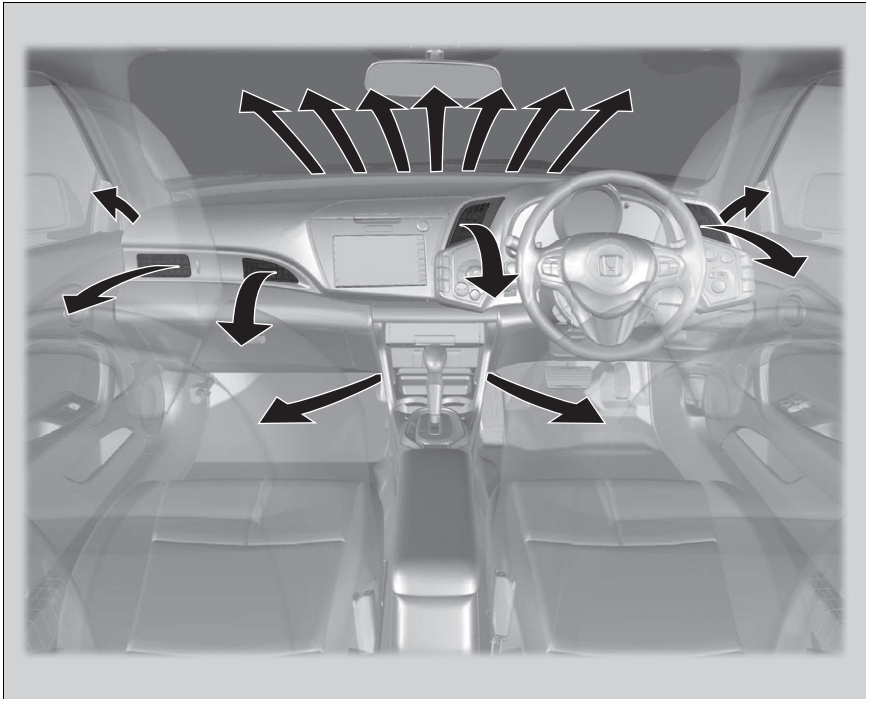
また、毛布など保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。

この装置は消費電力が大きいので、エンジンが停止しているときは長時間使わないでください。

12Vバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

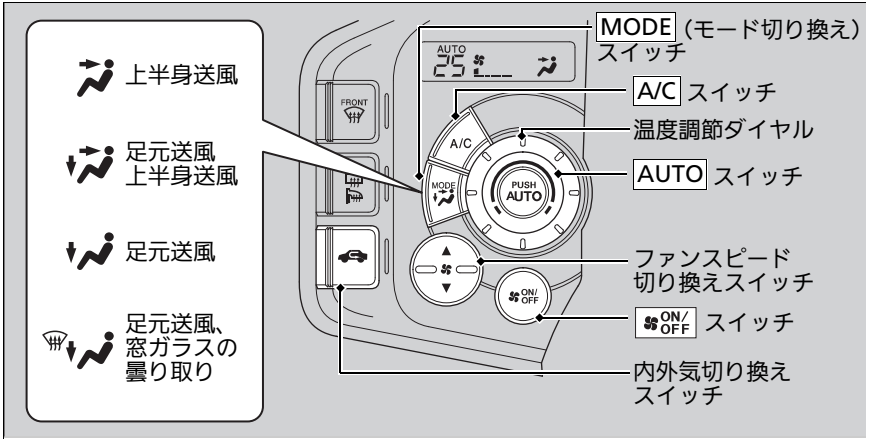
エアコンの吹き出し口



エアコン

音声操作の詳細は、別冊のメーカーオプションの「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

オートエアコンの使いかた



エンジンを始動してから使用します。

1. AUTO を押す。

2. 温度調節ダイヤルで温度を調節する。

3. 停止するときは、ON/OFF を押す。

■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて を押して、内気 / 外気を切り換えます。

- 内気（表示灯点灯）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気（表示灯消灯）：換気を行う場合

■除湿暖房

暖房中に A/C を押すと、除湿暖房となります。

▶オートエアコンの使いかた

オート（AUTO）で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。
このとき AUTO の表示は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

アイドリングストップ中は送風に切り換わります。
このとき、ECON モードでは送風を停止する場合があります。

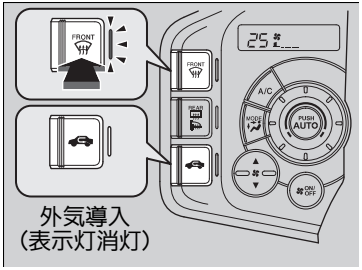
外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、 AUTO を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

設定温度表示で「Lo」は最大冷房を、「Hi」は最大暖房を示します。

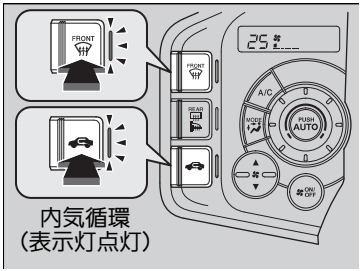
ON/OFF を押すたびに ON や OFF に切り換わります。ON すると OFF する前の状態に戻ります。

■前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた



FRONT を押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。

FRONT をもう一度押すと曇り止めが停止し、前の状態に戻ります。



■急速に霜を取りたいとき

1. FRONT を押す。
2. を押す。

▨前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

設定温度を最大冷房付近にしないでください。
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

無段変速オートマチック車

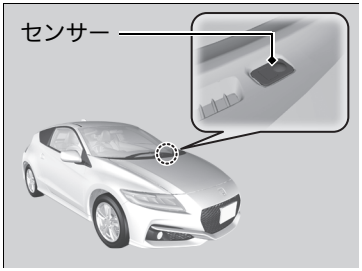
アイドリングストップ中に FRONT を押すと、エンジンが自動的に再始動します。

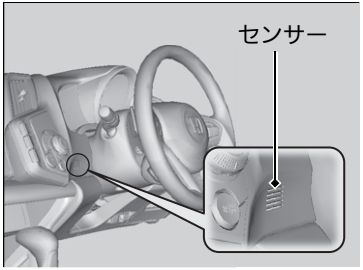
マニュアル車

アイドリングストップ中に曇り止めを使うときは、以下の手順により、エンジンを自動的に再始動させてください。

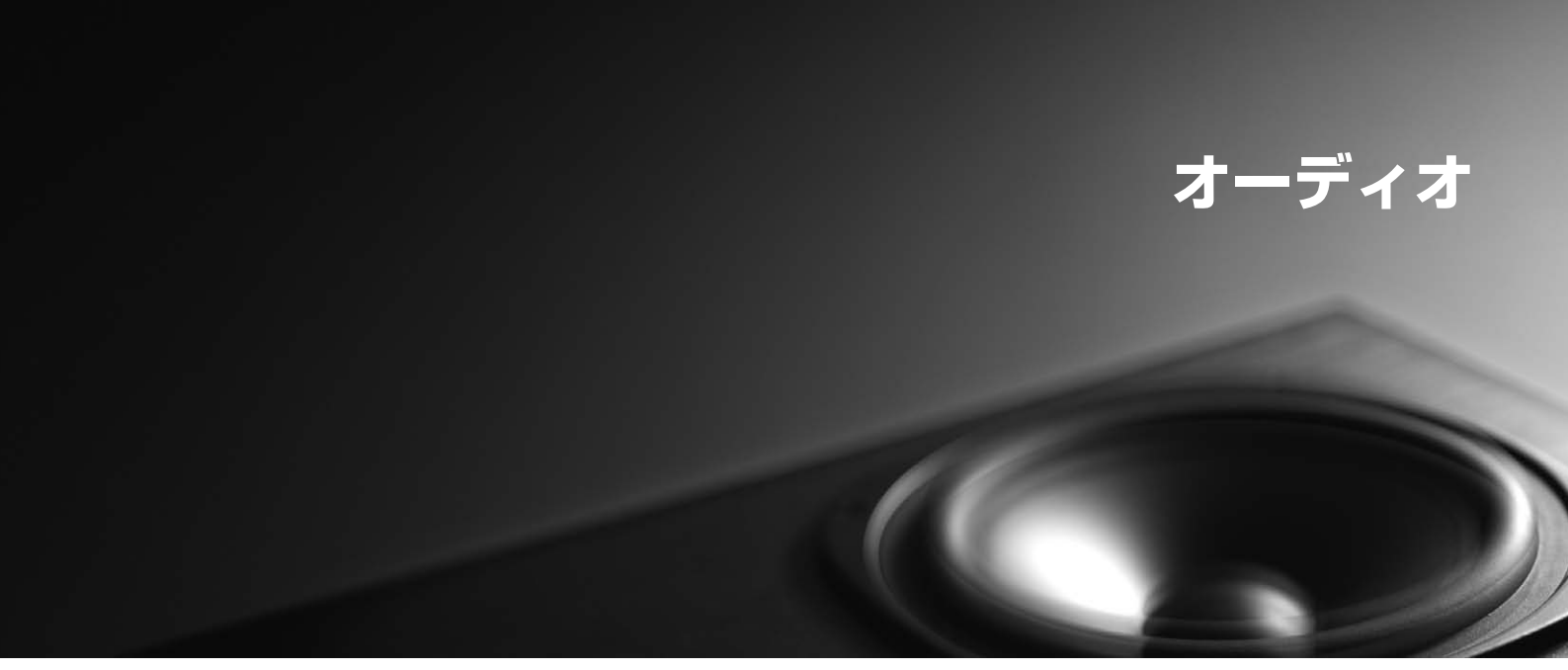
1. チェンジレバーを N (ニュートラル)にしていることを確認する。
2. クラッチペダルをいっぱいに踏み込む。
3. FRONT を押す。

オートエアコンのセンサー





オートエアコンには、センサーが付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。



オーディオ

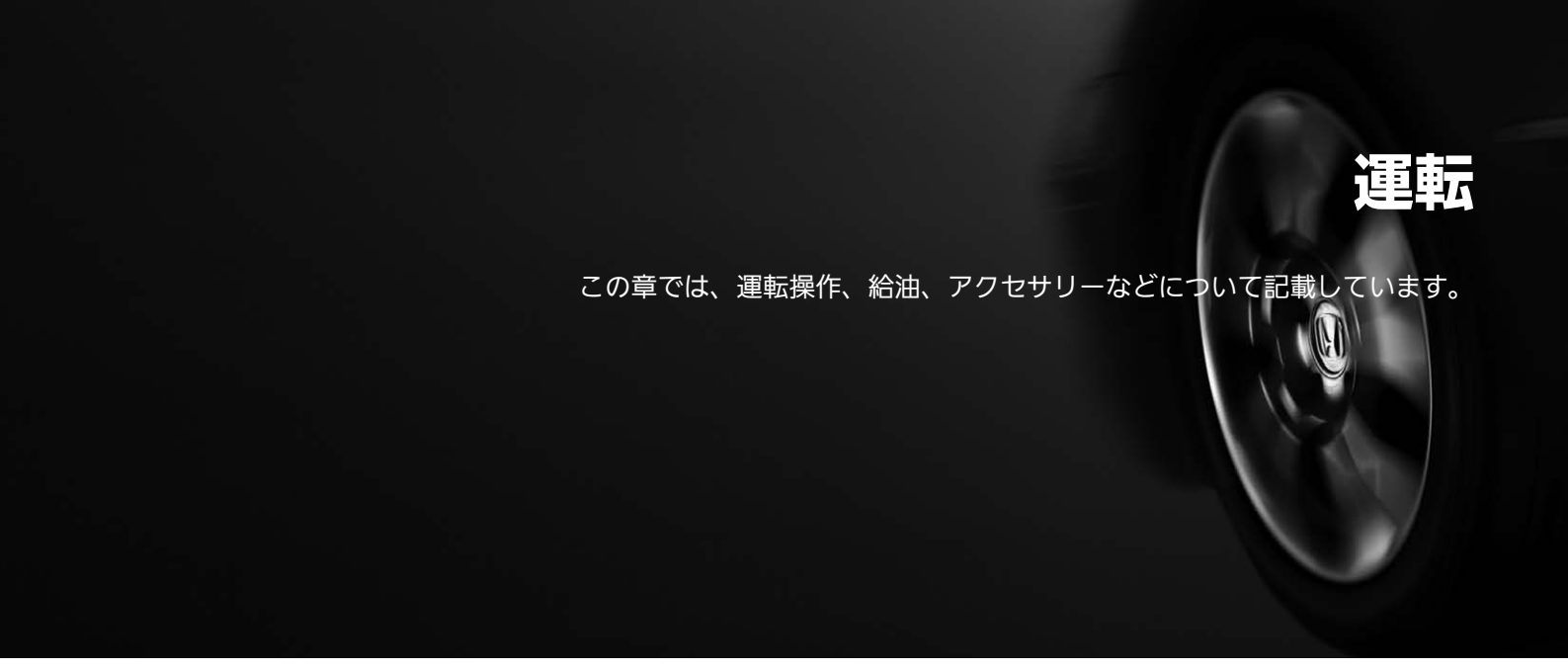
オーディオ装置✤ 140

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

オーディオ装置✤

メーカーオプションの Honda インターナビシステム装備車のオーディオ・テレビ・DVD の取り扱いについては、別冊のメーカーオプションの「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。



運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。

運転の前に 142
運転操作
- エンジンの始動 144
- 走行時の注意点 147
- 無段変速オートマチックについて 150
- シフト操作 151
- アイドリングストップシステム(無段変速オートマチック車) 160
- アイドリングストップシステム(マニュアル車) 163
- 3 モードドライブシステム 166
- プラススポーツシステム 167
- クルーズコントロール 169
- VSA(ビークルスタビリティアシスト) 172

ブレーキ操作
- ブレーキシステム 174
- ABS(アンチロックブレーキシステム) 178
- 電子制御ブレーキアシスト 179
- エマージェンシーストップシグナル 180
- シティブレーキアクティブシステム✤ 181

駐停車操作 188
リヤワイドカメラシステム✤ 190

給油
- 指定燃料について 191
- 給油のしかた 191

アクセサリーと改造 194

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

■車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
  ▶霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
  ▶屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
  氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
  ▶足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
  ▶走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
  ▶空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
  ➡ **タイヤの点検と整備** P.211
- 車の周囲に子供はいないか？
  車の周りに障害物はないか？
  ▶運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

■車内での確認項目

- フロアマットがペダルに引っかかっていないか？
- フロアマットが固定されているか？
- フロアマットを重ねていないか？
  ▶ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。

≫車外での確認項目

アドバイス

ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。
無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。
凍結すると、キーが差し込めなくなります。

エンジンルーム内に可燃物の置き忘れや、燃えやすいものがないか確認してください。
車両を長期間使用しなかった場合や、メンテナンスの後は、特に注意してください。火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

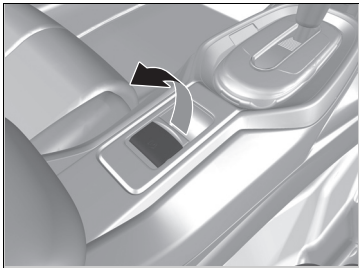
≫車内での確認項目

運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車に合ったフロアマットをお使いください。

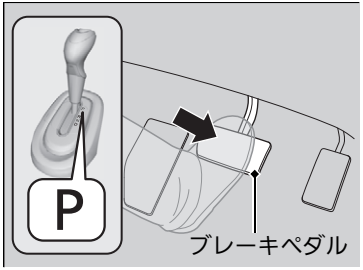
- フロントシートの足元にものを置いていないか？
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
  ▶ 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 荷物はシートの高さを越えていないか？
  ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
  ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか？
  ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
  ➔ **シートの調節** P.120
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
  ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
  ➔ **ミラー類の調節** P.119
  ➔ **ハンドルの調節** P.118
- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
  ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
  ➔ **シートベルトの着用** P.30
- ドア、テールゲートが確実に閉まっているか？
  ▶ 走行前にすべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認します。
  ➔ **車内での施錠 / 解錠** P.103
- エンジンが始動したとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
  ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
  ➔ **警告灯** P.56

エンジンの始動



共通操作

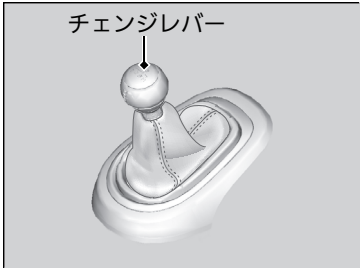
1. パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げる。



無段変速オートマチック車

2. セレクトレバーが P であることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。

▶ N でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される P で行ってください。



マニュアル車

2. チェンジレバーが N（ニュートラル）であることを確認し、右足でブレーキペダル、左足でクラッチペダルを踏む。

▶ 思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンが始動しません。

エンジンの始動

⚠警告

12V バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。

12V バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

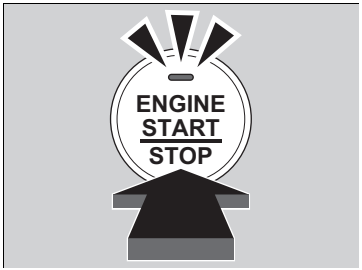
寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリーを OFF にしてから行います。

寒いときのエンジンの始動は、12V バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリーをすべて OFF にしてから行ってください。

車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。

そのため、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができません。

イモビライザーシステム P.106



共通操作

3. アクセルペダルを踏まずに、
ENGINE START/STOP を押す。

■エンジンの停止

車が完全に停止しているとき、エンジンを切ることができます。

1. セレクトレバーを P にする(無段変速オートマチック車)。

2. ENGINE START/STOP を押す。

▨エンジンの始動

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。
Honda 販売店で点検を受けてください。

エンジンが始動しない場合は、30秒以上待ってから操作してください。

ENGINE START/STOP はエンジンが始動するまで押し続ける必要はありません。

Honda スマートキーの電池が切れたときは、キーで ENGINE START/STOP に触れてください。

➡ **Honda スマートキーの電池が切れたとき**
P.241

次ページに続く

■発進時の操作

無段変速オートマチック車

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを D にする。
▶ 後退する場合は R にします。

2. パーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルを離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。
▶ ブレーキ警告灯(レッド)が消灯したことを確認してください。
▶ 運転席シートベルトを装着していないと、発進時でも電子制御パーキングブレーキは自動解除されません。
➔ **電子制御パーキングブレーキ** P.174

■ヒルスタートアシストシステム

急な坂道からの発進をするときに、ブレーキペダルから足を離した後、ブレーキ力を約1秒間保持することで車両の後退を緩和し、発進を容易にするシステムです。

≫発進時の操作

⚠注意

アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。
急発進して思わぬ事故の原因となります。

坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。
車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

≫ヒルスタートアシストシステム

緩やかな坂道ではシステムが作動しないことがあります。

走行時の注意点

■霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

■風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。
トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

走行時の注意点

走行中はエンジンを停止しないでください。
下記のような状態になり危険です。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

走行中はセレクトレバーを N にしないでください。
エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

車を移動するときは、必ずエンジンを始動してください。
下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

1,000km走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

次ページに続く

■雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。
わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンや駆動系の破損、電装品の故障につながるおそれがあります。

≫雨が降っているときは

ハイドロプレーニング現象に注意してください。
ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

■その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードや燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

⩙その他の注意点

⚠注意

シフトダウンする際の車速には、十分注意する。

滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

アドバイス

下記のような場合には、アンダースポイラーを損傷するおそれがあります。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂からの平坦路への乗り入れ
- 路肩等段差のある場所への乗り降り
- 凹凸やわだちのある道路の走行
- くぼみ(穴)のある個所の通過

アドバイス

停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけ保持するなどしてEPS（電動パワーステアリング)システムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。

システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

無段変速オートマチックについて

■クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが P N 以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

≫クリープ現象

エンジン回転が上がるとクリープ現象が強くなります。
エンジン回転が上がったときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。
ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

■キックダウン

セレクトレバーが D で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。

≫キックダウン

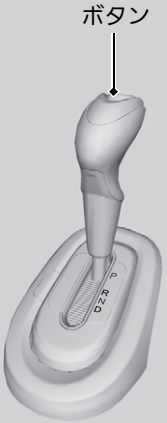
上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がり、速度が出すぎてしまうことがあります。
アクセルペダルは慎重に操作してください。
滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

シフト操作

無段変速オートマチック車

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■セレクトポジションの名称とはたらき



P パーキング
駐車またはエンジンの始動

R リバース
車を後退

N ニュートラル
アイドリング状態

D ドライブ
- 通常走行
- 一時的に 7 速マニュアルシフトモードにするとき（ECON モード・NORMAL モードのとき）
- 7 速マニュアルシフトモードにするとき（SPORT モードのとき）
- L モードにするとき

シフト操作

セレクトレバーが P 以外のときは、パワーモードが OFF モードになりません。

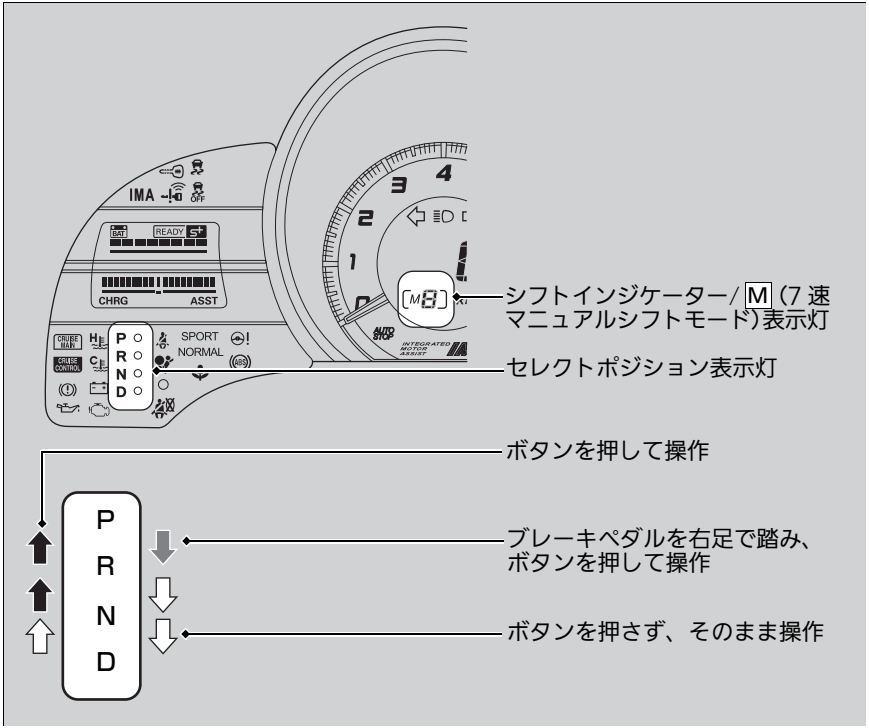
R のポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。

N のポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。
ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

次ページに続く

■セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。
パワーモードを ON モードにすると、 D が数秒点灯します。



▶▶セレクトレバーの操作

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。
車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても D の表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。
急加速を避け、Honda 販売店で点検を受けてください。

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。
先にブレーキペダルを踏んでください。

■ 7 速マニュアルシフトモードとは

ハンドルにあるシフトスイッチで、ハンドルから手を離さずに手動で1～7速まで変速することができます。走行中にシフトスイッチを引くと、7 速マニュアルシフトモードへ切り換わります。エンジンブレーキが必要なときにも、使用してください。

■ECON モードまたは NORMAL モードのとき

一時的に7速マニュアルシフトモードとなり、シフトインジケーターが点灯します。
一定速走行や加速の状態になると、7速マニュアルシフトモードは自動的に解除されます。また、いずれかの 3 モードスイッチを押すか、＋のシフトスイッチ(右側)を数秒間引き続けることでも解除することができます。
カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。

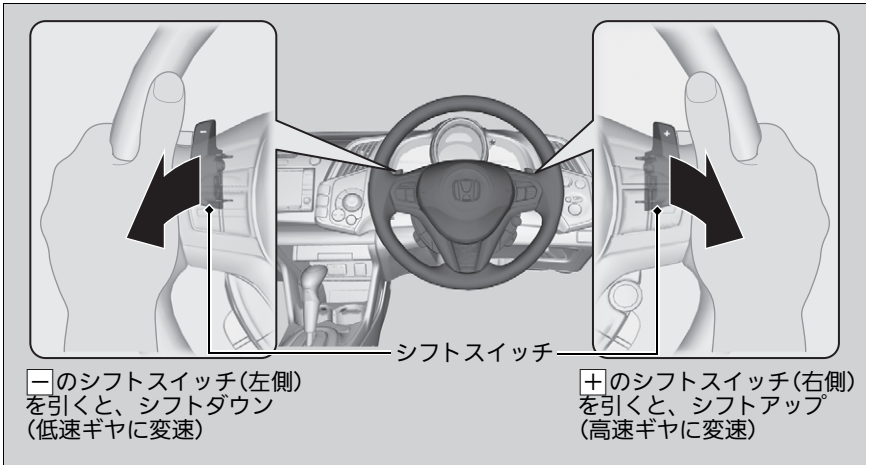
■SPORT モードのとき

7 速マニュアルシフトモードとなり、 M 表示灯とシフトインジケーターが点灯します。
シフトスイッチを操作せずに車速が下がると、順次低速ギヤに自動的にシフトダウンし、停止すると 1 速にシフトダウンします。
車速が上がりエンジン回転数が限界回転数(レッドゾーン)に近づくと、自動的に 1 段シフトアップします。
発進は 1 速でのみ行うことができます。
モードを解除する場合は、いずれかの 3 モードスイッチを押すか、＋のシフトスイッチ(右側)を数秒間引き続けてください。7 速マニュアルシフトモードが解除され、 M 表示灯とシフトインジケーターが消灯します。

次ページに続く

■ 7 速マニュアルシフトモードの操作

1 回のシフトスイッチ操作で、ギヤは 1 段変速します。



▶7 速マニュアルシフトモードの操作

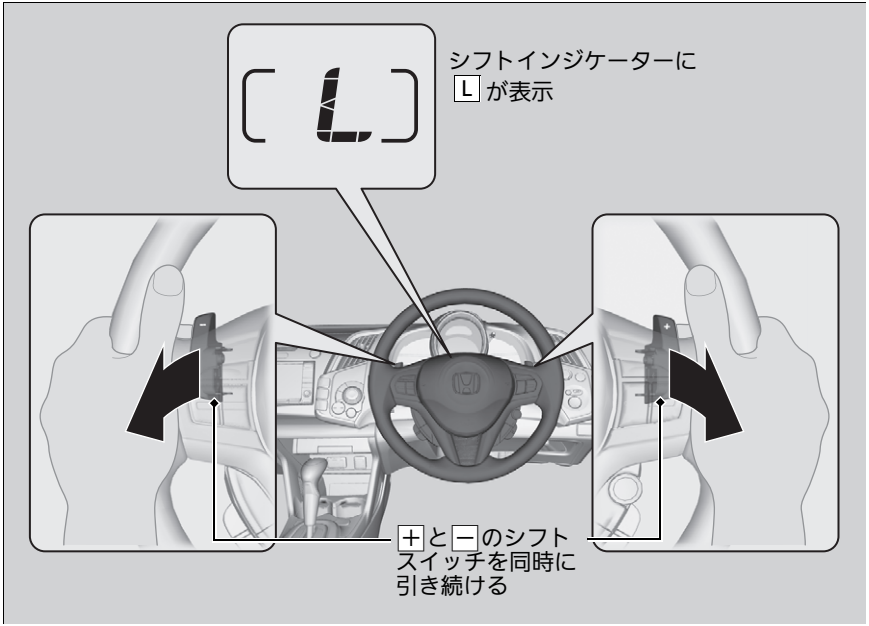
シフトスイッチを操作したとき、操作後のエンジン回転数が許容範囲外になる場合は、変速せず表示灯が点滅します。

エンジン保護する為に、自動的にシフトアップやシフトダウンすることがあります。

滑りやすい路面でシフトスイッチを操作したときに、タイヤがロックするような場合、7 速マニュアルシフトモードから通常走行に戻る場合があります。

■ L モードの操作

急な上り坂を上るときなどに使用します。
セレクトレバーが D のときに切り換えることができます。



モードを解除する場合は、再度、＋と－のシフトスイッチを同時に引き続けるか、いずれかの 3 モードスイッチを押してください。L モードが解除され、シフトインジケーターが消灯します。

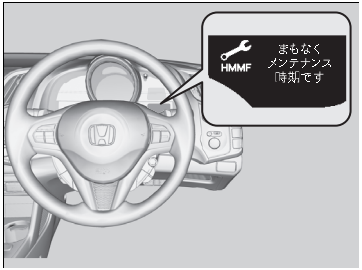
次ページに続く

L モードの操作

以下のときは、L モードを使用してください。

- 7 速マニュアルシフトモードを使用しているときよりも、強いエンジンブレーキが必要なとき
- 上り坂、下り坂を走行するとき
- IMA バッテリー残量が少ないとき

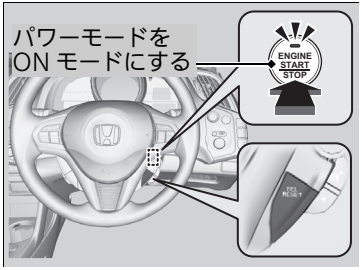
■ HMMF メンテナンス表示



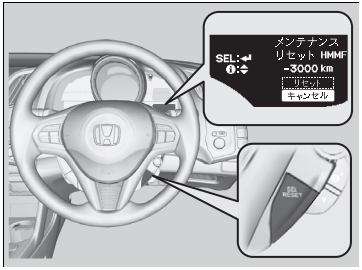
パワーモードが ON モードのときに、リセットしてからの走行距離に応じて、HMMF（Hondaマルチマチックフルード）の交換時期の目安をマルチインフォメーションディスプレイに表示してお知らせします。

リセットしてからの走行距離	ディスプレイ表示	
約 38,000km 走行時		インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲ / ▼)を押すと表示 OFF
約 39,000km 走行時		インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲ / ▼)を押すと表示 OFF
約 40,000km 以上		リセット操作をするまで再表示可能

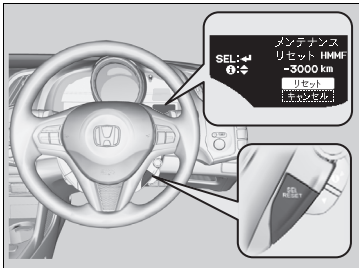
■表示のリセット



1. ライトスイッチが OFF のときに、SEL/RESET を操作したまま、パワーモードを ON モードにする。



2. そのまま SEL/RESET をマルチインフォメーションディスプレイが「メンテナンスリセット」画面に切り換わるまで操作し続ける。



3. インフォメーション( )スイッチ(▲ / ▼)を押して「リセット」を選択し、SEL/RESET を操作して決定する。

▨表示のリセット

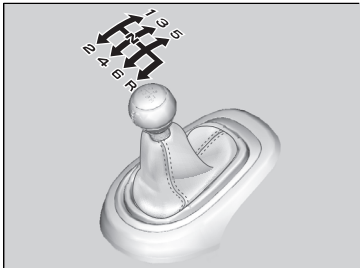
次回の交換時期の表示を正しくさせるため、HMMF交換直後にリセット操作を行ってください。

シフト操作

マニュアル車

■チェンジレバーの操作

変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。



≫チェンジレバーの操作

アドバイス

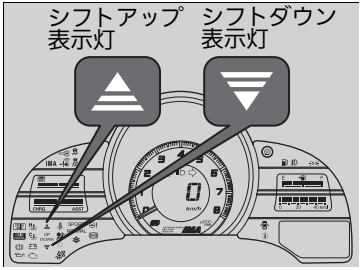
車が完全に止まらないうちは R に入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

誤操作を防ぐため、一定車速以上では、R へ直接チェンジレバーを切り換えることはできません。
停車しても R に入らないときは、一度 N (ニュートラル)へ戻し、1、2 側へ倒してから R にいれてください。

シフトダウンする際は、タコメーターレッドゾーンに入らないように適切な車速で操作してください。

エンジンの回転をあやまってタコメーターのレッドゾーン(限界回転数)以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

■シフトアップ / ダウン表示灯



省燃費走行のため、チェンジレバーのシフトチェンジに適したタイミングを点灯によりお知らせします。

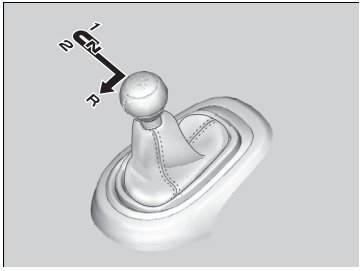
シフトアップ表示灯：シフトアップ推奨時に点灯

シフトダウン表示灯：シフトダウン推奨時に点灯

▶ SPORT モードのときは、点灯しません。

■ R に入らないとき

一度 N (ニュートラル)に戻し、 1 、 2 側へ倒してから R に入れても入らない場合は下記の操作をしてください。



1. パーキングブレーキをかけてパワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにする。

2. クラッチペダルを踏み込んで、チェンジレバーを R にする。

3. クラッチペダルを踏み込んだまま、エンジンを始動する。

シフトアップ / ダウン表示灯

シフトダウン表示灯は、下り坂などでエンジンブレーキのためのシフトダウンを促すものではありません。

シフトダウンするときは、速度範囲に従ってください。

2 から 1 へのシフトダウン表示灯の点灯はありません。

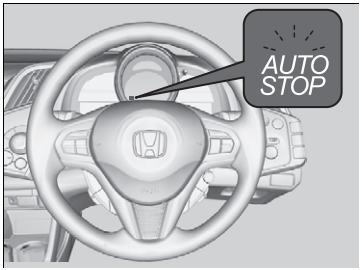
シフトアップ / ダウン表示灯の点灯に合わせて操作しないと、省燃費走行ができないため、アンビエントメーターの色が変化することがあります。

R に入らないとき

この操作を毎回しないと R に入らない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

アイドリングストップシステム(無段変速オートマチック車)

燃費向上のために、減速時と停車時にアイドリングストップしたり、エンジンが自動的に再始動するシステムです。アイドリングストップ中は、表示灯が点滅します。



表示灯が点滅しているときに運転席ドアを開けるとブザーが鳴り、アイドリングストップしていることを知らせます。

アイドリングストップシステム(無段変速オートマチック車)

ECON モードは、他のモードにしているときよりも、エアコン使用中のアイドリングストップ時間が長くなります。

3 モードドライブシステム P.166

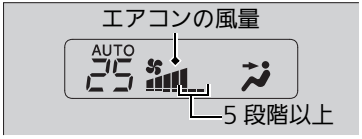
エアコンを使用中、ワイパーを作動させると、アイドリングストップ時間が短くなることがあります。

■アイドリングストップをする

停車時にブレーキペダルを踏んでいるとアイドリングストップします。

■アイドリングストップしない条件

- 低水温表示灯が点灯しているとき
- IMA バッテリーの残量が少ないとき
- 加速／減速時にチャージメーター／モーターアシスト表示が振れていないとき
- トランスミッションフルードの油温が低いとき
- エンジン始動後、15km/h に達しないまま停車したとき
- 急な坂道で停車したとき
- セレクトレバーを D 、 N 以外にしているとき
- L モードのとき



- エアコンの風量が 5 段階以上のとき（NORMAL モード、SPORT モード）
- FRONT が ON（表示灯点灯）のとき

■アイドリングストップしないことがある条件

- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きいとき（NORMAL モード、SPORT モード）
- 車内の湿度が高いとき
- 急ブレーキをかけて停止したとき

アイドリングストップをする

ブレーキペダルを踏んだまま車速が約 10km/h 以下になると、アイドリングストップします。

次ページに続く

■エンジンが自動的に再始動する

ブレーキペダルを離すとエンジンが自動的に再始動します。

■ブレーキペダルを離さずに、エンジンが自動的に再始動する条件

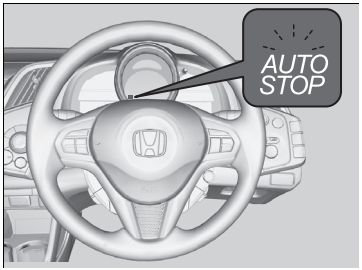
- セレクトレバーを R にしたとき
- L モードにしたとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- 坂道で停車中に、ブレーキをゆるめて車が動いたとき
- IMA バッテリーの残量が少なくなったとき
- 低水温表示灯が点灯したとき
- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きくなったとき
- エアコンを使用中で車内の湿度が高くなったとき
- ブレーキを繰り返し踏み込んだりゆるめたりしたとき
- FRONT を押したとき

■発進補助ブレーキ機能

アイドリングストップからの発進はブレーキペダルから足を離しても一時的にブレーキ力を保持し、坂道で車を下がりにくくします。

アイドリングストップシステム(マニュアル車)

燃費向上のために、減速時と停車時にアイドリングストップしたり、エンジンが自動的に再始動するシステムです。アイドリングストップ中は、表示灯が点滅します。



表示灯が点滅しているときに運転席ドアを開けるとブザーが鳴り、アイドリングストップしていることを知らせます。

アイドリングストップシステム(マニュアル車)

アイドリングストップが長時間続くと、12V バッテリーおよび IMA バッテリーの残量が低下し、エンジンが自動的に再始動しないことがあります。

車から離れるときは、エンジンを停止してください。

ECON モードは、他のモードにしているときよりも、エアコン使用中のアイドリングストップ時間が長くなります。

➔ **3 モードドライブシステム** P.166

エアコンを使用中、ワイパーを作動させると、アイドリングストップ時間が短くなることがあります。

次ページに続く

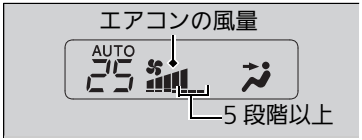
■アイドリングストップをする

停車時に、クラッチペダルをいっぱいに踏み込み、チェンジレバーを N (ニュートラル)にするとアイドリングストップします。

▶ エンジンの自動再始動のため、停車時はクラッチペダルを離してください。

■アイドリングストップしない条件

- 低水温表示灯が点灯しているとき
- IMA バッテリーの残量が少ないとき
- 加速／減速時にチャージメーター／モーターアシスト表示が振れていないとき
- エンジン始動後、約 15km/h に達しないまま停車したとき
- チェンジレバーが R のとき



- エアコンの風量が 5 段階以上のとき (NORMAL モード、SPORT モード)
- FRONT が ON(表示灯点灯)のとき

■アイドリングストップしないことがある条件

- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きいとき (NORMAL モード、SPORT モード)
- 車内の湿度が高いとき
- 急ブレーキをかけて停止したとき

»アイドリングストップをする

ブレーキペダルを踏んだまま、車速が約 30km/h 以下になったときに、クラッチペダルをいっぱいに踏み込むとアイドリングストップします。

クラッチペダルはいっぱいに踏み込まないと、アイドリングストップやエンジンが自動的に再始動しない場合があります。

正しい運転姿勢を保つことで、クラッチペダルをしっかり踏み込むことが出来ます。

➡ **フロントシート** P.120

■エンジンが自動的に再始動する

クラッチペダルをいっぱいに踏み込みながら、チェンジレバーを N（ニュートラル）以外にするとエンジンが自動的に再始動します。

■クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでいるときに、チェンジレバーが N（ニュートラル）のままでも、エンジンが自動的に再始動する条件

- 低水温表示灯が点灯したとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- IMA バッテリーの残量が少なくなったとき
- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きくなったとき
- エアコンを使用中で車内の湿度が高くなったとき

ブレーキを繰り返し踏み込んだりゆるめたりしている場合は、クラッチペダルの操作にかかわらず、エンジンが自動的に再始動します。

■アイドリングストップ中に表示灯の点滅が速くなったとき

クラッチペダルをいっぱいに踏んでください。

▶ エンジンが自動的に再始動します。

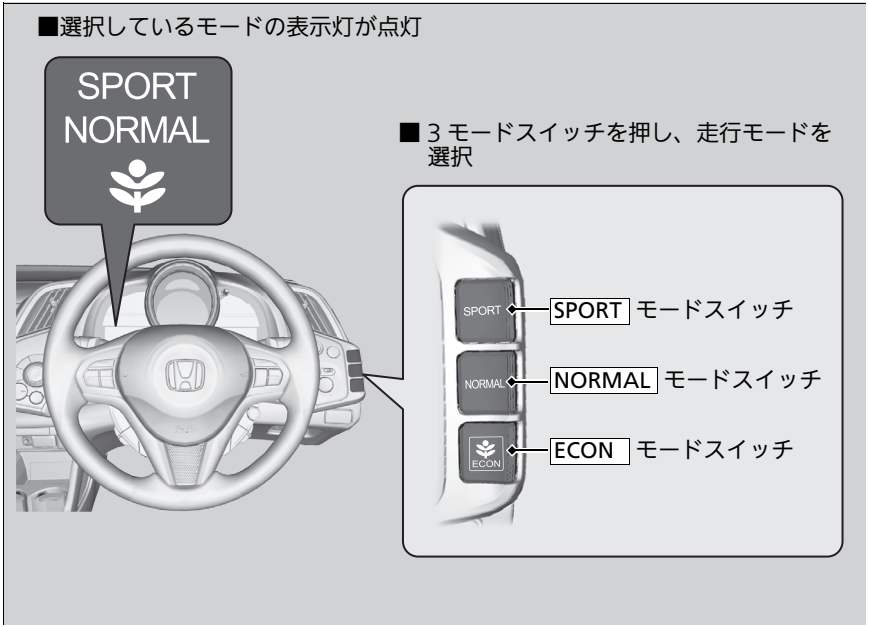
アイドリングストップ中に表示灯の点滅が速くなったとき

以下のような状態になると、表示灯が速く点滅します。

- FRONT を押したとき
- 窓ガラスが曇る可能性があるとき
- 快適性が維持できないとき（NORMAL モード、SPORT モード）

3 モードドライブシステム

パワーモードを ON モードにしたときは、常に NORMAL モードになります。
その後、自分の走行したいモードを、各スイッチを押して選択できます。
メーターとマルチインフォメーションディスプレイに、選択している走行モードが表示されます。



3 モードドライブシステム

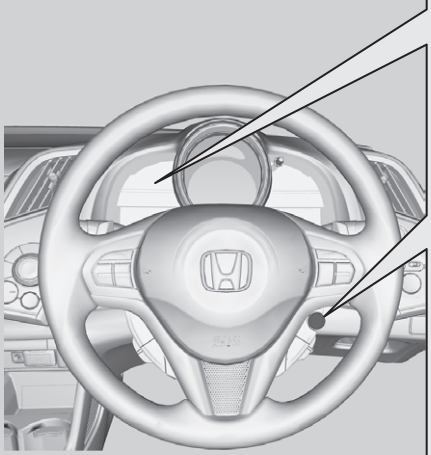
ECON モードでエンジンを停止した後、再始動するときに、ECON モードを保持するカスタマイズができます。
カスタマイズ機能 P.84

ECON モードのときはエンジン、トランスミッション、エアコン、クルーズコントロール、IMA システムの作動を制御して、省燃費運転をしやすくするように制御します。

ECON モードのときは、走行中にエアコンの効きが弱くなる場合があります。

プラススポーツシステム

アクセルペダルを踏み込んだときに、エンジン出力とモーターアシスト量を高め、加速性能を高めるシステムです。
すべての走行モード（SPORT、NORMAL、ECON）でこのシステムを使用することができます。



車速 30km/h 以上で、IMA バッテリー残量表示が 4 目盛り以上のとき：



プラススポーツシステムが使用可能です。プラススポーツシステム表示灯が点灯します。

▼

ハンドルにあるS+ボタンを押す。

プラススポーツシステムが待機状態になると、プラススポーツ表示灯が点滅します。
プラススポーツシステムが使用できます。

▼

アクセルペダルを踏む。

システムが作動します。
プラススポーツ表示灯が点滅し、プラススポーツ READY 表示灯が消灯します。

次ページに続く

■プラススポーツシステムを解除するには：

プラススポーツシステムの待機状態を解除させるには、下記のいずれかの操作を行ってください。

- プラススポーツ表示灯が点滅してから、アクセルペダルを5秒以上踏まない。
- 再度S+ボタンを押す。
- ブレーキペダルまたはクラッチペダルを踏む。
  ▶プラススポーツ表示灯の点滅が停止します。

プラススポーツシステムの作動を停止させるには、下記のいずれかの操作を行ってください。

- アクセルペダルを離す。
- S+ボタンを再度押す。
  ▶プラススポーツ表示灯が点滅から点灯に変わり、プラススポーツREADY表示灯が点灯します。

▶プラススポーツシステムを解除するには：

プラススポーツシステムは以下のとき、自動的に待機状態が解除され、作動中は作動が停止します。

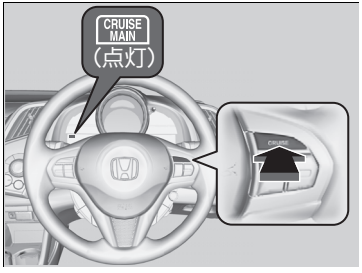
- ハンドルを大きく切ったとき。
- 雨天や積雪などにより路面が滑りやすいことで、前後左右の車輪回転の差が大きくなったとき。

NORMAL モードや ECON モードのときに、アンビエントメーターの色が赤色になります。

プラススポーツシステムは、一時的に加速性能を高めます。
ただし、道路状況などを確認し、速度に気をつけて安全に使用してください。

クルーズコントロール

高速道路のような加速 / 減速操作の少ない自動車道などで、定速運転をするときアクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つための装置です。



ハンドルの CRUISE スイッチを押すとメーターの CRUISE MAIN が点灯し、クルーズコントロールが ON になります。

- 使用できるシフトポジション：D（無段変速オートマチック車）
- 使用できる車速：約 30 ～ 100km/h の範囲の希望値

クルーズコントロール

⚠警告

下記のような道路で、クルーズコントロールを使用しない。

道路状況によっては、思わぬ事故につながります。

- **混んでいて、車間距離が十分にとれない道路**
  道路状況に合った速度で走行できません。
- **急な下り坂のある道路**
  エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。
- **凍結や積雪などで滑りやすい道路**
  タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

パワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにするとクルーズコントロールは自動的に OFF になります。

上り坂や下り坂では、条件により一定速度を保てない場合があります。

ECON モードのときは、よりスムーズな加速となります。

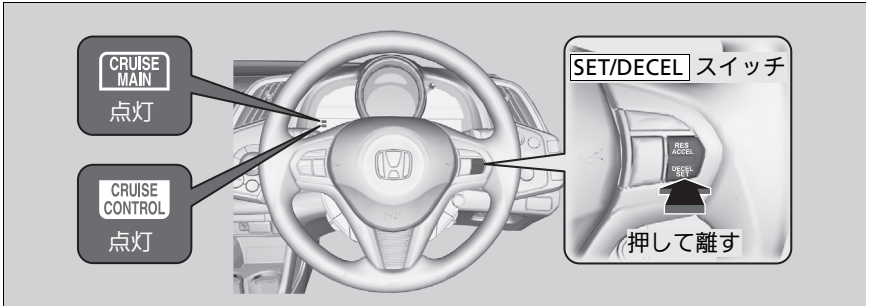
マニュアル車

エンジン回転数が下がったときは、シフトダウンをしてください。

クラッチペダルを踏んでから5秒以内にシフトチェンジをすれば、設定した車速を維持できます。

次ページに続く

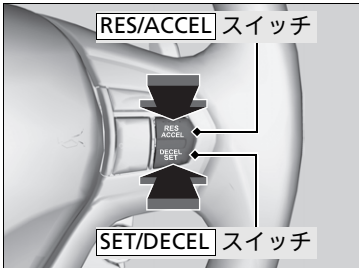
■車速をセットするには



希望の車速になったらペダルから足を離し、 SET/DECEL を押します。
SET/DECEL を離すと、離したときの車速にセットされ自動定速走行になります。
同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が点灯します。

■車速を調節するには

手元の RES/ACCEL と SET/DECEL の操作で、車速を上げ / 下げすることができます。



RES/ACCEL スイッチ
- 1 回押すごとに約 1.5km/h ずつ車速が上がる
- 押し続けると車速が上がり、手を離したときの車速に固定

SET/DECEL スイッチ
- 1 回押すごとに約 1.5km/h ずつ車速が下がる
- 押し続けると車速が下がり、手を離したときの車速に固定

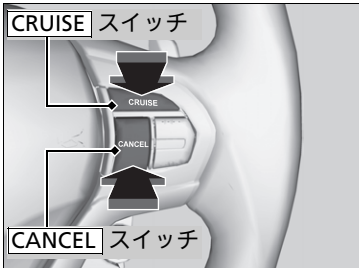
≫車速をセットするには

自動定速走行をしないとき

安全のため CRUISE を押して OFF にしてください。

パワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにすると、 CRUISE は自動的に OFF になります。

■解除するには



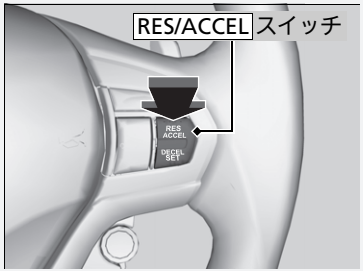
次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が消灯します。

- CANCEL を押す
- CRUISE を押す
- ブレーキペダルを踏む

≫解除するには

解除前の設定車速を復帰させる

自動定速走行を解除したあとでも、30km/h 以上の車速で走行中に RES/ACCEL を押すことで、解除前の設定車速の自動定速走行に戻すことができます。



ただし、下記の場合は復帰できません。

- 解除後、車速が 30km/h 未満になったとき
- CRUISE で OFF 操作をしたとき

以下の場合は、自動的にクルーズコントロールが解除されます。

- 車速が 25km/h 以下になったとき

マニュアル車

- 5 秒間以上クラッチペダルを踏み続けたとき
- チェンジレバーを N（ニュートラル）にしたとき

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

VSA とは、ABS 機能、TCS 機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

■ABS(アンチロックブレーキシステム)機能 P.178

■TCS(トラクションコントロールシステム)機能

滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとする機能です。

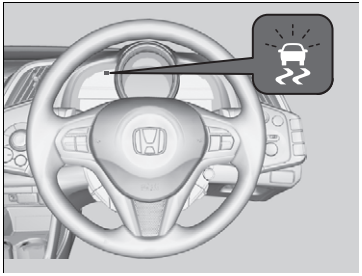
■横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

さらに、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助する電子制御ブレーキアシストも装着しています。

電子制御ブレーキアシスト P.179

■ VSA の作動と警告灯



TCS 機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA 警告灯が点滅します。

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、VSA が正常に機能しないことがあります。

タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- カーブ手前では十分に速度を落とす
- 雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤまたはタイヤチェーンを装着し控えめな速度で運転する

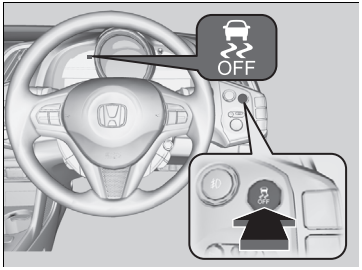
新雪やぬかるみから脱出したいときに、OFF でVSA を OFF にするとエンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が回転しやすくなるので効果的な場合があります。

この際、TCS 機能と横滑り抑制機能が OFF になるため、走行には十分に気をつけてください。

VSA警告灯が運転中に点灯するときはシステムの異常が考えられます。

通常の運転には支障はありませんが、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■ VSA の ON と OFF



VSAを停止(OFF)状態にするには、[OFF]を「ピッ」とブザーが鳴るまで押してください。
VSAが停止状態になりVSA OFF警告灯が点灯します。
再度使用(ON)するには、[OFF]を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

前回の走行時に OFF にした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的に ON になります。

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

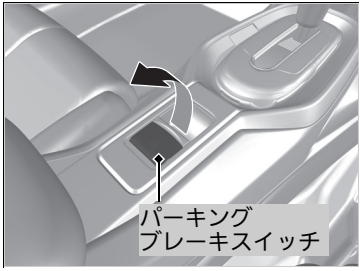
ブレーキシステム

■電子制御パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。自動での解除および手動での操作ができます。

■手動で操作するとき

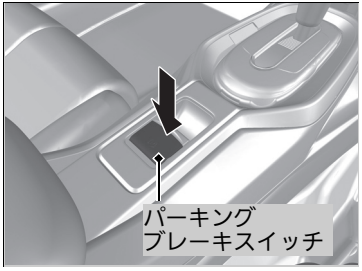
パーキングブレーキスイッチの操作で、パーキングブレーキをかけたり解除したりできます。
急な下り坂の発進時などに、手動でパーキングブレーキを解除すると、スムーズな発進を行うことができます。



■手動でパーキングブレーキをかける

パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げてください。

▶パーキングブレーキが作動すると、ブレーキ警告灯(レッド)が点灯します。



■手動でパーキングブレーキを解除する

1. パワーモードがONモードのときに、右足でブレーキペダルをしっかりと踏む。
2. パーキングブレーキスイッチを押す。

▶パーキングブレーキが解除され、ブレーキ警告灯(レッド)が消灯します。

≫電子制御パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけたり、解除したときに作動音が聞こえます。
これはブレーキシステムが作動している音で異常ではありません。

パーキングブレーキをかけたり、解除するとブレーキペダルが動くことがあります。
これはブレーキシステムの作動によるもので異常ではありません。

12V バッテリーがあがっているときは、パーキングブレーキをかけたり、解除することはできません。
➔ **ジャンプスタート** P.243

走行中にパーキングブレーキスイッチを引き続けると、その間はパーキングブレーキがかかります。

■自動解除するとき

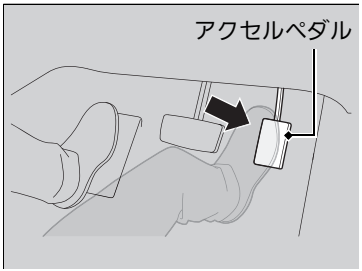
アクセルペダルの操作とパーキングブレーキの解除が連動します。
渋滞や上り坂での発進に便利です。

無段変速オートマチック車

アクセルペダルをゆっくりと踏むと、パーキングブレーキが解除されます。

マニュアル車

クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、クラッチペダルを操作しながらアクセルペダルをゆっくり踏みこむとパーキングブレーキが解除されます。



無段変速オートマチック車

アクセルペダルをゆっくりと踏んでください。

▶パーキングブレーキが解除され、ブレーキ警告灯(レッド)が消灯します。

次の条件がそろったときに、パーキングブレーキが自動解除されます。

- 運転席シートベルトを着用しているとき
- エンジンが始動しているとき
- シフトポジションが P、N以外のとき

⨠電子制御パーキングブレーキ

パーキングブレーキを自動で解除できないときは、手動で解除してください。

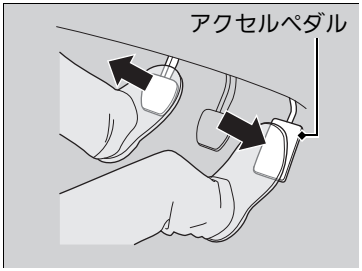
次の警告灯が点灯しているときは、自動解除できません。

- PGM-FI 警告灯
- トランスミッション警告灯

次の警告灯が点灯しているときは、自動解除できないことがあります。

- ブレーキ警告灯(レッド)
- VSA 警告灯
- ABS 警告灯
- エアバッグシステム警告灯

次ページに続く



マニュアル車

クラッチペダルを操作しながらアクセルペダルをゆっくりと踏んでください。

▶パーキングブレーキが解除され、ブレーキ警告灯(レッド)が消灯します。

次の条件がそろったときに、パーキングブレーキが自動解除されます。

- 運転席シートベルトを着用しているとき
- エンジンが始動しているとき
- チェンジレバーがNR以外のとき
- クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、クラッチペダルを操作しながらアクセルペダルをゆっくりと踏みこんだとき

■フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。緊急制動時により大きな制動力を発生させる電子制御ブレーキアシストが装備されています。

電子制御ブレーキアシスト P.179

また、ブレーキのロックを防止する ABS(アンチロックブレーキシステム)で、安全性の向上を図っています。

ABS(アンチロックブレーキシステム) P.178

フットブレーキ

水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。

Honda 販売店で点検を受けてください。

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。

そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

ABS(アンチロックブレーキシステム)

■ ABS とは

ABS(アンチロックブレーキシステム)とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

■ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、これはABSの正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

なお、低速(車速約 10km/h 以下)では ABS は作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。



ABS 警告灯

パワーモードを ON モードにすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABS が正常に機能しないことがあります。

タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

ABS 警告灯が運転中に点灯するときは、システムの異常が考えられます。

通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABS が作動していない可能性があります。
ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS は、制動距離を短くするためのものではありません。

ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。
ABS が作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABS の装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

電子制御ブレーキアシスト

■電子制御ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きな力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

■電子制御ブレーキアシストの作動

ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

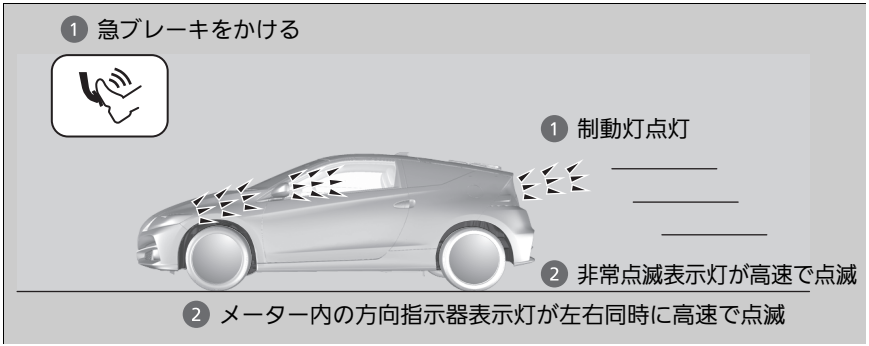
ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり、作動音が聞こえたりすることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

➔ VSA(ビークルスタビリティアシスト) P.172

エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、自車が急ブレーキをかけたことを非常点滅表示灯が自動的に高速で点滅して後続車に知らせ、追突される可能性を低減するシステムです。60km/h 以上で走行しているときに急ブレーキをかけると作動します。

■作動の仕組み



エマージェンシーストップシグナルは、以下の状態になると作動が停止します。

- ブレーキペダルを離したとき
- ABS が停止したとき
- 急減速でなくなったとき
- ハザードスイッチを ON にしたとき

≫エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、追突されるおそれを低減するシステムであり、追突を完全に防ぐものではありません。運転するときは不必要な急ブレーキを避け、安全運転を心がけてください。

ハザードスイッチがONのときは、エマージェンシーストップシグナルは作動しません。

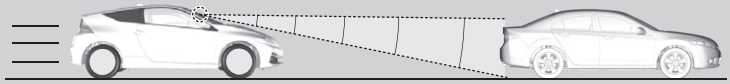
ABS が一定時間以上作動しないとき、システムが作動しない場合があります。

シティブレーキアクティブシステム*

低速走行時に、自車が、前方の車両のほぼ真後ろから追突するおそれがあるときに、運転者のブレーキ操作を支援し、衝突回避を支援したり衝突の衝撃を軽減する装置です。

■システム作動条件

自車の車速が約 5km/h ～ 30km/h のとき、レーザーセンサーが前方の車両を検知。





フロントガラス上部に、シティブレーキアクティブシステムのレーザーセンサーを装備

自車との速度差が約 5km/h ～ 30km/h の車両に対して衝突のおそれがあるときに、システムが作動します。
セレクトレバーがRのときは作動しません。

シティブレーキアクティブシステム*

⚠警告

シティブレーキアクティブシステムは、あらゆる状況で衝突を回避できるシステムではありません。

正しく運転しないと衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- **フロントガラス上部にあるレーザーセンサー付近に汚れ、氷、霜などの遮蔽物があるときは取り除く**
- ガラスを拭くときは、レーザーセンサーに衝撃を与えない
- センサーを取り外さない

マニュアル車

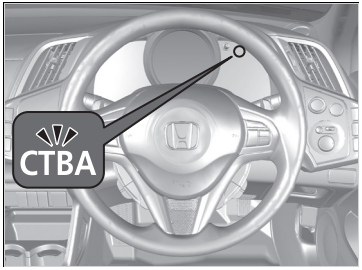
システム作動により停車したときは、エンジンが停止することがあります。
エンジンが停止したときは、通常操作でエンジンを再始動してください。

エンジンの始動 P.144

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く

■システムの作動のしかた



衝突のおそれがある状態になると、ブザー(ピピピ)がなり、 CTBA 表示灯が点滅し、ブレーキが強くかかります。

システムが作動し、停車した後に、自動ブレーキは解除されます。
安全のため、必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。
また、車が停止してから、 CTBA 表示灯が10数秒間点滅します。

なお、衝突を回避しようとして、運転者がハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダルを操作したときは、システムが解除されることがあります。

シティブレーキアクティブシステム*

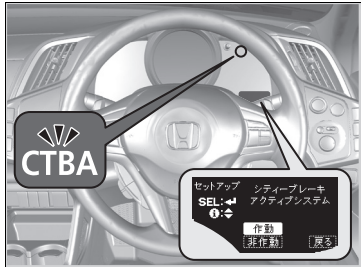
次のような場合には、車両を正しく検知できず、システムが作動しない場合があります。

- 前方の車両が斜め、横向き、対向の場合で、車両を検知しにくいとき
- 前方の車両との車間距離が極端に短いとき
- 自車と前方の車両との相対速度差が大きいとき
- 自車の前方に別の車両が割り込み、急な減速を行ったとき
- 急加速を行い、前方の車両に接近しているとき
- 自車の前方に対向車が急に飛び出したとき
- 自車が対向車の前に急に飛び出したとき
- 交差点などで、自車の前方に車が飛び出したとき
- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- カーブなどの道路状況のとき
- 前方車両が著しく汚れているなど、レーザーの反射が弱く検知しにくいとき
- キャリアカーなど特殊な形状の車、自転車、二輪車などや、物の材質、形状、大きさなどにより、レーザーセンサーが検知しにくいとき
- フロントガラス上部にあるレーザーセンサー付近に汚れ、氷、霜などの遮蔽物があるとき
- 衝突を回避しようとして運転者がブレーキやハンドルを操作したとき

アクセルペダルの踏み込み量が大きいときに、システムが作動しない場合があります。

*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

■システムの ON と OFF



マルチインフォメーションディスプレイでシステムの ON と OFF を切り換えます。

➔ **カスタマイズのしかた** P.86

シティブレーキアクティブシステムがOFFに切り替わったとき、 CTBA 表示灯が点灯します。

前回の走行時にOFFにした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的に ON になります。

シティブレーキアクティブシステム*

以下の場合、システムが自動的に停止し、表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されることがあります。

➔ **表示灯** P.63

- フロントガラス上部にあるレーザーセンサー付近の温度が高くなったとき
- フロントガラス上部にあるレーザーセンサー付近に汚れ、氷、霜などの遮蔽物があるとき
- ボンネットに雪などが積もっているとき

安全な場所に車を止めて、以下の対処を行ってください。

- レーザーセンサー付近の温度が高くなっているときは、エアコンを使用して車内の温度を下げる
- レーザーセンサー付近の汚れなどの遮蔽物やボンネット上の雪などがあるときは、取り除く

システムが作動できる状態になると、システムは自動復帰します。

以下の場合、システムをOFFにしてください。

- シャーシダイナモやフリーローラーを使用する場合
- 草の生い茂っているオフロードなどの悪路や、木の葉がかかるような山道などを走行する場合

次ページに続く

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

■衝突の可能性のない場合の作動について

衝突の可能性がなくても、以下のとき、システムが作動することがあります。
周囲の状況に注意して、走行してください。

- 追い越しや交差点などで前方の車両や対向車に接近して走行するとき
- 低いゲートや狭いゲートなどを規制速度を越えるような速度で通過しようとするとき
- 段差のある道路、線路、工事の鉄板などの上を走行するとき
- カーブ途中の道路脇に標識やガードレールなどに接近して走行するとき
- 駐車時等、停止している車両や壁に接近するとき

≫シティブレーキアクティブシステム*

次の場合は、Honda 販売店にご相談ください。

- レーザーセンサーに衝撃が加わったとき
- フロントガラス周辺の修理を行うとき

サスペンションの改造はしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

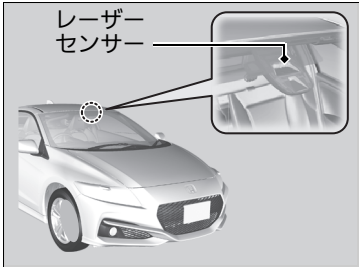
タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄、および磨耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や磨耗度合いの異なるタイヤを使用すると、システムが正常に作動しないおそれがあります。

次のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- カーゴスペースや座席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- タイヤが指定空気圧に調節されていないとき

*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

■レーザーセンサーについて



シティブレーキアクティブシステムと誤発進抑制機能のレーザーセンサーは、フロントガラス上部に装備されています。

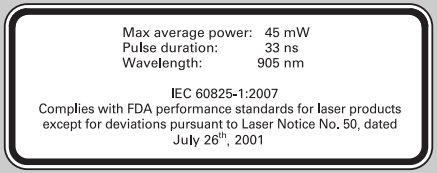
以下は、このレーザー等級の仕様データです。同様のことがIEC60825-1のラベルに規定されています。

レーザー等級	
最大平均出力	45mW
パルス幅	33ns
波長	905nm
出力角度(水平 × 垂直)	28° ×12°

レーザー等級ラベル



レーザー説明ラベル



次ページに続く

レーザーセンサーについて

⚠警告

レーザーセンサーにより目を損傷するおそれがあるため、次のことを守る。

- **センサーを取り外さない。**
- **センサーから 100 mm 以内の距離で、拡大鏡、顕微鏡、対物レンズなど拡大機能がある光学機器を使用して、センサーをのぞきこまない。**

シティブレーキアクティブシステム装備車

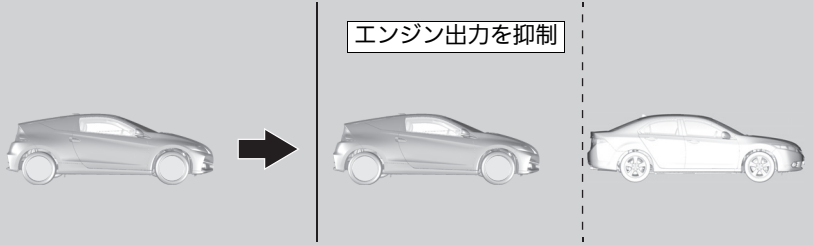
無段変速オートマチック車

■誤発進抑制機能

停車時や約 10km/h 以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジン出力を抑制し、急な発進を防止して衝突時の衝撃を軽減する機能です。
なお、急な坂道やセレクトレバーが P 、 R 、 N のときは、作動しません。

作動状態

機能作動中はブザー(ピピピ)がなり、 CTBA 表示灯が点滅します。



アクセルペダルを踏む
アクセルペダルの踏み込み量が少ないときは作動しません。

アクセルペダルを離す
安全のため、必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。

≫誤発進抑制機能

⚠警告

あらゆる状況でアクセルペダルの踏み過ぎによる衝突を軽減したり防止できるものではありません。

正しく運転しないと追突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

踏切内に閉じ込められたときは、遮断機を障害物として検知することがあります。その時は、慌てずにアクセルペダルを踏み続けるか、シティブレーキアクティブシステムを OFF にして遮断機を押しのけてください。

誤発進抑制機能は、シティブレーキアクティブシステムの機能のひとつです。そのため、シティブレーキアクティブシステムを OFF にしているときは、この機能は作動しません。また、機能を正常に作動させるために守ること、正常な作動ができない状況、衝突の可能性のない場合の作動やレーザーセンサーの取り扱いなども、シティブレーキアクティブシステムと同じです。

■機能解除の条件

- アクセルペダルを離したとき
- アクセルペダルを約 4 秒間踏み続けたとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- ステアリングを操作して、衝突を避けようとしたとき

駐車する

1. ブレーキペダルをしっかり踏む。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。

無段変速オートマチック車

3. セレクトレバーを P に入れる。

マニュアル車

3. チェンジレバーを R または 1 に入れる。

共通

4. エンジンを停止する。
▶ ブレーキ警告灯(レッド)は、約 15 秒後に消灯します。
▶ 車から離れるときは必ず施錠してください。

坂道に駐車をするときは、かならずパーキングブレーキをかけてください。

≫駐停車操作

⚠注意

停車中の空ぶかしはしない。
万一、セレクトレバーが P N 以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。
排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂で P N 以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

仮眠するときは、エンジンを停止してください。
無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

»駐車する

⚠注意

駐車時はエンジンを停止する。
万一、セレクトレバーがP N以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

アドバイス

車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。
車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

寒冷時に、パーキングブレーキをかけると、凍結することがあります。
パーキングブレーキをかけずに、石など輪留めをしてください。

リヤワイドカメラシステム✤

メーカーオプションの Honda インターナビシステム装備車

リヤワイドカメラの取り扱いについては、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

指定燃料について

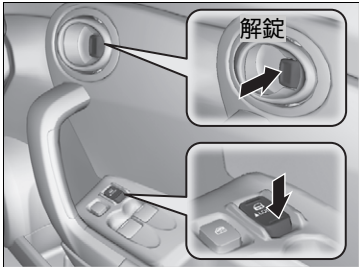
■指定燃料

無鉛レギュラーガソリン
レギュラーバイオ混合ガソリン(E10/ETBE22)

■タンク容量

40 リットル

給油のしかた



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
2. エンジンを停止させる。
3. ノブまたはマスタードアロックスイッチで運転席ドアを解錠する。
▶車の外側のフューエルリッドが解錠されます。

次ページに続く

⩙指定燃料について

アドバイス

指定燃料以外の燃料(粗悪ガソリン、軽油、灯油等)を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。
以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

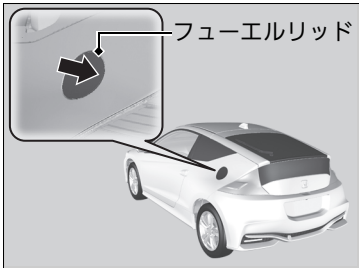
⩙給油のしかた

⚠警告

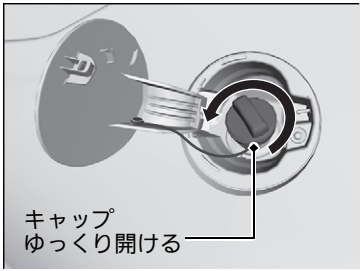
燃料補給時は火気厳禁。
燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に停止させる
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

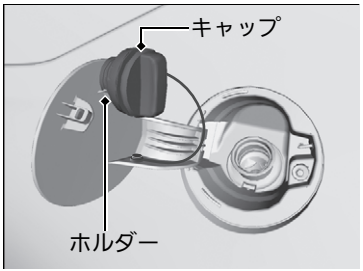
ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



4. フューエルリッドの右端を「カチッ」と音がするまで押し、手を離す。
▶ リッドが少し浮き上がります。



5. ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。



6. キャップをホルダーにかける。
7. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。
▶ 満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

▩給油のしかた

⚠警告

燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

⚠注意

キャップはゆっくり開ける。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。
燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

燃料蒸気を吸わないでください。
燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。

8. 給油後、「カチッ」という音が 1 回以上するまでキャップを締め付ける。
▶ フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉めます。

給油のしかた

⚠注意

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

キャップが確実に閉まっていることを確認する。
閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

Honda 純正以外のキャップを使わないでください。
純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
  ▶アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか？
  ▶サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けないでください。

車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。

無線装置などの取り付けの際には、必ず Honda 販売店にご相談ください。
装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

≫車の改造

車の性能、品質を維持するために、Honda 車に最も適した Honda 純正部品をお使いください。
純正部品には下記のマークが付いています。

HONDA
GENUINE PARTS

お求め、装着に際しては、Honda 販売店にご相談ください。

メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。



メンテナンスの前に
- 点検整備について 196
- メンテナンスを安全に行うために 197
- メンテナンスに関する注意事項 197

エンジンルーム内のメンテナンス
- エンジンルーム内のメンテナンス項目 .. 198
- ボンネットを開ける 199
- 推奨エンジンオイル 200
- ウィンドウォッシャー液の補給 200

電球の交換 201

ワイパーブレードラバーの点検と整備 .. 208

タイヤの点検と整備
- タイヤの点検 211
- タイヤとホイールの交換 213
- タイヤのローテーション 214
- 冬期のタイヤ 215

Honda スマートキー
- Honda スマートキーの取り扱いと電池交換 216

エアコンのお手入れ
- エアクリーンフィルター 218

清掃
- 車内の清掃 220
- 車外の清掃 222

点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。
普段と違う点(音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど)に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

■点検整備の種類

■日常点検
長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

■定期点検
12か月および24か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

■その他
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

≫点検整備について

作業に不慣れな場合や難しい場合は、Honda 販売店にご相談ください。

メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。
お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

■メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。
- エンジンルーム内の、タオルや可燃物の置き忘れに注意する。
  ▶ 火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
  ▶ エンジンを始動するときは必ず十分な換気を行ってください。

■車についての安全事項

- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
  ▶ 部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
  ▶ 指示されたとき以外は、エンジンを始動しないでください。
  ▶ アイドリングストップ中は、ボンネットを開けないでください。

メンテナンスに関する注意事項

■メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

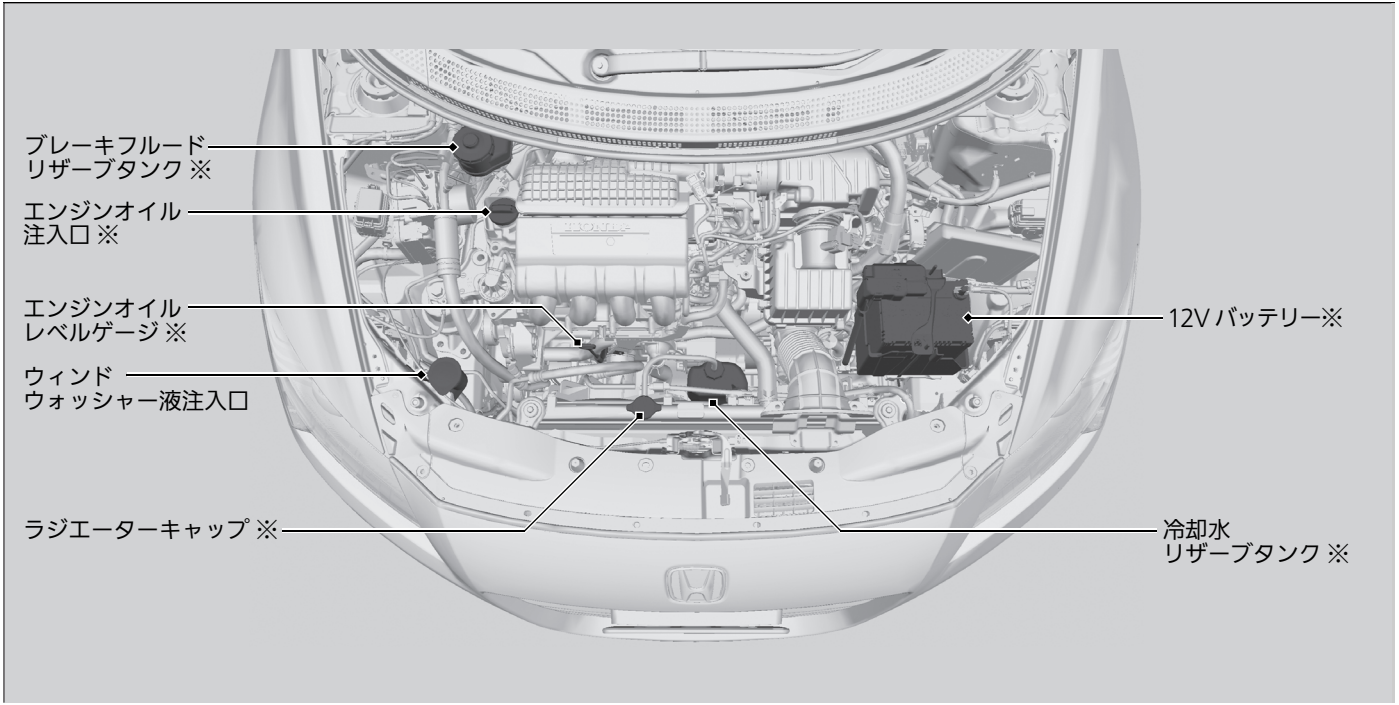
メンテナンスを安全に行うために

⚠警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。
走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。
必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

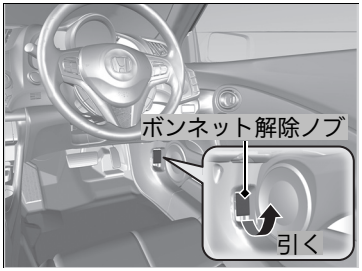
メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。
メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。
必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

エンジンルーム内のメンテナンス項目



※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

ボンネットを開ける

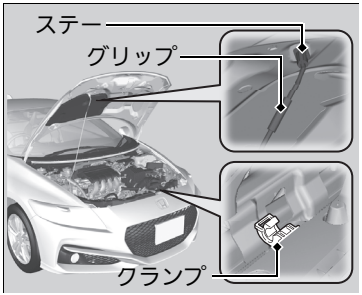


1. 車を停め、パーキングブレーキをかける。

2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。
▶ ボンネットが少し浮き上がります。



3. ボンネット中央のレバーを左に押してロック機構を解除し、ボンネットを開ける。



4. グリップを持ってステーをクランプから取り外し、ステーをボンネットにかける。

閉めるときは、ステーを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約 30cm の高さから手を離します。

ボンネットを開ける

⚠注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

アドバイス

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。
ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

アイドリングストップ中は、ボンネットを開けないでください。

推奨エンジンオイル

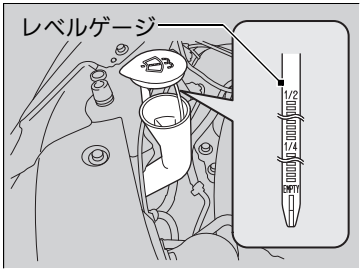
エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながることがあります。



推奨エンジンオイル：
Honda 純正エンジンオイル
➡ Honda 純正エンジンオイル
P.268
API SMもしくはSN級以上かオイル缶にAPI CERTIFICATION（エーピーアイサーティフィケーション）マークの入ったエンジンオイル

ウィンドウォッシャー液の補給

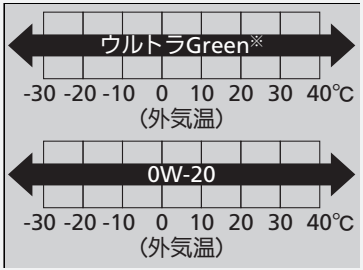
ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

推奨エンジンオイル

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを表にもとづきお使いください。



※：最も省燃費性に優れた Honda 純正オイルです。Honda 販売店でお求めください。

冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。
冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。

冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

ヘッドライト電球

ロービームヘッドライト、ハイビームヘッドライトは LED を使用しています。
点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

車幅灯電球

車幅灯はLEDを使用しています。点検、交換はHonda販売店に依頼してください。

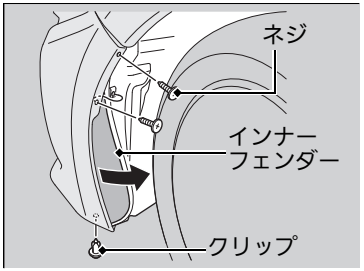
前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯は LED を使用しています。点検、交換は
Honda 販売店に依頼してください。

フォグライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

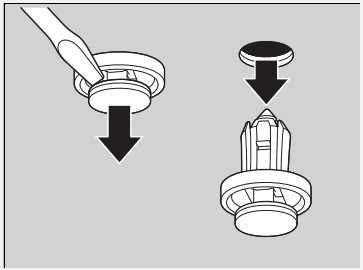
フォグライト：12V−35W



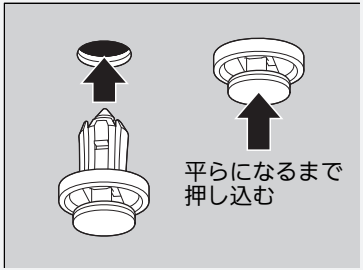
1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切る。
2. ネジとクリップを外し、インナーフェンダーをめくる。

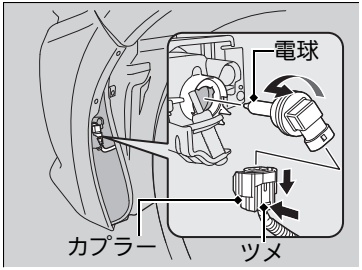
フォグライト電球

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。





3. カプラーを外す。
▶ カプラーはツメを押しながら外します。
4. 古い電球を左に回し、抜き取る。
5. 新しい電球を右に回して固定する。
6. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

フォグライト電球

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。
また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

フォグライトはハロゲン球です。
扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

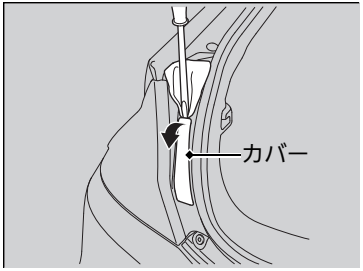
制動灯 / 尾灯電球

制動灯 / 尾灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

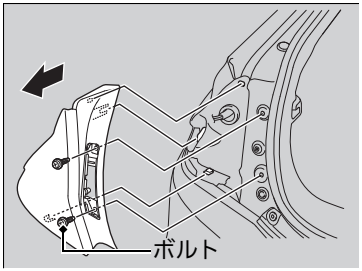
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯、後退灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

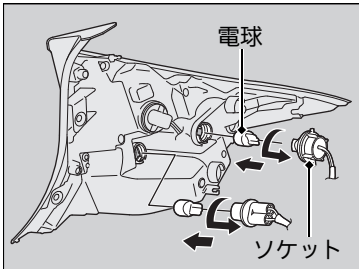
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯	：12V−21W(橙色)
後退灯	：12V−16W



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。
▶ カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ボルトを外す。
3. ランプ本体を矢印の方向に引き抜いて取り外す。



4. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
5. 新しい電球を差し込む。

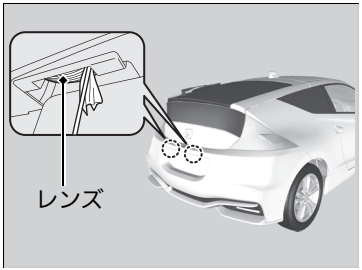
ハイマウントストップランプ電球

ハイマウントストップランプは LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

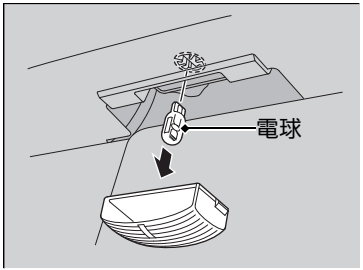
番号灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

番号灯：12V−5W



1. マイナスドライバーを差し込んでレンズを外す。
▶ レンズが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



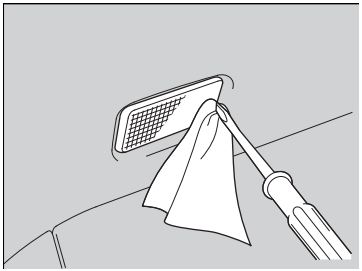
2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

その他の電球

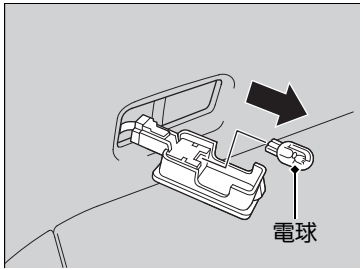
■カーゴスペース照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

カーゴスペース照明灯：12V−5W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

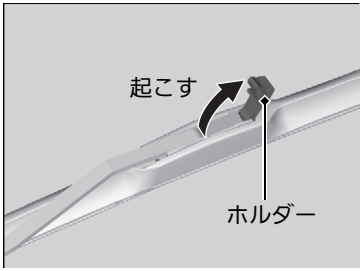


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

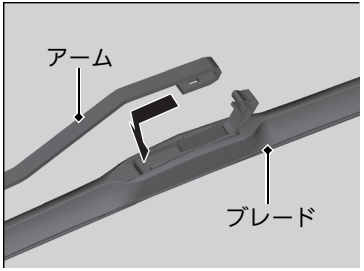
ワイパーブレードラバーの点検

ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

フロントワイパーブレードラバーの交換



1. 運転席側、助手席側の順にワイパーアームを起こす。
2. ホルダーを起こす。



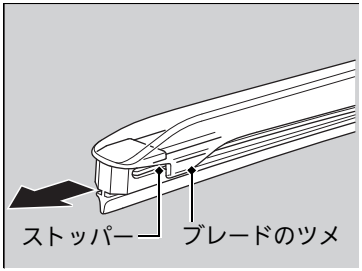
3. ブレードをスライドさせ、ワイパーアームから取り外す。

»フロントワイパーブレードラバーの交換

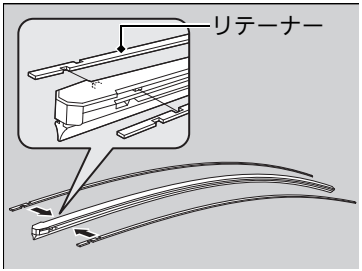
アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。

ブレードを外した状態でワイパーアームが倒れると、ガラスが損傷するおそれがあります。

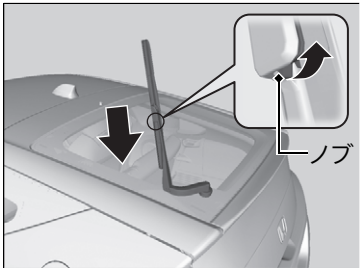


4. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。

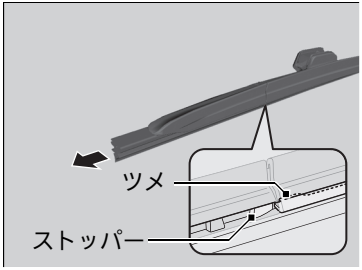


5. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。
6. ラバーをブレードの端から差し込む。
▶ 正しく固定されているか確認してください。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けてホルダーを閉じます。
7. ワイパーアームを戻すときは、助手席側、運転席側の順に戻してください。

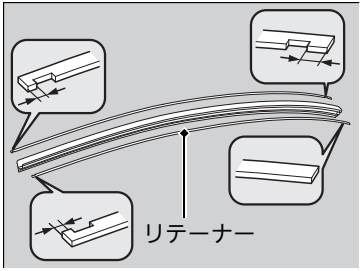
リヤワイパーブレードラバーの交換



1. ワイパーアームを起こす。
2. ノブを引きながら、アームからブレードをスライドさせて外す。



3. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。



4. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。
▶ リテーナーには反りがあります。リテーナーを図の向きでラバーに取り付けてください。
5. ラバーをブレードの端から差し込む。
▶ 正しく固定されているか確認してください。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けます。

≫リヤワイパーブレードラバーの交換

アドバイス

ブレードを外した状態でワイパーアームが倒れると、ガラスが損傷するおそれがあります。

タイヤの点検

■タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。
安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

■日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
  ▶ つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
  ▶ 状況に応じて、タイヤを交換してください。

≫タイヤの点検について

⚠警告

摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

次ページに続く

■空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。

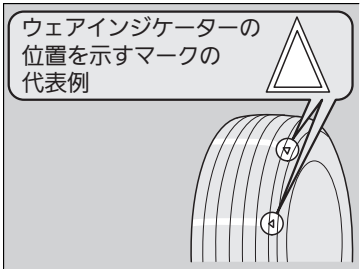
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

➡ 仕様 P.268

■損傷、異物、摩耗の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？
  ▶異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？
  ▶裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか？



ウェアインジケーター（摩耗限界表示）

ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。

接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

タイヤの点検について

タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。

必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。

この取扱説明書が手元にない場合は、車のラベルをご覧ください。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、運転に関わるシステムが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

同時にすべての４つのタイヤを交換することをお奨めします。それができない場合は、前輪または後輪タイヤの左右を一緒に交換してください。

タイヤとホイールの交換

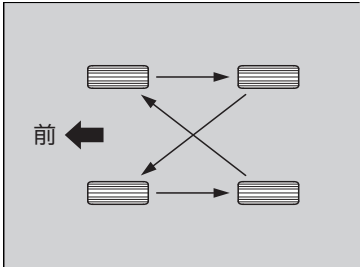
⚠警告

必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

タイヤのローテーション

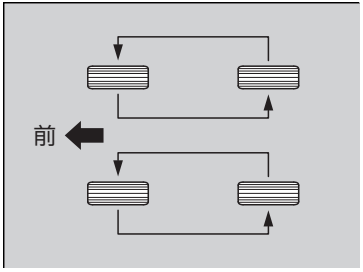
5,000km 走行したごとにタイヤローテーションをしてください。
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

■回転指示マークがないタイヤの場合



図のように、タイヤをローテーションさせます。

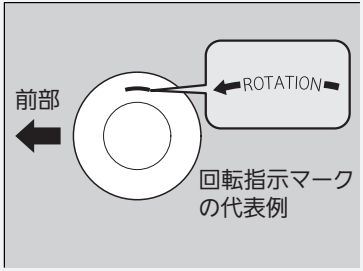
■回転指示マークがあるタイヤの場合



図のように、タイヤをローテーションさせます。

▶タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ回転指示マークがあります。
図のように回転指示マークが前へ向くように取り付けてください。



締め付けトルク
108 N・m (11 kgf・m)

冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。
また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。
装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

スノータイヤの場合：
- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

タイヤチェーンの場合：

195/55R16 87V タイヤ装備車
- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

205/45R17 84W タイヤ装備車
- 205/45R17 84W タイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
  チェーンを装着しなければならない場合は、四輪すべてをオプションの 195/55R16 87V タイヤに交換し、前輪にタイヤチェーンを装着してください。
  チェーンを装着する場合は、上記の 195/55R16 87V タイヤ装備車のポイントを参照してください。

冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。
チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

タイヤチェーンは前輪に装着します。
後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h 以下の速度で走行してください。
なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

■取り扱いについて

Honda スマートキーの取り扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

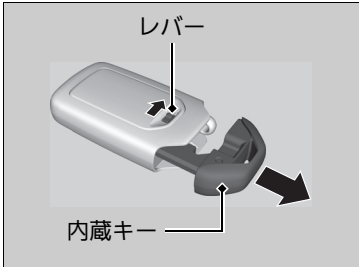
≫取り扱いについて

Honda スマートキーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

■電池交換のしかた

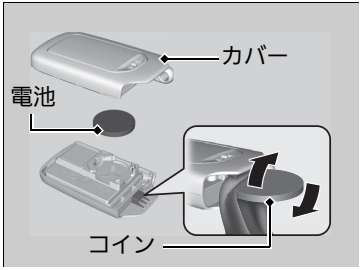
作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

■Honda スマートキー



ボタン電池 CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。



2. カバーを外す。
▶ カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。

3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

▨電池交換のしかた

⚠注意

電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店での交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。
確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

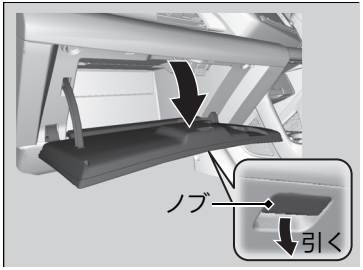
電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

エアクリーンフィルター

■エアクリーンフィルターの交換時期

エアクリーンフィルターは、通常 1 年または 15,000km ごとに交換してください。
粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

■エアクリーンフィルターの交換



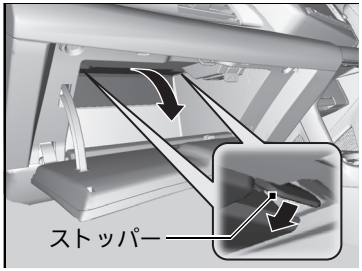
1. グローブボックスを開ける。

≫エアクリーンフィルター

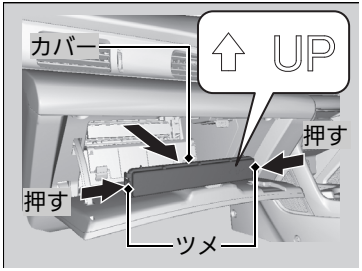
芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

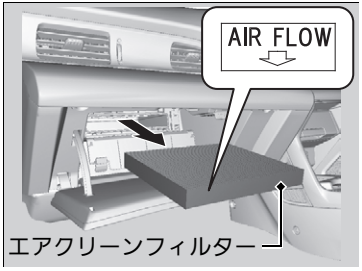
アレルフリー高性能脱臭フィルターは、空気中の花粉・粉じんを集じんし、アレルゲンを処理、排気ガス臭も低減します。



2. グローブボックス奥のストッパーを押し込んでリッドを開ける。



3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースのカバーを外す。



4. エアクリーンフィルターを取り出す。

5. 新品と交換する。

▶「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向（下向き）になるように取り付けます。

車内の清掃

内装の清掃は、掃除機で塵や埃を取り除いてから汚れを落としてください。ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

■シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

≫車内の清掃

室内に水をかけないでください。
オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。
故障や車両火災の原因となるおそれがあります。
万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda 販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。
ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。

■ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■スーパーUV カット /IR カットドアガラスのお手入れ

前席ウィンドー(ドアガラス)の車内側に UV カット膜や IR カット膜がコーティングしてあります。水またはぬるま湯を含ませた布などで汚れを拭き取ってください。

■本革* のお手入れ

本革シートなどは、ウール用中性洗剤の 10% 水溶液を柔らかい布に軽く含ませ汚れを落とします。その後、真水を含ませた柔らかい布で洗剤分を拭き取り、風通しをよくして乾燥させます。汚れが付着したらすぐに拭き取ってください。

ガラスのお手入れ

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線* が装着されています。傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

UV カット膜や IR カット膜を長持ちさせるために次のことをお守りください。

- 汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない

本革* のお手入れ

サイドエアバッグ装備車の助手席を湿った状態で使用すると、サイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないことがあります。よく乾かしてからお使いください。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

車外の清掃

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。
飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

■洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。
以下の場合は、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

■自動洗車機を使うとき

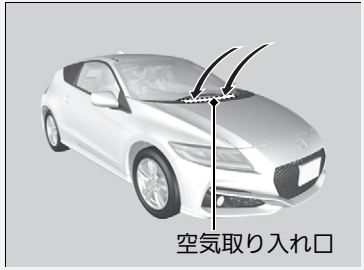
- 自動洗車機に記載されている指示にしたがう
- ドアミラーを格納する

■高圧洗浄機を使うとき

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す
- ドアガラスやドアまわりなど開閉部分は、特に注意する
  ▶近づけすぎると室内に水が入ることがあります。
- エンジンルームには水をかけない

▶車外の清掃

故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。
故障の原因になります。



洗車するときは、運転席ドア(フューエルリッド)を施錠してください。
フューエルリッド付近に水をかけるとフューエルリッドが勢いよく開いて、車体に傷を付けるおそれがあります。

■ワックスをかけるとき

ワックスは、月に1回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

■バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

ワックスをかけるとき

アドバイス

みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。

不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

次ページに続く

■ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■はっ水ガラスについて

前席ウィンドー(ドアガラス)にはっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

≫ガラスのお手入れ

水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。

- 泥などの汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない
- 金属製のもので霜取りなどを行わない
- 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす

■アルミホイールのお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

■ヘッドライト、制動灯の曇り

ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などにより、レンズ面が一時的に曇ることがあります。また、ランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の自然現象で、機能上の問題ではありません。また、ランプの構造上、レンズの縁に水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。但し、ランプ内に水がたまっている場合や大粒の水滴が付いている場合はHonda 販売店で点検を受けてください。

アルミホイールのお手入れ

この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換は、Honda 販売店にご相談ください。

硬いブラシやコンパウンド(研磨剤)の入った洗剤などは使わない。
変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあります。

次ページに続く

■親水ミラーのお手入れ

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。
ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

1. ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。
2. 水を含ませたきれいな布で拭き取る。
▶ 汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗浄後、十分な水で洗い流してください。
3. 5～9時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

≫親水ミラーのお手入れ

アドバイス

ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

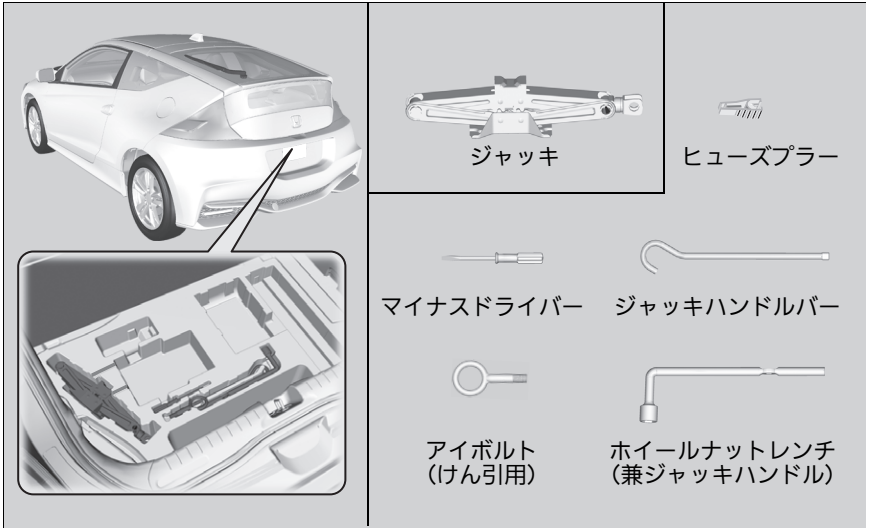
- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらない

万一の場合には

この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。

工具、発炎筒.....228
パンクしたとき.....229
パンクしたタイヤの応急修理.....229
ジャッキの取り扱い
ジャッキのかけかた.....238
エンジンが始動しない
エンジンの状態の確認.....240
Honda スマートキーの電池が切れたとき.....241
緊急時のエンジン停止方法.....242
ジャンプスタート.....243
セレクトレバーが動かない.....245
オーバーヒート.....246
警告灯の点灯 / 点滅.....248
ヒューズ
ヒューズの設置場所.....253
ヒューズの点検と交換.....260
けん引.....261
フューエルリッドが解錠できないとき.....264
テールゲートが開かないとき.....265

工具の種類



発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

➡ **発炎筒** P.2

≫工具の種類

工具類はカーゴルーム内に収納されています。

≫発炎筒

⚠警告

ガソリンなどの燃えやすいもののそばで使わない。
火災や爆発のおそれがあります。

⚠注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

パンクしたタイヤの応急修理

タイヤの損傷が激しい場合は、乗り物をけん引する必要があります。単にタイヤに小さな穴がある場合、永久的な修理をするために最寄りの販売店へ運転することができるよう、損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理ができます。

パンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。

無段変速オートマチック車

2. セレクトレバーを P に入れる。

マニュアル車

2. チェンジレバーを R に入れる。

共通

3. パーキングブレーキをかける。

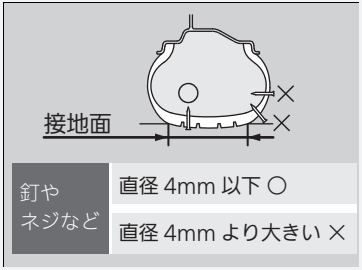
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、パワーモードを OFF モードにする。

パンクしたタイヤの応急修理

タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。
抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急修理が不可能になる場合があります。

以下のような場合、タイヤパンク応急修理キットは使用できません。Honda販売店またはロードサービスにご連絡ください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき(梱包のアルミ袋が破れている場合、有効期限は通常より最大 2 年短くなります)
- タイヤが 2 本以上パンクしているとき
- 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき

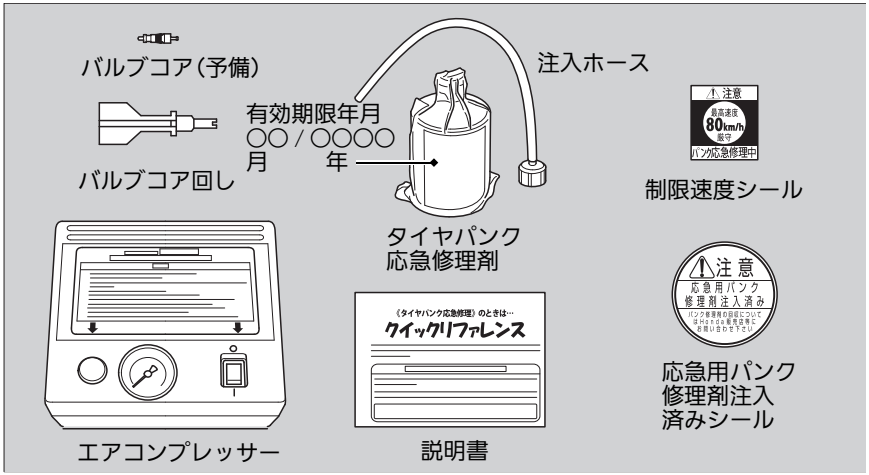


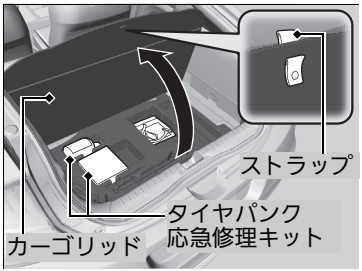
- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

次ページに続く

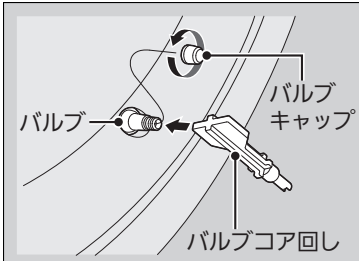
■タイヤ修理の準備



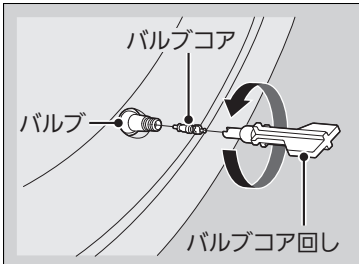


1. ストラップを引きながらカーゴリッドを開ける。
2. タイヤパンク応急修理キットを取り出す。
3. 交通から遠ざけ、パンクしたタイヤ付近にキットを水平に置く。

■応急修理剤の注入



1. バルブからバルブキャップを取り外す。
2. バルブコア回しの突起部分をバルブに押し当てて、タイヤの空気を完全に抜く。



3. バルブコア回しで、バルブコアを回して外す。
▶外したバルブコアは、汚れないようきれいなところに保管します。

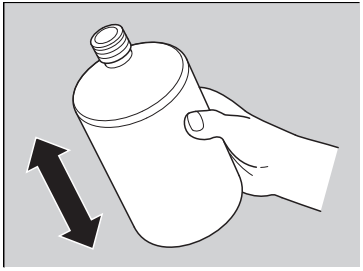
⩙応急修理剤の注入

⚠注意

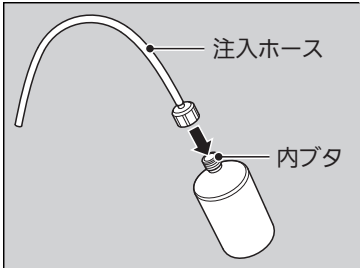
タイヤの空気は完全に抜く。
タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。

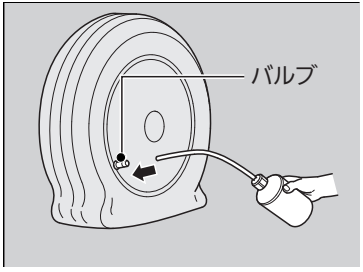
次ページに続く



4. アルミ袋を破って、応急修理剤のボトルを取り出す。
5. 応急修理剤のボトルをよく振る。



6. 応急修理剤の内ブタを付けたままの状態で、ボトルに注入ホースを取り付ける。
▶ 注入ホースをねじ込むと、内ブタが破れます。



7. 注入ホースをバルブに差し込む。

≫応急修理剤の注入

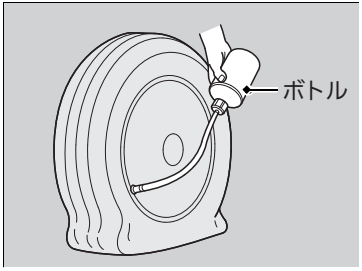
⚠警告

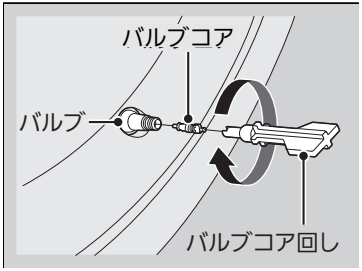
応急用修理剤は、飲用すると有害で、致命的になりうる物質を含んでいます。
誤って飲用した場合、
- できるだけたくさんの水を飲んでください。
- ただちに医師の診察を受けてください。

目に入ったり皮膚に付いた場合
- 水でよく洗い流してください。
- 異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。

お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

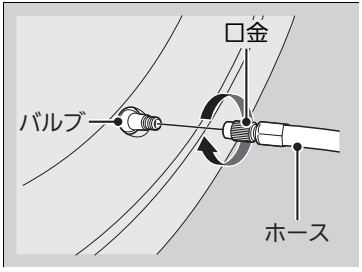
注入ホースを取り付けたあと、応急修理剤のボトルを振らない。修理剤が注入ホースから飛び出るおそれがあります。





8. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入する。
▶全ての修理剤がタイヤの中に入るよう、手でボトルを何回も圧迫してください。
9. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜く。
10. バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで右に回し、しっかりねじ込む。

■エアの注入

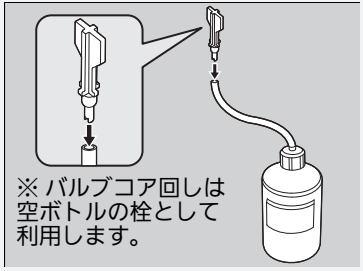


1. エアコンプレッサーを準備する。
2. バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。

次ページに続く

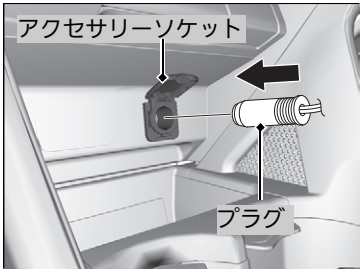
▨応急修理剤の注入

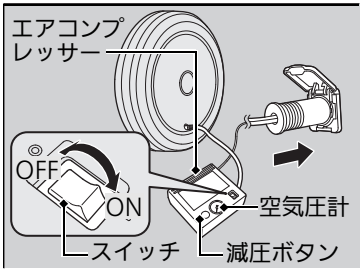
注入が終わった空ボトルから修理剤がもれないよう、バルブコア回しで注入ホースに栓をしてください。



注入後の空ボトルは、タイヤ修理時に使用済み応急修理剤の回収に使用します。
捨てずに、Honda販売店か専門修理工場までお持ちください。

タイヤパンク応急修理剤の購入および空きボトルの適切な処分については販売店にお尋ねください。





3. エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリーソケットに差し込む。
▶ ドアや窓にコードをはさまないように注意してください。
➡ **アクセサリーソケット** P.133

4. エンジンを始動する。
➡ **一酸化炭素について** P.54

5. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、指定の空気圧まで高める。
➡ **指定空気圧** P.268

6. エアコンプレッサーのスイッチを OFF にする。
▶ エアコンプレッサーに付属の空気圧計で、空気圧を点検、調整します。
▶ 空気を入れすぎたときは、減圧ボタンを押して空気を抜きます。

7. エンジンを止め、エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリーソケットから外す。

8. エアコンプレッサーホースを外す。

9. エアコンプレッサーをカーゴルームに収納する。

≫エアの注入

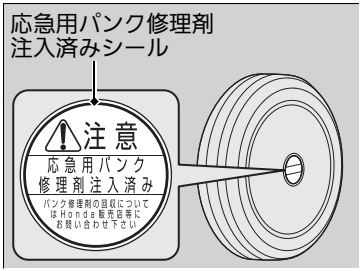
⚠警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

アドバイス

15 分以上コンプレッサーを使用しないでください。
エアコンプレッサーは過熱し、破損するおそれがあります。



10. 修理が完了したタイヤに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼る。
▶ タイヤのホイールの平らな部分に貼ってください。

エアの注入

10 分以内に指定空気圧にならないときは、応急修理剤による応急修理はできません。Honda 販売店やロードサービスに連絡してください。

エアコンプレッサーのスイッチを ON にすると、振動して音が聞こえますが、故障ではありません。

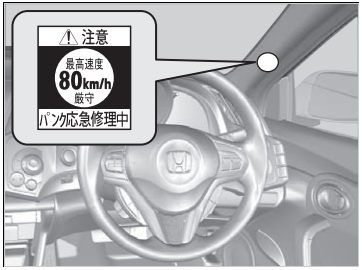
備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。お取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

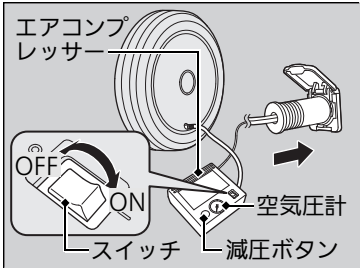
- エアコンプレッサーの電源は自動車用12V専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。

タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしてください。

次ページに続く

■点検走行





1. 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。
2. 点検走行を開始する。
▶法定速度を守ってください。高速道路では80km/h以下を厳守してください。
3. 10分または5km走行したあと安全な場所に車を停める。
4. タイヤのバルブにエアホースをきつく締め付ける。
5. エアコンプレッサーに付属の圧力計で空気圧を測定する。

≫点検走行

⚠警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

6. 空気圧が 130 kPa 未満の場合：
応急修理剤では修理はできません。運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

- 空気圧が、運転席横の車体に貼ってあるラベルに記載されている空気圧の場合：
応急修理は完了です。
- 空気圧が 130 kPa 以上、運転席横の車体に貼ってあるラベルに記載されている空気圧以下の場合：
エアコンプレッサーを使って指定空気圧まで高める。

Honda 販売店または専門修理工場に到着するまで、ステップ 2 から 6 までを繰り返す。

▶ 高速道路では 80km/h 以下で、法定速度を守って指定の Honda 販売店または専門修理工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

点検走行

⚠注意

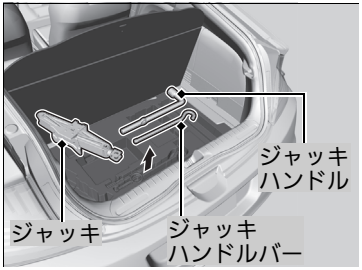
ハンドルのパッドにシールを貼らない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなります。

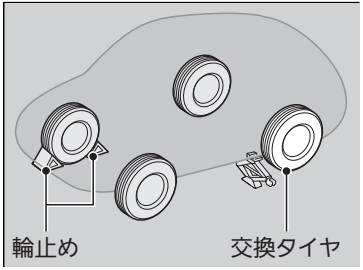
警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。
安全運転の妨げとなります。

走行前に、エアコンプレッサー、空ボトルなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

Honda 販売店やロードサービスにタイヤ交換または修理を依頼する際には、タイヤパンク応急修理剤を使用したことを知らせてください。

ジャッキのかけかた





1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。

無段変速オートマチック車

2. セレクトレバーを P に入れる。

マニュアル車

2. チェンジレバーを R に入れる。

共通

3. パーキングブレーキをかける。

4. パワーモードを OFF モードにする。

5. カーゴリッドを開けて、ジャッキ、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドルを取り出す。

6. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪止めをする。

7. 交換するタイヤにもっとも近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。

»ジャッキのかけかた

⚠警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。

車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

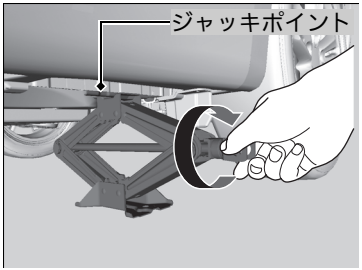
⚠注意

ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。

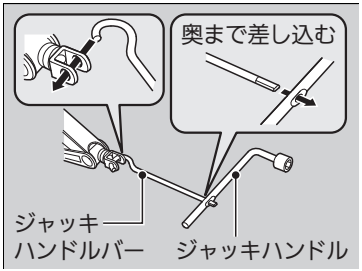
- エンジンをかけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にものを入れたりしない

この車に搭載されているジャッキをお使いください。

このジャッキで別の車を上げたり、この車を上げるために別の車のジャッキを使用した場合、車両かジャッキが破損することがあります。



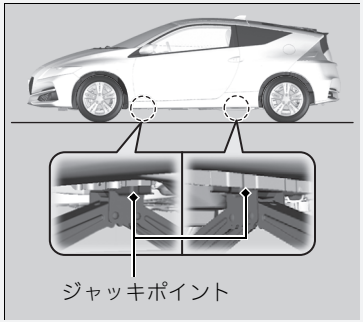
8. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を矢印の方向に回す。
▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。



9. ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

ジャッキのかけかた

ジャッキポイントは、下記の通りです。



エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、スターターの状態を確認してください。

▶エンジンの状態の確認

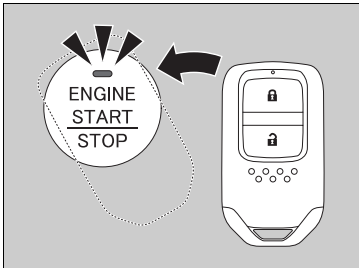
すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。
➔ **ジャンプスタートの方法** P.243

スターターの状態	確認項目
スターターが全く回らない！ **スターターの回転が非常に遅い！** 12Vバッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	**マルチインフォメーションディスプレイの表示を確認する** 「キーでスイッチに触れて下さい」のメッセージが表示されているとき ➔ **Honda スマートキーの電池が切れたとき** P.241 • エンジン始動の作動範囲を確認します。 ➔ **ENGINE START/STOP スイッチ** P.110 • ボタンを押してもキーのインジケーターが点灯しないときは ➔ **Honda スマートキーの電池が切れたとき** P.241 **室内灯などの明るさを確認する** 室内灯などを点灯し、明るさを確認します。 • 室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合 • 室内灯などの明るさに問題がない場合 ➔**ヒューズの点検と交換** P.260
スターターは正常に回るが … ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	**エンジン始動の手順を実行する** もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。 ➔**エンジンの始動** P.144 **イモビライザーシステム表示灯を確認する** イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。 ➔ **イモビライザーシステム** P.106 **燃料の量を点検する** 燃料が入っているか確認してください。 ➔**燃料計** P.76 **ヒューズを点検する** 全てのヒューズを確認してください。 ➔**ヒューズの点検と交換** P.260

以上の確認をしてもエンジンが始動しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

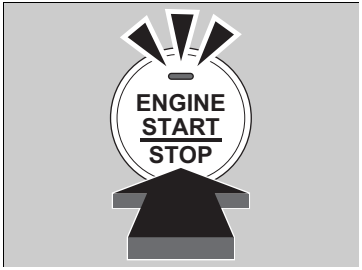
Honda スマートキーの電池が切れたとき

ENGINE START/STOP によるパワーモードの操作やエンジンの始動ができない場合、以下の手順を行ってください。



1. ENGINE START/STOP を押す。
▶「ピーピーピーピーピーピー」とブザーが鳴り、インジケーターが約 30 秒間点滅します。

2. インジケーターが点滅している間に、Honda スマートキーの Honda エンブレムをスイッチに接触させる。
▶「ピッ」とブザーが鳴り、インジケーターが約 10 秒間点灯します。



3. インジケーターが点灯している間に、ブレーキペダル(無段変速オートマチック車)/ クラッチペダル(マニュアル車)を踏みながら、
ENGINE START/STOP を押す。
▶ ブレーキペダル(無段変速オートマチック車)/クラッチペダル(マニュアル車)を踏んでいないときは、アクセサリーモードになります。

緊急時のエンジン停止方法

ENGINE START/STOP によるエンジンの停止ができなくなった場合は、以下のいずれかを行ってください。

- ENGINE START/STOP を約 2 秒以上押す。
- ENGINE START/STOP を 2 回連続して押す。

このとき、ハンドルはロックしません。

無段変速オートマチック車

エンジンが停止すると、パワーモードはアクセサリーモードになります。
パワーモードを OFF にするには、車両が完全に停止後に以下の操作を行ってください：

1. シフトレバーを P に入れる
2. ブレーキペダルを踏まずに ENGINE START/STOP を 2 回連続して押す

マニュアル車

パワーモードは OFF モードになります。

- 車両が完全に停止後、クラッチペダルを踏まずに ENGINE START/STOP を3回連続して押す。
  ▶ ハンドルがロックされます。

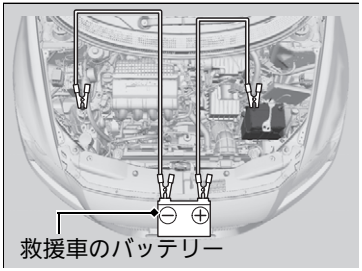
緊急時のエンジン停止方法

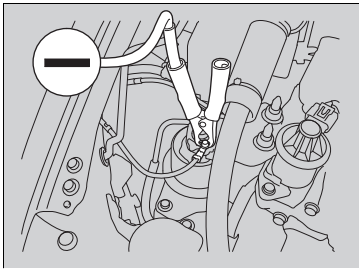
緊急時など必要な場合以外は、走行中に ENGINE START/STOP を押さないでください。

ジャンプスタートの方法

■ジャンプスタートの方法

まず、ボンネットを開け、12Vバッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。
次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。
ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。





1. 自車と救援車のパワーモードを OFF モードにする。
2. ブースターケーブルを、自車の12Vバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
3. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
▶ 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
4. もう1本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの ⊖ 端子に接続する。
5. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。
6. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
7. 自車のエンジンを始動する。

次ページに続く

⚠警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。
ジャンプスタートの操作を間違えると、12V バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。
タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

アドバイス

気温が極端に低い場所に 12V バッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。
バッテリー液が凍結した12Vバッテリーでジャンプスタートすると、12Vバッテリーが壊れることがあります。

金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。
ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
12V バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

寒冷時は、12V バッテリーの性能が低下します。
エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

■エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊖ 端子から外す。
3. 自車の 12V バッテリーの ⊕ 端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

エンジン始動後の作業

⚠警告

12V バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。
12Vバッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、12Vバッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
12Vバッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店で 12V バッテリーのメンテナンスを受けてください。

バッテリー液の取り扱いに注意する。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも 5 分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

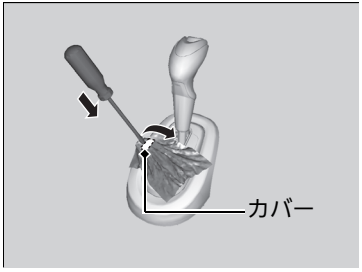
ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。

セレクトレバーが動かない

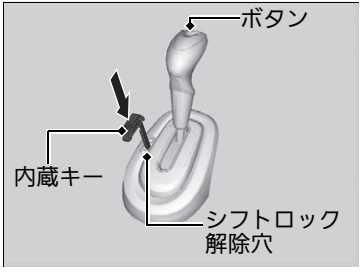
無段変速オートマチック車

セレクトレバーが、 P の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

■ロックを解除する



1. パーキングブレーキをかける。
2. パワーモードを OFF モードにする。
3. 細いマイナスドライバーの先端を布で包み、図のようにシフトロック解除用カバーの切り欠きに入れてカバーを外す。



4. シフトロック解除穴に内蔵キーを差し込む。
5. キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを N に入れる。
▶ ロックが解除されました。Honda販売店で、早めに点検を受けてください。

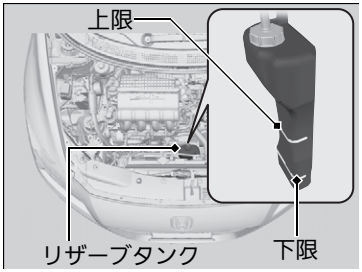
オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。
- 高水温警告灯が点灯したり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

■最初にすること

1. ただちに車を安全な場所に停める。
▶ セレクトレバーを P に入れ(無段変速オートマチック車)、パーキングブレーキをかけます。
2. すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。
▶ **蒸気が出ていない場合：**エンジンをかけたままボンネットを開ける。
▶ **蒸気が出ている場合：**エンジンを停止し、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

■次にすること



1. 冷却ファンの作動を確認し、高水温警告灯が消灯してからエンジンを停止する。
▶ 冷却ファンが作動していない場合は、すぐにエンジンを停止します。
2. エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
▶ 冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

⚠警告

蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けない。
ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。
冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス

高水温警告灯が点灯した状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda販売店に修理を依頼してください。

■最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し高水温警告灯を確認する。
  警告灯が消灯している場合は、運転を再開します。点灯しているときは、
  Honda 販売店に修理を依頼します。

油圧警告灯が点灯した



■点灯の理由
エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

■点灯したらすぐにすること
1. ただちに車を水平で安全な場所に停車する。
2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

■車を停車してからすること
1. エンジンを停止し、3 分間ほど放置する。
2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
▶ 必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
3. エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。
▶ **消灯した：**運転を再開してください。
▶ **10 秒以内に消灯しない：**エンジンを停止して、ただちにHonda 販売店に修理を依頼してください。

充電警告灯が点灯した



■点灯の理由
12V バッテリーが充電されていないと点灯します。

■点灯したらすること
電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

»油圧警告灯が点灯した

アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

»充電警告灯が点灯した

一時的に停車する場合は、エンジンを停止しないでください。
エンジンを始動すると、12V バッテリーが急速に放電します。

外気温－３０℃以下でエンジンを始動すると警告灯が点灯することがあります。IMA バッテリーの温度が上がると消灯します。

マニュアル車

アイドリングストップ状態が長時間続くと点灯します。エンジンの自動再始動をしてください。
消灯すれば正常です。
➔ **アイドリングストップシステム（マニュアル車）** P.163

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した



■点灯 / 点滅の理由

- エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。
- エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

■点灯したときは

高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

アドバイス

PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

エンジン再始動後、警告灯が再び点滅するときは、50km/h 以下の速度で最寄りの Honda 販売店まで走行し点検を受けてください。

ブレーキ警告灯(レッド)が点灯 / 点滅した



■点灯の理由

- ブレーキフルードが減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

■走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキフルード量を確認する。

■点滅したときは

パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

▶ブレーキ警告灯(レッド)が点灯 / 点滅した

ただちに、Honda 販売店に修理を依頼してください。
ブレーキフルードが減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。

ABS 警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。
ただちに、Honda 販売店に修理を依頼してください。

ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時に点滅した場合は、パーキングブレーキが作動しないことがあります。パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

➡ **ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅した** P.251

ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅した


(オレンジ)


(レッド)

■ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅したときは

手動または自動でパーキングブレーキを解除してください。

➔ **電子制御パーキングブレーキ** P.174

- ブレーキ警告灯(レッド)が同時に点灯または点滅し続けているときは、ただちに安全な場所に停車しHonda販売店へご連絡ください。
  ▶車両が動き出さないように、無断変速オートマチック車はセレクトレバーを[P]、マニュアルトランスミッション車はシフトレバーを[1]または[R]にしてください。

- ブレーキ警告灯(レッド)だけが消灯したときは、パーキングブレーキを使用せずに、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅した

パーキングブレーキをかけると、パーキングブレーキが解除できなくなることがあります。

ブレーキ警告灯(レッド)が同時に点灯しているときは、パーキングブレーキが作動しています。

ブレーキ警告灯(レッド)が同時に点滅しているときは、システムの点検中でパーキングブレーキが作動していない可能性があります。

EPS(電動パワーステアリング)システム警告灯が点灯した



■点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと点灯し、ハンドルが重くなる場合があります。

■点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、エンジンを再始動する

その後も走行中に点灯する場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

IMA システム警告灯が点灯した



■点灯の理由

IMA 制御システムが異常のときに点灯します。

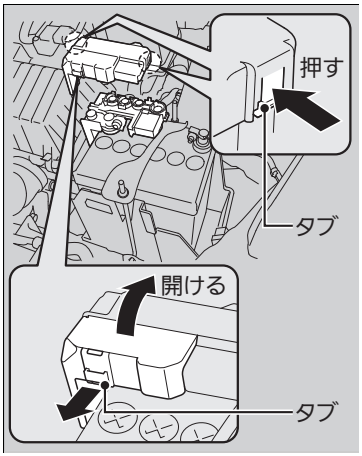
■点灯したらすること

高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、パワーモードを OFF モードにして、ヒューズが切れていないか確認します。

■エンジンルーム内のヒューズボックス

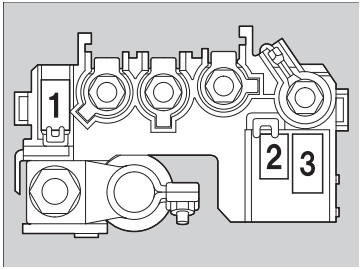


■ヒューズボックス A

エンジンルーム内の助手席側に付いている、12V バッテリーの ⊕ 端子の隣にあります。

1. タブを引いてフタを開ける。

2. タブ(2ヵ所)を押してカバーを取り外す。



■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		バッテリー	100A
2		EPS	70A
3		ホーン / 制動灯 / 非常点滅表示灯	20A

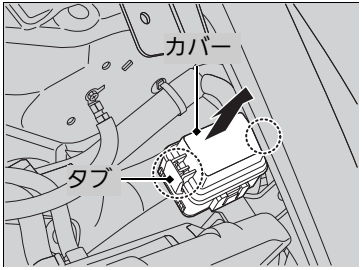
次ページに続く

エンジンルーム内のヒューズボックス

ヒューズボックス A

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とフタの表示で、該当するヒューズの位置を確認してください。



■ヒューズボックス B

エンジンルーム内の助手席側に付いている、12V バッテリーの隣にあります。
タブ(2ヵ所)を押してカバーを取り外す。

■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	⚠	非常点滅表示灯	10A
2	📖	制動灯 / ホーン	10A
3	📖	バックアップ	30A
4	ー	ー	ー

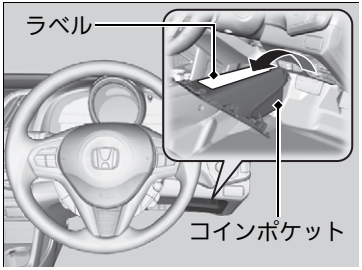
≫エンジンルーム内のヒューズボックス

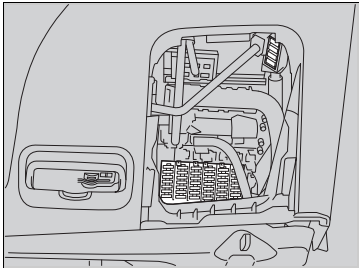
ヒューズボックス B

ヒューズボックスのカバーに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とカバーの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

■室内のヒューズボックス





■ヒューズボックス A

ハンドル右側のコインポケットを外すと、奥にあります。

» 室内のヒューズボックス

ヒューズボックス A

コインポケットの裏に貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

次ページに続く

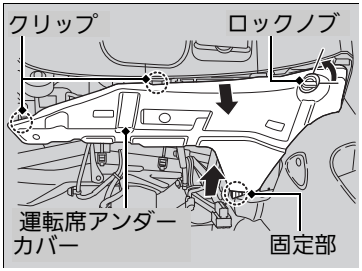
■各ヒューズの装備と容量

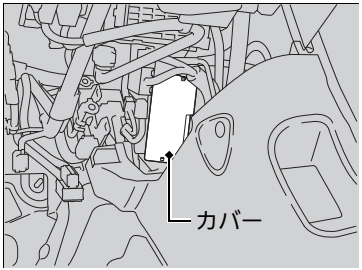
容量に( )がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

	表示	装備	容量
a		T/G LOCK ACT	10A
b	—	—	—
c		バックアップ	10A
d		STRD	7.5A

	表示	装備	容量
1		ドアロック	20A
2	—	—	—
3		Honda スマートキーシステム	10A
4		左側ドアアンロック	10A
5		右側ドアアンロック	10A
6		—	(10A)
7	—	—	—
8		運転席パワーウィンドー	20A
9		—	(7.5A)
10		助手席側パワーウィンドー	20A
11	—	—	—
12		左側ドアロック	10A
13		右側ドアロック	10A
14		—	(7.5A)
15		右側ヘッドライトハイビーム	10A
16	—	—	—
17		DBW	15A
18		マグネットクラッチ	7.5A
19		シートヒーター	(15A)
20		IMA2	15A

	表示	装備	容量
21		IMA1	7.5A
22		ウォッシャー	15A
23		リヤワイパー	10A
24		エアコン	7.5A
25		—	(7.5A)
26		フロントワイパー	7.5A
27		ABS/VSA	7.5A
28		SRS エアバッグシステム	10A
29		左側ヘッドライトハイビーム	10A
30		IMA	10A
31		パワーウィンドー	10A
32		フューエルポンプ	15A
33		SRS エアバッグシステム	7.5A
34		メーター	7.5A
35		後退灯	10A
36		アクセサリーソケット	20A
37		ACC	7.5A
38	—	—	—
39		リヤワイパー	7.5A
40	—	—	—
41	—	—	—
42	—	—	—





■ヒューズボックス B

運転席の足元にあります。

1. ロックノブを左に約 90° まわし、ロックを解除する。
2. 運転席アンダーカバーの手前側を下げ、クリップを取り外す。
3. 固定部から運転席アンダーカバーを取り外す。
4. ヒューズボックスのカバーを取り外す。
   ▶ 元に戻す場合は、逆の手順で行ってください。

室内のヒューズボックス

ヒューズボックス B

ヒューズボックスのカバーに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とカバーの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

アドバイス

以下の場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

運転席アンダーカバーを元の位置に戻す際

- クリップに損傷、白化がある場合
- 運転席アンダーカバーを元に戻したが、クリップ位置に浮きが見られる場合

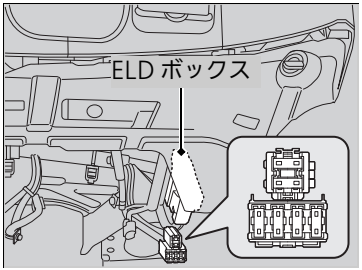
次ページに続く

■各ヒューズの装備と容量

容量に( )がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

	表示	装備	容量
1		リヤデフロスター	30A
		Honda スマートキーシステム	30A
		ヒューズボックス（メイン 2）	50A
		ヒューズボックス（メイン）	40A
		ヒューズボックス（メイン 3）	30A
	—	—	40A
2		EPB	30A
		EPB	30A
		Honda スマートキーシステム	30A
	—	—	40A
		コンデンサーファン	30A
		ラジエターファン	30A

	表示	装備	容量
3		フロントワイパー	30A
4		スターター	30A
5		バックアップ	15A
6		フォグライト	(20A)
7		ロービーム	15A
8		スモールライト	10A
9		ヘッドライトロービーム	20A
10		オーディオアンプ	(20A)
11		ヒーターモーター	30A
12	—	—	—
13	—	—	—
14	—	—	—
15		ヒーテッドドアミラー	(10A)



■ヒューズボックス C
運転席の足元にあります。

■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	LED	左側ヘッドライト ロービーム	10A
2	RED	右側ヘッドライト ロービーム	10A
3		VSA FSR	30A
4		LAF	10A
5		イグニッション コイル	15A
6		I GPS	7.5A

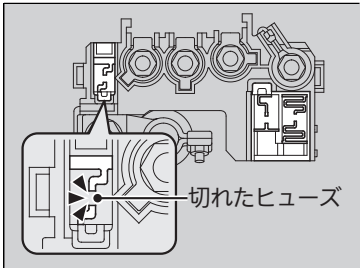
室内のヒューズボックス

ヒューズボックス C

ELD ボックスのカバーに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とカバーの表示で、該当するヒューズの位置を確認してください。

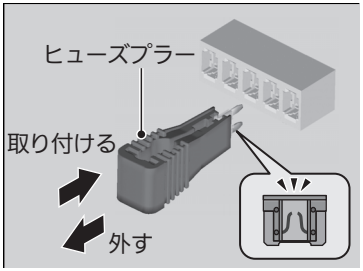
ヒューズの点検と交換



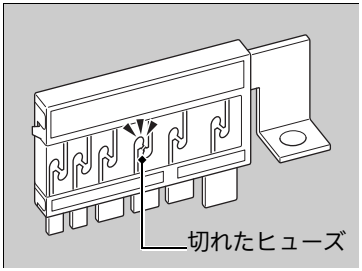
1. パワーモードをOFFモードにし、ヘッドライトとすべてのアクセサリーを OFF にする。

2. 12Vバッテリーの⊕端子の隣にあるカバーを取り外す。

3. 内部のヒューズを点検する。
▶ 切れているヒューズがあったら、Honda 販売店に修理を依頼してください。



4. エンジンルームと室内の小さいヒューズを点検する。
▶ 切れているヒューズがあったら、ヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。



5. 室内の大きいヒューズを点検する。
▶ 切れているヒューズがあったら、プラスドライバーでネジを外し、新しいものと交換してください。

≫ヒューズの点検と交換

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。
交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

➡ **各ヒューズの装備と容量** P.253, 254, 256, 258, 259

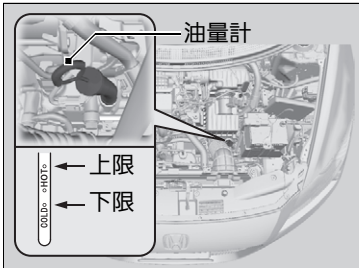
ヒューズプラーはカーゴルーム内に収納されています。ヒューズプラーは切れている小さいヒューズを引き抜くときに使います。

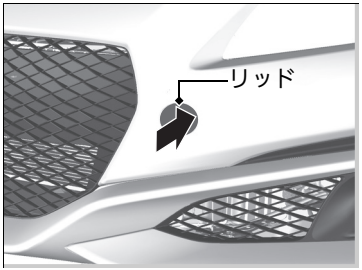
非常時のけん引

けん引は、専門業者に依頼して四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

■やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。





無段変速オートマチック車

1. トランスミッションフルードの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。

▶下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。

共通操作

2. カーゴリッドを開け、ジャッキハンドルバー、アイボルトを取り出す。

3. リッドの右側を押し込んで外す。

≫非常時のけん引

アドバイス

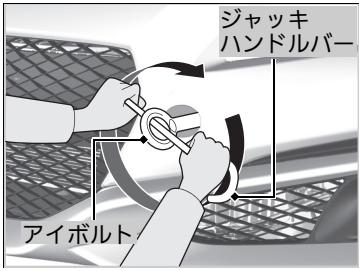
車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

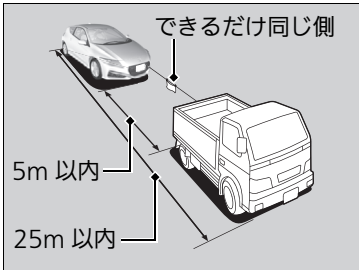
バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。
バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。

パーキングブレーキが解除されていることをブレーキ警告灯(レッド)で確認してください。パーキングブレーキが解除できないときは、必ず四輪を持ち上げてけん引してください。

➔**電子制御パーキングブレーキ** P.174

次ページに続く





4. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。

5. ロープをアイボルトにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m 平方以上)を付ける。

6. エンジンを始動する。
- ▶ 無段変速オートマチック車は、エンジンをかけてセレクトレバーを[D]にし、約 5 秒間保持する。
- ▶ エンジンがかからないときは、アクセサリーモードまたは ON モードにします。

7. セレクトレバーまたはチェンジレバーを[N](ニュートラル)にする。

8. パーキングブレーキを解除する。

9. 速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引する。
- ▶ けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

非常時のけん引

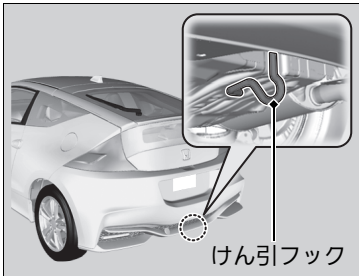
アイボルト以外のところにロープをかけないでください。
車体が破損、変形する場合があります。

エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる
- 無段変速オートマチック車は、トランスミッションが破損するおそれがある
- マニュアル車は、パワーモードをOFFモードにするとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなるため、事故につながるおそれがある

長い下り坂では、ブレーキの温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

■やむをえず他車をけん引する場合

やむをえず他車のけん引を行う場合、リヤバンパー下にあるけん引フックにロープをかけて行ってください。



やむをえず他車をけん引する場合

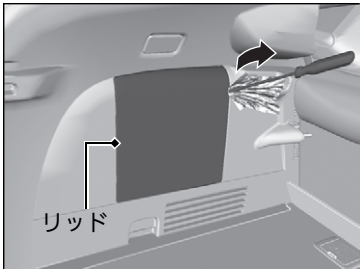
けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
車体が破損、変形する場合があります。

ロープやチェーンなどを使ってけん引するときは、車体に当たる部分に布を巻いてください。
そのままけん引すると、車体に傷が付くことがあります。

自車より重い車のけん引は避けてください。

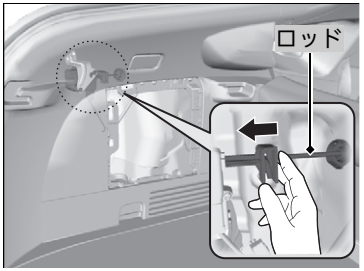
■解錠できないときの対処方法

万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。



1. カーゴスペース左側にあるリッドを、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶ リッドが傷付かないよう、マイナスドライバーに布などを巻き付けてください。



2. アクチュエーターのロッドを後方に引く。

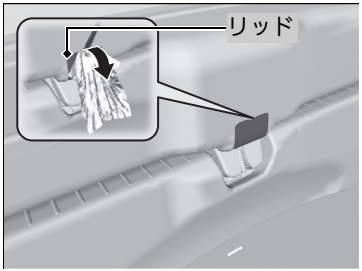
▶ ロッドを後方に引くと解錠し、元の位置に戻すと施錠します。

≫解錠できないときの対処方法

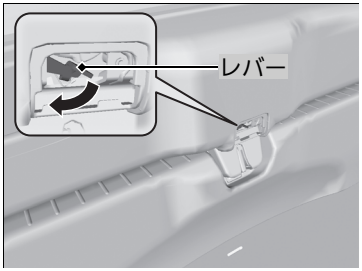
応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

■開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. テールゲートのリッドに、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ リッドが傷付かないよう、マイナスドライバーに布などを巻き付けてください。



2. レバーを下に動かしたままの状態で、テールゲートを押し開ける。

≫開かないときの対処方法

⚠注意

テールゲートを内側から開けるときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認する。
人やものにぶつかり思わぬけがをするおそれがあります。

応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。



仕様 267

仕様

■仕様

名称	CR-Z
排気量	1,496 cm^3
車体形状	2 ドアハッチバック
乗車定員	4 名

■調節

点火プラグ	NGK	IZFR6K13
	DENSO	SKJ20DR-M13
電極のすき間	基準値	1.2-1.3mm

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。
交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

■確認

ブレーキペダル（オートマチック車）	遊び	1.0-7.2mm
	床板とのすき間	147mm 以上［約 196N（20kgf）の力］
	カーペットとのすき間（参考値）	116.6mm 以上［約 196N（20kgf）の力］（ペダル踏面右端）
ブレーキペダル（マニュアル車）	遊び	1.0-7.2mm
	床板とのすき間	142mm 以上［約 196N（20kgf）の力］
	カーペットとのすき間（参考値）	109.5mm 以上［約 196N（20kgf）の力］（ペダル踏面右端）

■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン レギュラーバイオ混合ガソリン （E10/ETBE22）
燃料タンク容量	40 ℓ

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式

■ 12V バッテリー

容量 / タイプ	27AH(5)/34B17L

■ウォッシャー液

タンク容量	2.5 ℓ

■電球

ヘッドライト(ロービーム)	LED
ヘッドライト(ハイビーム)	LED
フォグライト	12V-35W※1
前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯	LED
車幅灯	LED
側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯 / 尾灯	LED
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
室内灯	LED
マップランプ	LED
カーゴスペース照明灯	12V-5W
ドア開閉灯	LED

※1 : ハロゲンバルブ

■トランスミッションフルード

指定液	Honda 純正 ウルトラ HMMF※1	2.8 ℓ (交換時)
	Honda 純正 ウルトラ MTF-III※2	1.4 ℓ (交換時)

※1 : 無段変速オートマチック車
※2 : マニュアル車

■推奨エンジンオイル

Honda 純正 エンジンオイル	ウルトラ Green※1	
	ウルトラ LEO SN	API SN 以上 SAE 0W-20
規定量	オイル交換時	3.4 ℓ
	オイル、オイルフィルター同時交換時	3.6 ℓ

※1 : 最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda 純正ウルトラ e クーラント
規定濃度	50%
規定量	4.35 ℓ ※1 4.42 ℓ ※2 (交換時 : リザーブタンク 0.44 ℓ 含む)

※1 : 無段変速オートマチック車
※2 : マニュアル車

■ブレーキフルード

指定液	Honda 純正ブレーキフルード DOT3/DOT4

■タイヤ

サイズ	195/55R16 87V*1 205/45R17 84W*2	
空気圧 (kPa[kgf/cm²])	前輪	210[2.1]*1 220[2.2]*2
	後輪	200[2.0]*1 210[2.1]*2
リムサイズ	アルミホイール	16×6J*1 17×6 1/2J*2

※1 : 16 インチホイール装備車
※2 : 17 インチホイール装備車

数字

3モードドライブシステム 166
　3モードスイッチ 166
7速マニュアルシフトモード 153
　シフトインジケーター/M(7速マニュアルシフトモード)表示灯 67, 152

A

A/C(エアコン) 135
ABS(アンチロックブレーキシステム) 178
　ABS警告灯 60, 178
ASST(モーターアシスト表示) 77
AT(オートマチックトランスミッション) .. 150

C

CHRG(チャージメーター表示) 77
CRUISE CONTROL（クルーズコントロール) 169

E

ECONモードスイッチ 166
ECONモード表示灯 66
ECOスコア 7
ECOドライブディスプレイ 80
ECOドライブバー 81
ENGINE START/STOPスイッチ 110
　パワーモードの切り換えかた 110
EPS(電動パワーステアリング)システム警告灯 62, 252
ETC車載器 ..... 別冊

H

HMMF(Hondaマルチマチックフルード)メンテナンス表示灯 156
Honda IMAシステム 8
Hondaインターナビシステム ..... 別冊
Hondaスマートキー 95, 98
　Hondaスマートキー電池消耗警告 72
　Hondaスマートキー持ち去り警告 112
　電池交換のしかた 217
　緊急時のエンジン停止方法 242

I

IMAシステム警告灯 62, 252
IMAバッテリー残量表示 77
ISOFIX 47

L

Lモード 155

M

M(7速マニュアルシフトモード)表示灯 67, 152
MIST 115

N

NORMALモードスイッチ 166
NORMALモード表示灯 66

P

PGM-FI警告灯 59, 249

S

SEL/RESETスイッチ 78
SPORTモードスイッチ 166
SPORTモード表示灯 66
SRSエアバッグ 33
　エアバッグシステム警告灯 40, 60

V

VSA(ビークルスタビリティアシスト) 172
　VSA OFF警告灯 61, 173
　VSA警告灯 61, 172

W

W(ワット)数 268

ア

アイドリングストップシステム 160, 163
　アイドリングストップ表示灯 65, 160, 163

アイボルト 228, 261
アクセサリー 194
アクセサリーソケット 133, 234
安全に関する表示 23
安全のための確認事項 27
アンチロックブレーキシステム(ABS) 178
ABS警告灯 60, 178
アンテナ 3
アンビエントメーター 6

イ

一酸化炭素の危険性 54
イモビライザーシステム 106
イモビライザーシステム表示灯 64
イルミネーションコントロール 117
インフォメーションスイッチ 78
インフォメーション表示灯 65

ウ

ウィンカースイッチ(方向指示器) 113
ウィンドーの開閉 108
ウィンドウォッシャー
ウィンドウォッシャー液の補給 200
ウィンドウォッシャースイッチ 115
ウェアインジケーター 212
運転
エンジンの始動 144
シフト操作 151, 158
ブレーキ操作 174

エ

エアコン 135
エアクリーンフィルター 218
エアコンの使いかた 136
窓の曇りや霜の取りかた 137
モード切り換えスイッチ 136
エアバッグ 33
SRSエアバッグ 33
エアバッグシステム警告灯/表示灯 40
エアバッグシステム故障診断記録装置 23
サイドエアバッグ 36
サイドカーテンエアバッグ 38
エコアシストシステム 6
エネルギーフロー表示 78, 83
エマージェンシーストップシグナル 180
エンジンオイル
推奨エンジンオイル 200, 268
油圧警告灯 59, 248
エンジンの始動 144
エンジンが始動しない 240
ジャンプスタート 243
エンジンルーム内のメンテナンス 198
ウィンドウォッシャー液の補給 200
エンジンルーム内のメンテナンス項目 ... 198
推奨エンジンオイル 200, 268
ボンネットを開ける 199
冷却水の点検と補給 246
エンジン冷却水 268

オ

オーディオ装置 140
オーディオリモートコントロール スイッチ ..... 別冊
オートエアコン 136
オートドアロック/オートドアアンロック .. 104
オーバーヒート 246
追越合図(パッシング) 113
応急修理剤(タイヤパンク) 229
オドメーター 78, 79
温度センサー 79

カ

カーゴスペース照明灯 126
カーゴフロアボックス 131
カードホルダー 127
外気温表示 78, 79
鍵(かぎ) 95
カスタマイズ機能 84
ガソリン 191, 267

キ

キー
- Hondaスマートキー 95, 98
- Hondaスマートキーの電池が切れたとき 241
- キー閉じ込み防止装置 102
- キーナンバータグ 97
- キーの種類と機能 95
- キーレスエントリー 101
- キーレスエントリーでドアが開かない 20
- 電池交換のしかた 217
- 内蔵キー 96

キー閉じ込み防止装置 102
キーナンバータグ 97
キーレスエントリー 101
- 電池交換のしかた 217

キックダウン 150
給油 191
- 給油のしかた 191
- 指定燃料 191, 267
- 燃料計 76
- 燃料残量警告灯 60

ク

空気圧 268
クリープ現象 150
クルーズコントロール 169
- クルーズコントロール表示灯 66
- クルーズメイン表示灯 66

車の改造 194
グローブボックス 127

ケ

経過時間表示 78, 82
計器 55
警告灯 56
- ABS警告灯 60, 178
- EPS(電動パワーステアリング)システム警告灯 62, 252
- IMAシステム警告灯 62, 252
- PGM-FI警告灯 59, 249
- VSA OFF警告灯 61
- VSA警告灯 61
- エアバッグシステム警告灯 60
- 高水温警告灯 61
- シートベルト非着用警告灯 60
- 充電警告灯 59, 248
- ドア/テールゲート開閉警告灯 62
- トランスミッション警告灯 59
- 燃料残量警告灯 60
- ブレーキ警告灯(レッド) 56, 57, 250, 251
- ブレーキシステム警告灯(オレンジ) 251
- 油圧警告灯 59, 248

警告灯の点灯/点滅 248
けん引 261

コ

交換
- カーゴスペース照明灯電球 207
- 後退灯電球 204
- 後面方向指示器/後面非常点滅表示灯電球 204
- 車幅灯電球 201
- 制動灯/尾灯電球 204
- 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球 201
- 側面方向指示器/側面非常点滅表示灯電球 204
- ハイマウントストップランプ電球 206
- 番号灯電球 206
- フォグライト電球 202
- ヘッドライト電球 201
- ワイパーブレードラバー 208

工具 228
高水温警告灯 61
航続可能距離表示 78, 82
後退灯 204
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯 204
コンソールボックス
- センターコンソールボックス 128

サ

サービス診断記録装置 23
- データの開示について 23

サイドエアバッグ 36
サイドカーテンエアバッグ 38
サンバイザー 4

シ

シートの調節 120
フロントシート 120
シートヒーター 134
シートベルト 28
シートベルトの着用 30
シートベルトの点検 32
シートベルト非着用警告灯 60
シートベルトプリテンショナー 29
シートベルトリマインダー 29
妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた 31
時刻の設定 94
室内装備品 127
室内灯 125
指定空気圧 212
指定燃料 191, 267
シティブレーキアクティブシステム 181
シティブレーキアクティブシステム表示灯 ... 68
シフトインジケーター 67, 152
シフトインジケーター/M(7速マニュアルシフトモード)表示灯 67, 152
シフトスイッチ 154
シフト操作 151, 158
車外の清掃 222
ジャッキ 228, 238
ジャッキハンドルバー 228, 238
ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ） 228, 238
車内の清掃 220
車幅灯 201
ジャンプスタート 243
充電警告灯 59, 248
瞬間燃費表示 77
仕様 267
衝撃感知ドアロック解除システム 104

ス

スイッチ
パーキングブレーキスイッチ 174
スイッチ操作
ECONモードスイッチ 166
NORMALモードスイッチ 166
SPORTモードスイッチ 166
イルミネーションコントロールノブ 117
フォグライトスイッチ 114
方向指示器(ウィンカースイッチ) 113
ライトスイッチ 113
リヤデフロスター/ヒーテッドドアミラースイッチ 118
ワイパー/ウォッシャー 115
スカイルーフ 4
ステアリング 118
スノータイヤ 215
スパークプラグ 267
スピードメーター 76

セ

清掃 220
制動灯 204
セキュリティシステム 106
イモビライザーシステム 106
セキュリティアラームシステム 106
セレクトポジション 151
セレクトポジション表示灯 67, 152
セレクトレバー
セレクトレバーが動かない 245
セレクトレバーの操作 152
センターアッパーボックス 2
センターロアボックス 2
センターコンソールボックス 128
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯 201

ソ

側面方向指示器/側面非常点滅表示灯 204

タ

タイヤ 211
ウェアインジケーター 212
指定空気圧 212, 268

タイヤの点検 211
タイヤのローテーション 214
タイヤパンク応急修理キット 229
冬期のタイヤ 215
パンク 229
タコメーター 76

チ

チェンジレバーの操作 158
チャージメーター表示(CHRG) 77
チャイルドシート 42
ジュニアシート 52
乳児のチャイルドシート 43
幼児のチャイルドシート 44
駐停車操作 188

テ

テールゲートの開閉 105
テールゲートが開かないとき 265
ドア/テールゲート開閉警告灯 27, 62
停止表示板入れ 131
低水温表示灯 63
デフロスター 137
リヤデフロスタースイッチ 118
点火プラグ 267
電子制御パーキングブレーキ 174
電子制御ブレーキアシスト 179
電池交換 217

ト

ドアの施錠と解錠 95
Hondaスマートキー 95
キー閉じ込み防止装置 102
キーナンバータグ 97
キーの種類と機能 95
キーレスエントリー 101
キーレスエントリーでドアが開かない 20
車内での施錠/解錠 103
ドア/テールゲート開閉警告灯 27, 62
ドアミラー 119
冬期のタイヤ 215
スノータイヤ 215
タイヤチェーン 215
時計 94
トップテザーアンカレッジ 51
トップテザーストラップ 51
トノカバー 129
ドライバー 228
トラブルシューティング
アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが自動で解除できない 21
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る 21
エンジンが始動しない 240
オーバーヒートした 246
キーレスエントリーでドアが開かない 20
警告灯が点灯/点滅した 248
けん引してもらいたい 261
ジャンプスタートしたい 243
セレクトレバーが動かない 245
走行するとブザーが鳴る 21
パーキングブレーキスイッチを押してもパーキングブレーキが解除できない 21
ハイオクガソリンは使える? 22
パンクした 229
ヒューズが切れた 253
ブレーキを踏むと音がする 21
ブレーキを踏むと振動する 20
トランスミッション警告灯 59
トランスミッションフルード 268
トリップメーター 79
ドリンクホルダー 132

ナ

内蔵キー 96

ネ

燃料 191, 267
燃料計 76
燃料残量警告灯 60

ハ

排気ガスの危険性 54
ハイビーム 113
電球 201
ハイビーム表示灯 63

ハイマウントストップランプ 206
ハザードスイッチ ..... 表紙ウラ
発炎筒 228
パッシング 113
バッテリー
ジャンプスタート 243
充電警告灯 59
容量 267
発話スイッチ 1
バニティミラー 4
パワーウィンドーの開閉 108
パワーモード
パワーモードオートオフ機能 111
パワーモード警告ブザー 111
パワーモードの切り換えかた 110
パンク 229
番号灯 206
ハンドル 118
ハンドル位置調節レバー 118
汎用型ISOFIXチャイルドシート 47

ヒ

ヒーテッドドアミラースイッチ 118
非常点滅表示灯スイッチ ..... 表紙ウラ
尾灯 204
ヒューズ 253
ヒューズの点検と交換 260
表示灯 63
ECONモード表示灯 66
NORMALモード表示灯 66
SPORTモード表示灯 66
イモビライザーシステム表示灯 64
インフォメーション表示灯 65
オートアイドルストップ
表示灯 65, 160, 163
クルーズコントロール表示灯 66
クルーズメイン表示灯 66
シティブレーキアクティブシステム
表示灯 68
シフトアップ/ダウン表示灯 66, 159
シフトインジケーター/M(7速マニュアル
シフトモード)表示灯 67, 152
セキュリティアラームシステム作動
表示灯 65
セレクトポジション表示灯 67, 152
低水温表示灯 63
ハイビーム表示灯 63
フォグライト点灯表示灯 63
プラススポーツREADY表示灯 67
プラススポーツシステム表示灯 67
プラススポーツ表示灯 67
方向指示器/非常点滅表示灯 63
ライト点灯表示灯 63

フ

ブースターケーブル 243
フォグライト
電球の交換 202
フォグライトスイッチ 114
フォグライト点灯表示灯 63
ブザー
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る 21
走行するとブザーが鳴る 21
フューエルリッドが解除できないとき 264
フューエルリッドの開けかた 191
プラススポーツシステム 5, 167
プラススポーツREADY表示灯 67
プラススポーツシステム表示灯 67
プラススポーツシステムを
解除するには 168
プラススポーツ表示灯 67
プラススポーツボタン 5, 167
ブレーキシステム 174
ABS(アンチロックブレーキシステム) ... 178
アクセルペダルを踏んでもパーキング
ブレーキが自動で解除できない 21
エマージェンシーストップシグナル 180
シティブレーキアクティブシステム 181
電子制御パーキングブレーキ 174
電子制御ブレーキアシスト 179
パーキングブレーキスイッチを押しても
パーキングブレーキが解除できない 21
フットブレーキ 177

ブレーキ警告灯(レッド) 56, 57, 250, 251
ブレーキシステム警告灯(オレンジ) 251
ブレーキを踏むと音がする..... 21
ブレーキを踏むと振動する..... 20
ブレーキフルード..... 268
ブレーキ警告灯(レッド) 56, 57, 250
フロントシート 120
フロントシートヘッドレスト 123

へ

平均車速表示..... 78, 83
平均燃費表示..... 78, 82
平均燃費履歴表示..... 78, 82
ヘッドライト..... 113
追越合図(パッシング) 113
電球の交換..... 201
ハイビーム..... 113
ハイビーム表示灯 63
ライト点灯表示灯 63
ロービーム..... 113
ヘッドレスト
フロントシート..... 123

ホ

ホーンスイッチ ..... 表紙ウラ
ホイールサイズ 268
ホイールナットレンチ
(ジャッキハンドル)..... 228, 238
方向指示器(ウィンカースイッチ)..... 113
方向指示器表示灯 63

マ

マイナスドライバー 228
マスタードアロックスイッチ 103, 191
マップランプ 126
マルチインフォメーションディスプレイ 78
警告メッセージ 70

ミ

ミラー..... 119
ドアミラー 119
バニティミラー 4
ルームミラー..... 119

メ

メーター..... 76
IMAバッテリー残量表示 77
瞬間燃費表示..... 77
スピードメーター 76
タコメーター..... 76
チャージメーター表示(CHRG) 77
燃料計..... 76
マルチインフォメーションディスプレイ.. 78
モーターアシスト表示(ASST)..... 77
メンテナンス..... 195
エアコンのお手入れ 218
エンジンルーム内のメンテナンス..... 198
清掃 220
タイヤの点検と整備 211
Hondaスマートキー 216
メンテナンスに関する注意事項 197
メンテナンスを安全に行うために..... 197
ライト類の点検と整備..... 201
ワイパーブレードラバーの点検と整備.... 208

モ

モーターアシスト表示(ASST)..... 77
モード切り換え(エアコン)..... 136

ユ

油圧警告灯..... 59, 248
有料道路自動料金支払いシステム(ETC)
車載器..... 別冊

ラ

ライトスイッチ..... 113
追越合図(パッシング)..... 113
ハイビーム..... 113
ハイビーム表示灯..... 63
ライト点灯表示灯..... 63
ロービーム..... 113

ライト類の点検と整備 201
カーゴスペース照明灯電球 207
後退灯電球 204
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯電球 204
車幅灯電球 201
制動灯/尾灯電球 204
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球 201
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯電球 204
ハイマウントストップランプ電球 206
番号灯電球 206
フォグライト電球 202
ヘッドライト電球 201
ラジエーター 246

リ

リザーブタンク 246
リムサイズ 268
リヤカメラシステム ..... 別冊, 190
リヤシート 123
リヤデフロスタースイッチ 118

ル

ルームミラー 119

レ

冷却水 246, 268
オーバーヒート 246
高水温警告灯 61
低水温表示灯 63
補給 246

ロ

ロービーム 113
電球の交換 201
ロアアンカレッジ 50

ワ

ワイパー/ウォッシャー 115
ワイパーブレードラバー 208

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。
Honda ホームページ　http://www.honda.co.jp/
（Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください）

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。
http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/
※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8－1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離　③ ご購入年月日　④ 販売店名